長野県立美術館

２０２２年度
令和４年度

館報　25

目次

はじめに　5

1 美術館概要
(1) 特徴　6
(2) 沿革　7
(3) 施設概要（本館・東山魁夷館）　8
(4) 長野県立美術館条例　12
(5) 長野県立美術館規則　14
(6) 歴代館長　15

2 展覧会概要　16

3 各展覧会の記録
(1) 企画展　18
(2) オープンギャラリー展示　34
(3) アートラボ展示　38
(4) 本館　コレクション展　42
(5) 東山魁夷館　コレクション展　54
(6) 長野県立美術館　交流名品展　66
(7) 長野県立美術館　移動展　69

4 交流・学習
(1) 交流事業　（善光寺平アートライン、MLA 連携事業、地域との連携事業、県内大学等連携事業、インクルーシブ・プロジェクト）　72
(2) 学習事業　（スクールプログラム、鑑賞プログラム、アート・コミュニケータ）　75

5 アートライブラリー　82

6 収蔵品貸出　83
MIDORI 長野展示　84

7 新収蔵作品　85

8 広報・マーケティング室事業　86

9 その他
利用案内　88

はじめに

本館の開館２年目となる令和４(2022)年度は、「善光寺御開帳記念 善光寺さんと高村光雲展」や「マン・レイと女性たち」展をもって始まり、新型コロナウイルスの感染拡大防止の見地から完全予約制をとった「ジブリパークとジブリ展」、長野県生まれの現代彫刻家の個展「戸谷成雄 彫刻」、「高野光正コレクション 発見された日本の風景」展のほか、コレクション展示室を使って「傳抱石・傅益瑤 父娘展」を開催いたしました。また本館のコレクション展示室ではⅤ期、東山魁夷館ではⅥ期に分けて、テーマ性をもった所蔵作品の展示に努めており、その一環として本館のコレクション展第Ⅴ期では「特集展示：信濃デッサン館コレクション」と題して、2018-19年に収蔵した同コレクション390点から精選した素描・絵画・彫刻約110点と同館の活動のアーカイブ資料の展示を行い、その総目録を刊行しました。

結果的に令和４(2022)年度は、本館と東山魁夷館合わせて889,000人余りの皆様にご来館いただき、のべ336,000人余りの方々に企画展やコレクション展をご覧いただきました。そのなかには、主に県内の小・中・高等学校、特別支援学校など123校からの団体鑑賞者約6,300人が含まれています。

昨年に引きつづき、新型コロナウイルス感染拡大防止のことをたえず念頭に置かねばならない１年間であり、そのためにやむなく中止となった講演会や学習プログラムもあり、また参加人数をコントロールしにくい一般向けのギャラリートークや、マスク着用のむつかしい乳幼児を伴うベビーカーツアーなどの開催は慎重にならざるをえませんでした。

いったいにコレクション展や企画展といった「鑑賞」プログラムが、基本的には顔の見えない不特定多数の来場者を念頭に置いているのに対して、「学習」や「交流」の事業で大切なのは、あくまでもマン・ツー・マンの対話やコミュニケーションといっていいでしょう。新しい本館の大きな特徴は、チケットを購入しなくても見てまわることのできるエリアの随所に、鑑賞の場であるとともに学習や交流の場でもあるフリー・スペースを設けている点であり、本年も、オープンギャラリー（１階）の一角では、公開制作や県内の特色ある美術館等の活動に焦点を当てる企画展示を、またアートラボ（２階）では視覚以外の感覚にも働きかける作品の展示を行うとともに、１階の交流スペースでは、家族連れで参加のできる「こどもアートラボ」など、数々のワークショップを実施いたしました。その際に、思い思いの動機で集まった参加者を美術館へと迎え入れる重要な役割を果たすのが、アート・コミュニケータであり、令和４年度は２期生28人が加わり総勢56人となりました。

新しい本館の開館を機に、念願のコレクション展示室を含めて本格的な規模と装備を具えた展示室が開設され、その外側のいわば遊歩空間には、自由に見て回ることのできるフリー・スペースが随所に配されることになりました。フリー・スペースとは、工夫や創意を盛り込む余地の大きい空間ということであり、来館者からすれば、さまざまな活用のできる開かれた場ということです。そうして、戦前の日本画・洋画から現代の映像作品やアニメーションまでをカヴァーする本館は、渡り廊下によって日本人の自然感情の粋ともいうべき東山魁夷館という別世界とつながれています。この恵まれた施設を、来館者の皆様とともに育てていきたいと思っておりますので、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和５年６月

長野県立美術館
館長　松本 透

特徴

長野県立美術館は、昭和41年（1966年）、県民の声を受けて善光寺に隣接する城山公園内に財団法人信濃美術館として発足し、昭和44年（1969年）に長野県に移管されて以来、信州における唯一の県立美術館「長野県信濃美術館」として活動してきました。平成２年（1990年）には東山魁夷館が開館。令和３年（2021年）には本館が新築され、「長野県立美術館」へと改称し、現在に至ります。

本館では、「鑑賞」「学び」「交流」「研究」の４つの柱を軸に、郷土作家の作品、信州の風景画を中心とした近現代美術の収集とコレクション展や企画展の開催、美術団体などへの作品発表の場の提供、多様な学習プログラムの提供、館外における交流活動、近現代美術の研究・発信などを積極的に行っています。

これらの活動を通じて、美術家・学芸員・来館者など、そこに集うすべての人びとが互いに学び合う「人本位の美術館」であるとともに、暮らしに文化のうるおいと創造の喜びを吹き込み、さらに美術を通じて県内外を結ぶ「交流や観光の拠点」となる美術館を目指します。

そして、県民をはじめとする多くの皆様の「豊かで文化的な生活」と、「創造性あふれる人づくり」に貢献することが使命です。

■長野県立美術館の４つの柱

１　多様なアートと出会い、世界観を広げる「鑑賞」

本館及び東山魁夷館において収集・保管している作品のコレクション展のほか、企画展や県下各地での移動展を通じて、多くのみなさまが近代美術から現代美術まで、質の高いアートに出会える機会を提供します。

２　アートを通じて豊かな心を育み、生きる喜びを実感する「学び」

世代を越えて誰もが参加できるプログラムを提供するほか、来館者とアートを結ぶアート・コミュニケータの活動を通じて、アートを楽しく学ぶことができる環境づくりに寄与します。

３　他者との協働により、深く新しい視座を開拓する「交流」

県内各地の美術館などの文化施設、美術家のグループ、また地域の観光施設などとアートを介して連携することにより、地域の拠点施設としての役割も担います。

４　美術作品などの文化資源を調査研究し、公開する「研究」

5,500点余のコレクションを文化資源として調査研究を深めていくとともに、アートに関する最新の調査研究の成果や美術書を中心とした蔵書等のデータベースを公開していきます。

東山魁夷館

東山魁夷館は、長野県が日本画家・東山魁夷（1908-1999）から作品と関係図書の寄贈を受け、長野県信濃美術館に併設して建設され、平成２年（1990年）４月に開館しました。収蔵作品数は現在、970点余に及びます。およそ２カ月に一度の割合で展示替えをし、「風景は心の鏡である」という東山芸術の世界をお楽しみいただいています。

コレクション・ポリシー（作品の収集方針）

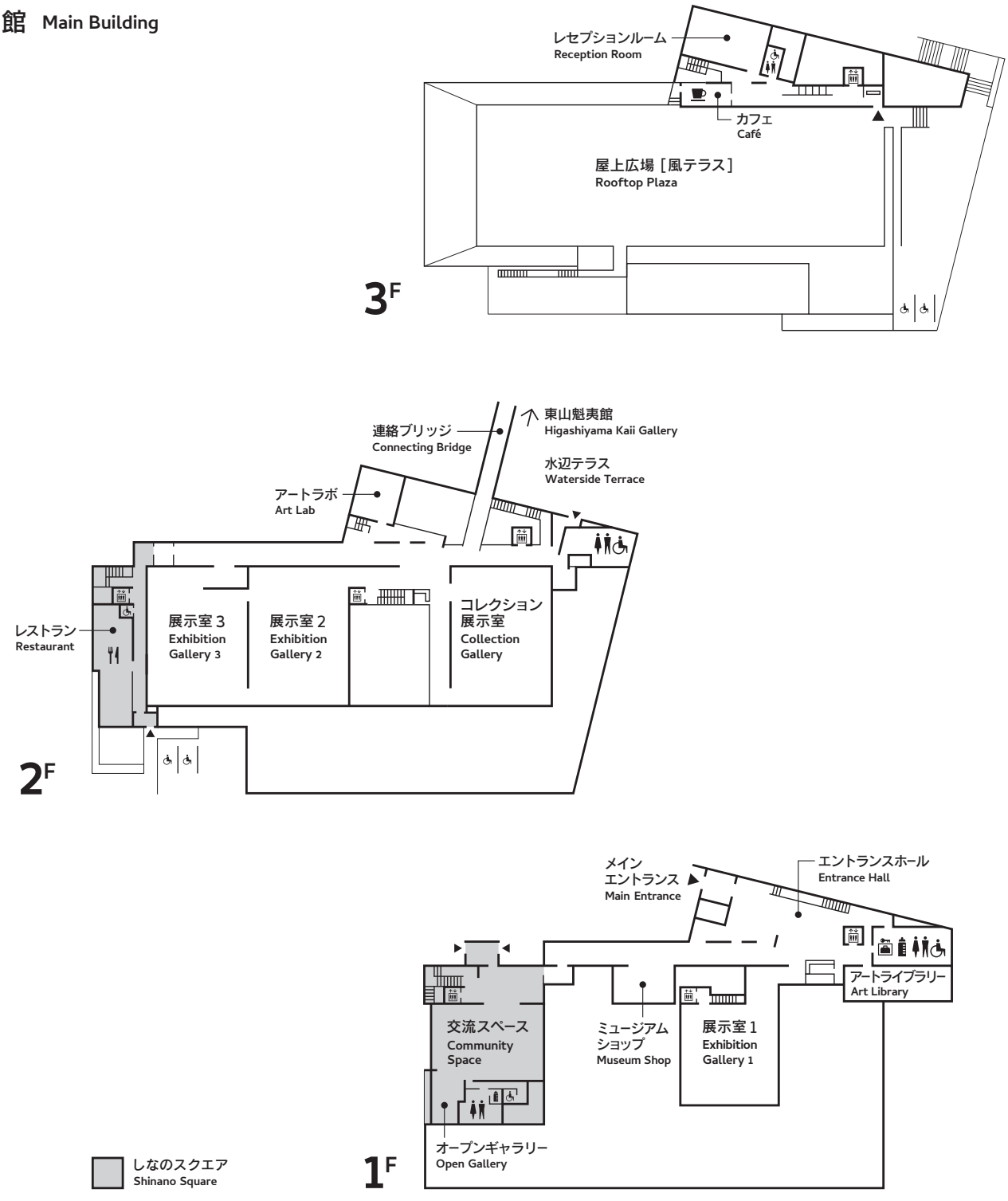
・長野県出身または長野県に関係の深い芸術家の優れた近現代美術の作品（絵画、彫刻、水彩、素描、版画、工芸、デザイン、写真、映像など）
・美しい山岳風景や精神文化に通じる作品、及び「自然」や「自然と人間」をテーマとした優れた近現代美術の作品
・日本及び海外の近現代美術史上の重要作品
・近現代美術史を理解する上で貴重な、散逸を防ぐべき作品群、及び美術資料群

沿革

昭和40年３月23日　財団法人信濃美術館設立
昭和41年５月28日　財団法人信濃美術館新築工事完成
（建設費 １億円）
昭和41年10月１日　信濃美術館開館
（敷地面積：7,946平方メートル 延床面積：1,826平方メートル）
昭和44年３月31日　長野県信濃美術館条例制定
昭和44年６月１日　同美術館を長野県に移管し、長野県信濃美術館発足
昭和45年10月15日　昭和45年５月着工の第二展示棟増築工事完成
（延床面積：654平方メートル）（建設費 6,500万円）
昭和49年３月29日　昭和48年12月着工の収蔵庫増築工事完成
（延床面積：333平方メートル）（建設費 5,192万円）
昭和54年７月12日　長野県美術品取得基金条例制定
昭和61年４月１日　管理運営を財団法人長野県文化振興事業団に委託
昭和62年９月22日　東山魁夷作品寄贈目録贈呈式
昭和62年11月20日　東山魁夷館基本構想発表
平成元年12月25日　平成元年８月着工の信濃美術館改修工事完成
平成２年４月26日　東山魁夷館開館
（着工：昭和62年12月　完成：平成２年２月　敷地面積：4,675平方メートル　延床面積：1,698平方メートル）（建設費 11億円）
平成５年10月14日　東山魁夷館延入館者数100万人達成
平成11年７月15日　東山魁夷館延入館者数200万人達成
平成15年３月31日　東山魁夷館側駐車場増設工事完成
（40台から90台へ）
平成18年４月１日　財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託（～平成21年３月31日）
平成20年７月17日　東山魁夷館延入館者数300万人達成
平成21年４月１日　財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託（～平成26年３月31日）
平成25年４月１日　公益法人制度改革に伴い、長野県文化振興事業団が一般財団法人へ移行
平成26年４月１日　一般財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託（～平成31年３月31日）
平成28年10月１日　長野県信濃美術館開館50周年
平成28年11月18日　「信濃美術館整備基本構想」発表
平成29年５月31日　東山魁夷館改修のため休館
平成29年10月１日　長野県信濃美術館全面改築のため休館
平成30年５月１日　長野県信濃美術館事務所全面改築のため長野県南俣庁舎へ移転
平成31年４月１日　一般財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託（～令和３年３月31日）
令和元年10月５日　東山魁夷館リニューアルオープン
（エレベーター増設等バリアフリー対応、トラックヤード新設ほか）（改修総事業費　約９億4,000万円）
令和３年４月１日　一般財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託（～令和８年３月31日）
令和３年４月10日　長野県立美術館開館
（着工：平成31年４月 完成：令和３年３月 敷地面積：16,363.3平方メートル 延床面積：11,324.25平方メートル）（総事業費　約106億円）
令和４年５月20日　東山魁夷館延入館者数400万人達成
令和４年７月10日　長野県立美術館新築オープン後延入館者数100万人達成

施設概要

本館 Main Building



本館

[建築概要]

-設計-

建築	ブランツアソシエイツ
	オープンヴィジョン
構造	KAP
設備	森村設計
サイン	KMD
外構	オンサイト計画設計事務所
照明計画	ライティングプランナーズアソシエーツ

-施工-

建築/周辺整備	清水・新津建設共同企業体
空調	金澤工業
衛生	浅間設備
電力	協栄電気興業
弱電	TOSYS
外構ほか工事	守谷商会

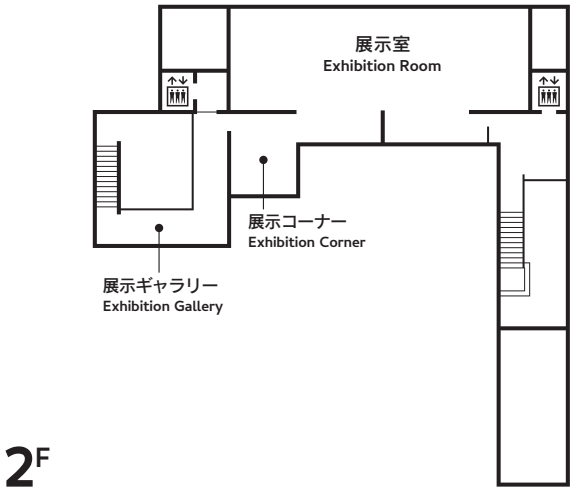
階数	地下 1 階　地上 3 階
最高高さ	h. 11.57m
構造	鉄筋コンクリート造 + プレストレストコンクリート造　一部鉄骨造
地域指定	都市計画区域内（市街化区域）法 22 条区域
	善光寺城山風致地区，下水道処理区域，日影規制（4h-2.5h/4m），第二種住居地域
工事期間	2019 年 4 月 - 2020 年 12 月（本館）
	2021 年 1 月 - 2021 年 3 月（周辺整備等）

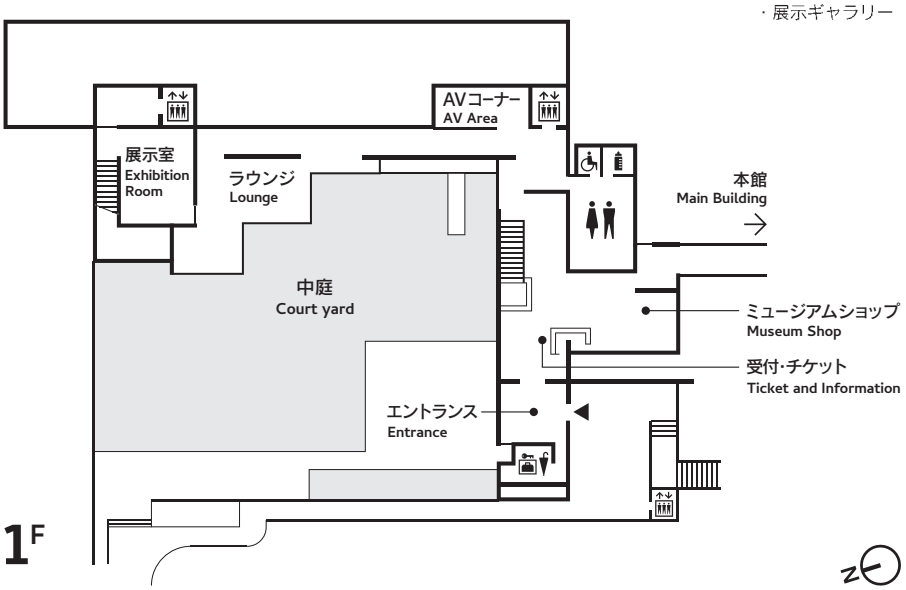
[面積]

敷地面積	16,363.30 ㎡
建築面積	4,541.17 ㎡
延床面積	11,324.25 ㎡（連絡ブリッジ 69.79 ㎡含む）
地下1階床面積	3,091.45 ㎡
・しなのギャラリー	423.93 ㎡
・ホール	234.36 ㎡
・収蔵庫	789.43 ㎡
1階床面積	3,995.08 ㎡
・エントランスホール	208.84 ㎡
・展示室1	378.06 ㎡
・交流スペース	308.12 ㎡
・ミュージアムショップ	81.55 ㎡
・アートライブラリー	121.97 ㎡
・収蔵庫	259.20 ㎡
2階床面積	3,691.57 ㎡
・展示室2	390.85 ㎡
・展示室3	366.34 ㎡
・コレクション展示室	389.13 ㎡
・展示準備室	192.15 ㎡
・アートラボ	53.84 ㎡
・レストラン	105.34 ㎡
・連絡ブリッジ	69.79 ㎡
・事務室	278.45 ㎡
3階床面積	551.41 ㎡
・レセプションルーム	116.01 ㎡
・カフェ	39.91 ㎡

施設概要

東山魁夷館 Higashiyama Kaii Gallery





東山魁夷館

[建築概要]	
設計	谷口建築設計研究所
施工	竹中・守谷建築共同企業体
階数	地上 2 階
最高高さ	h. 11.45 m
構造	鉄筋コンクリート
地域指定	第一種低層住居専用地域
	善光寺城山風致地区
工事期間	1988 年 12 月 -1989 年 12 月
改修工事期間	2018 年 5 月 -2019 年 3 月
[面積]	
敷地面積	4,675.00 ㎡
建築面積	1,316.31 ㎡（内増築面積 225.85 ㎡）
延床面積	1,882.22 ㎡（内増築面積 225.85 ㎡）
1 階床面積	1,197.58 ㎡
・エントランスホール	119.52 ㎡
・展示室	79.38 ㎡　h. 7.8m
・収蔵庫	169.69 ㎡
・荷解室その他	46.45 ㎡
・ミュージアムショップ	54.08 ㎡
・ラウンジ	128.79 ㎡
・事務室	33.56 ㎡
2 階床面積	684.64 ㎡
・展示室	359.11 ㎡　h. 4.7m
・展示コーナー	30.72 ㎡　h. 3m
・展示ギャラリー	79.34 ㎡　h. 4.45m

長野県立美術館条例

昭和44年3月31日条例第32号
改正　令和2年10月19日条例第35号
　　令和5年3月20日条例第3号

（趣旨）

第１条　この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号）及び地方自治法（昭和22年法律第67号）の規定に基づき、博物館の設置及び管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

（設置）

第２条　美術品を収集し、保管し、展示して一般住民の利用に供し、その教養、調査研究等に資するとともに、美術の振興を図り、もって教育、学術及び文化の向上に寄与するため、長野県立美術館（以下「美術館」という。）を長野市に設置する。

（職員）

第３条　美術館に、博物館法第4条第1項及び同条第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

（協議会）

第４条　美術館に、博物館法第23条の規定による美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

２　協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから長野県教育委員会（以下「教育委員会」という。）が任命する。

３　協議会の委員の定数は10人以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

（利用の許可）

第５条　美術館を利用しようとする者は、次条の規定によりその管理を行わせる指定管理者（地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）の許可を受けなければならない。

（指定管理者による管理）

第６条　美術館の管理は、指定管理者に行わせるものとする。

（指定管理者の指定）

第７条　指定管理者の指定は、美術館の管理を行うことを希望するものの申請によりその候補者を選定し、議会の議決を経て行うものとする。

（指定の申請）

第８条　前条の申請は、教育委員会が定める日までに、教育委員会規則で定めるところにより、申請書に事業計画書（職員、美術館の管理の方法その他の美術館の管理業務の実施に関する計画を記載した書類をいう。次条において同じ。）その他教育委員会規則で定める書類を添付して行うものとする。

（候補者の選定の基準）

第９条　第7条の候補者の選定は、次に掲げる基準により行うものとする。

(1)　事業計画書の内容が、美術館の公共性を確保し、かつ、美術館の効用を最大限発揮するとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。

(2)　一般住民の平等な利用が確保されること。

(3)　事業計画書の内容の確実な実施に必要な経理的及び技術的な基礎を有するものであること。

(4)　指定管理者が行う業務について相当の知識及び経験を有する者を当該業務に従事させることができること。

(5)　県内において芸術文化の振興に寄与する活動を行っているものであること。

(6)　地方自治法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過しないものでないこと。

（指定の告示）

第10条　教育委員会は、指定管理者の指定をしたときは、当該指定管理者の名称及び主たる事務所の所在地並びに当該指定の期間を告示しなければならない。

（業務の範囲）

第11条　指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。

(1)　美術品を保管し、及び展示するとともに、一般住民に対して当該美術品に関し必要な説明を行うこと。

(2)　施設及び設備の維持管理に関する業務

(3)　美術館の利用の許可に関する業務

(4)　美術館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）に関する業務

(5)　博物館法第3条第1項第3号及び第5号から第12号までに掲げる事業に関する業務

(6)　前各号に掲げる業務に附帯する業務

（管理の基準）

第12条　指定管理者が行う管理の基準は、次に掲げるとおりとする。

(1)　美術館の休館日について、水曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、木曜日）、休日の翌日及び12月28日から翌年1月3日までとすること。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(2)　美術館の利用時間について、午前9時から午後5時までとすること。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得

て、これを変更することができる。

(3)　美術館の利用の停止及び許可の取消しについて、展示品等を汚損した場合その他の教育委員会規則で定める場合に行うことができるものとすること。

(4)　美術館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができること。

(5)　この条例及び次条の規定による協定を遵守して行うこと。

(6)　指定管理者がその業務を行うに当たって取得した利用者の個人に関する情報を適切に取り扱うこと。

(7)　前各号に掲げるもののほか、美術館の管理を適切に行うために必要な基準で教育委員会が定めるもの

(協定の締結)

第13条　教育委員会及び指定管理者は、次に掲げる事項について、協定を締結するものとする。

(1)　地方自治法第244条の2第7項に規定する事業報告書に関する事項

(2)　利用者の個人に関する情報の取扱いに関し必要な事項

(3)　前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項

(利用料金の納付等)

第14条　美術館の展示品を観覧する者又は県民ギャラリー若しくは多目的ルームを利用する者は、利用料金を納付しなければならない。

2　利用料金は、指定管理者の収入として収受させるものとする。

3　常設に係る展示品を観覧する場合の利用料金の額は、1人1回について700円の範囲内において、あらかじめ知事の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。

4　特別企画に係る展示品を観覧する場合の利用料金の額は、あらかじめ知事の承認を得て、特別企画ごとに指定管理者が定めるものとする。

5　知事は、前項に規定する承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が当該申請に係る特別企画と規模、形態等において類似の特別企画に係る展示品を観覧する場合の料金と比較して均衡のとれたものであると認めるときは、承認をするものとする。

6　県民ギャラリー又は多目的ルームを利用する場合の利用料金の額は、別表に定める額の範囲内において、あらかじめ知事の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。

(利用料金の減免)

第15条　指定管理者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、利用料金について知事が定める額を基準とした額を減免することができる。

(1)　国又は地方公共団体が利用するとき。

(2)　前号に定めるもののほか、知事が定める特別の理由があるとき。

(利用料金の還付)

第16条　指定管理者は、既に納付された利用料金を還付しないものとする。ただし、指定管理者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、知事が定める額を基準とした額を還付することができる。

(1)　利用する者の責任によらない理由で利用できなくなったとき。

(2)　利用の申込みをした者が知事が定める日までにその申込みを取り消したとき。

(3)　前2号に定めるもののほか、知事が定める特別の理由があるとき。

(管理等の委任)

第17条　この条例に定めるもののほか、美術館の管理等及び協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附　則

この条例は、昭和44年6月1日から施行する。

附　則（令和2年10月19日条例第35号）

この条例は、公布の日から施行する。ただし、題名の改正規定、第2条の改正規定（「長野県信濃美術館」を「長野県立美術館」に改める部分に限る。）及び次項の規定は、令和3年4月1日から施行する。

附　則（令和5年3月20日条例第3号）

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

（別表）（第14条関係）

1　県民ギャラリー及び多目的ルーム

区　分		金　額		
		午前9時から午後零時30分まで	午後1時から午後5時まで	午前9時から午後5時まで
県民ギャラリー		円	円	円
		—	—	23,400
多目的ルーム	文化芸術活動に利用する場合	6,000	6,900	13,800
	文化芸術活動以外に利用する場合	24,200	27,600	55,200

(備考)1　入場料又はこれに類するものを徴収して利用する場合は、この表に掲げる区分に従い、当該区分に定める額に100分の130を乗じて得た額とする。
2　県民ギャラリーの一部を利用する場合の利用料金の額は、当該利用する部分の面積に応じ、知事が定める額とする。

2　備品等

区　分	金　額
備品を利用する場合	知事が別に定める額
電気器具の持込みをして電力を利用する場合	

長野県立美術館規則

昭和44年5月19日教育委員会規則第6号
改正　令和3年3月29日教育委員会規則第6号

（趣旨）

第１条　この規則は、長野県立美術館条例（昭和44年長野県条例第32号。以下「条例」という。）第17条の規定により、長野県立美術館（以下「美術館」という。）の管理等及び美術館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（協議会）

第２条　条例第4条の規定による協議会は、長野県教育委員会（以下「教育委員会」という。）が招集する。

2　協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年2回、臨時会は必要に応じて招集する。

3　協議会に幹事2名を置き、幹事は教育委員会が指名する。

（利用の許可等）

第３条　県民ギャラリー又は多目的ルーム（以下「貸出施設」という。）を利用する者は、条例第5条の規定による許可を受けようとするときは、申請書を次に掲げる期間内に条例第6条の規定により美術館の管理を行う指定管理者（以下「指定管理者」という。）に提出して申請しなければならない。

(1)　県民ギャラリー又は県民ギャラリーと併せて利用する場合の多目的ルームについては、利用しようとする日（以下この項において「利用日」という。）の前1年に当たる日の属する月の初日（その日が休館日に当たるときは、その翌日）から利用日の前30日まで

(2)　多目的ルームについては、利用日の前3月に当たる日（その日が休館日に当たるときは、その翌日）から利用日の前日まで

2　前項の規定にかかわらず、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、知事の承認を得て、同項の期間外の申請についても受理することができる。

3　第1項の申請書には、次に掲げる事項を記載するものとする。

(1)　利用目的

(2)　利用する貸出施設の名称

(3)　利用期間

(4)　入場料又はこれに類するものを徴収して利用する場合にあっては、その旨

(5)　多目的ルームを文化芸術活動以外に利用する場合にあっては、その旨

(6)　前各号に掲げるもののほか、指定管理者が利用の許可を行うために必要と認める事項

4　美術館の展示品を観覧する者は、条例第5条の規定による許可を受けようとするときは、指定管理者に口頭により申請しなければならない。

5　指定管理者は、第1項の申請に対し貸出施設の利用を許可したときはその利用許可書を、前項の申請に対し展示品の観覧を許可したときは入場券を交付しなければならない。

（利用取消届）

第４条　前条第5項の規定による利用許可書の交付を受けた者（第6条及び第7条において「貸出施設利用者」という。）が、貸出施設の利用の取消しをしようとするときは、その理由を記載した届出書に当該利用許可書を添付して、指定管理者に提出しなければならない。

（遵守事項）

第５条　美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1)　施設、展示品等を毀損し、又は汚損しないこと。

(2)　館内において他人に迷惑をかけないこと。

(3)　所定の場所以外で飲食しないこと。

(4)　前3号に掲げるもののほか、指定管理者が教育委員会の承認を得て定める事項

（利用後の処理）

第６条　貸出施設利用者は、施設又は備品の利用を終了したときは、その旨を指定管理者に届け出なければならない。

（損害の賠償）

第７条　美術館を利用する者は、施設、展示品等（貸出施設利用者が持込みをしたものを除く。）を毀損し、汚損し、又は滅失したときは、速やかに指定管理者に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

（指定の申請）

第８条　条例第8条の申請書は、指定管理者指定申請書（別記様式）によるものとする。

2　条例第8条の教育委員会規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。ただし、条例第7条の申請を行うもの（以下この項において「申請者」という。）について教育委員会がその性格に応じ前項の申請書に添付することを要しないものと認める書類がある場合には、当該書類を除く。

(1)　定款若しくは寄附行為及び登記事項証明書又はこれらに準ずるもの

(2)　申請の日の属する事業年度の前3年の各事業年度における申請者の事業の状況を記載した書類、貸借対照表及び損益計算書若しくは収支計算書又はこれらに準ずるもの

(3)　申請の日の属する事業年度及び翌事業年度における

申請者の事業の実施及び収支に係る計画を記載した書類
(4)　役員の名簿及び履歴書
(5)　申請者が現に行っている業務の概要を記載した書類
(6)　申請者が条例第9条第6号に該当する旨の誓約書
(7)　前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

（利用の停止又は許可の取消しを行うことができる場合）

第９条　条例第12条第3号の教育委員会規則で定める場合は、第5条の規定に違反した場合とする。

（補則）

第10条　この規則に定めるもののほか、美術館の管理等について必要な事項は、教育委員会が定める。

附　則

この規則は、昭和44年6月1日から施行する。

附　則（令和3年3月29日教育委員会規則第6号）

この規則は、公布の日から施行する。ただし、題名の改正規定、第1条の改正規定（「第16条」を「第17条」に改める部分を除く。）及び別記様式の改正規定（「(第7条関係)」を「(第8条関係)」に改める部分を除く。）は、令和3年4月1日から施行する。

様　式（省略）

歴代館長

山　田　邦　夫	昭和41年10月１日～昭和44年５月31日	※財団法人信濃美術館
西　沢　千　秋	昭和44年６月１日～昭和46年11月30日	※財団法人から県に移管
宮　沢　　寿	昭和46年12月１日～昭和47年11月30日	
藤　森　治　幸	昭和47年12月１日～昭和53年３月31日	
鵜　野　　孝	昭和53年４月１日～昭和57年１月31日	
大　友　博　幸	昭和57年２月１日～昭和57年３月31日	教育次長兼
竹　本　春　男	昭和57年４月１日～昭和58年３月31日	
佐　藤　義　人	昭和58年４月１日～昭和59年３月31日	
伊　藤　万寿雄	昭和59年４月１日～昭和60年３月31日	
三　沢　国　臣	昭和60年４月１日～昭和61年３月31日	
山　本　正　男	昭和61年４月１日～平成14年３月31日	※長野県文化振興事業団に管理運営を委託
松　本　　猛	平成14年４月１日～平成22年４月30日	
橋　本　光　明	平成23年４月８日～平成30年３月31日	
松　本　　透	平成30年４月１日～現在に至る	

令和4年度展覧会概要

(1) 当館主催展覧会

企画展

展覧会名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
善光寺御開帳記念 善光寺さんと高村光雲展 未来へつなぐ東京藝術大学の調査研究から	4/2～6/26	74	14,846	916	1,322	1,663	2,719	21,466
マン・レイと女性たち	4/21～6/19	52	4,544	812	987	1,080	2,006	9,429
ジブリパークとジブリ展 ※ジブリパークとジブリ展のみ小学生以上が有料（小学生未満無料）	7/16～10/10	76	157,955	1,312	※小学生未満 20,050	—	9,607	188,924
傅抱石・傅益瑤　父娘展　文化のかけ橋	7/23～9/11	44	3,272	475	983	527	739	5,996
戸谷成雄　彫刻	11/4～1/29	69	4,687	874	684	1,023	768	8,036
発見された日本の風景	2/11～4/9	50	4,113	529	727	79	758	6,206
計		365	189,417	4,918	24,753	4,372	16,597	240,057

オープンギャラリー展示

展覧会名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
公開制作 vol.2　佐藤朋子　狐・鶴・馬	5/28～9/11	93	—	…	…	…	…	13,974
NAM アーカイブ&リサーチ2022 信州の生活と版画―上野誠が見つめた戦後	10/27～2/14	90	—	…	…	…	…	9,174
計		183	0	0	0	0	0	23,148

アートラボ展示

展覧会名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
アートラボ2022第Ⅰ期 西村陽平展 彫刻を見るとき、耳を澄ます	3/11～7/26	119	—	…	…	…	…	4,187
アートラボ2022第Ⅱ期 金箱淳一展 たゆたう音とあそぶ	7/30～10/25	77	—	…	…	…	…	5,457
アートラボ2022第Ⅲ期 荒木優光 ダンスしないか？	11/3～1/29	70	—	…	…	…	…	4,306
アートラボ2022第Ⅳ期 ひらくツール ふれる はなす あるく 齋藤名穂×長野県立美術館	2/4～5/9	83	—	…	…	…	…	2,987
計		349	0	0	0	0	0	16,937

本館　コレクション展

展覧会名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
NAM コレクション展　第Ⅰ期	3/17～5/17	54	15,659	588	1,365	1,034	1,304	19,950
NAM コレクション展　第Ⅱ期	5/19～7/19	54	23,690	704	671	1,240	1,913	28,218
NAM コレクション展　第Ⅲ期	9/15～11/8	48	13,231	271	586	2,005	942	17,035
NAM コレクション展　第Ⅳ期	11/10～1/17	54	9,001	627	524	821	580	11,553
NAM コレクション展　第Ⅴ期 特集展示：信濃デッサン館コレクション	1/19～3/14	48	6,498	590	404	114	593	8,199
計		258	68,079	2,780	3,550	5,214	5,332	84,955

東山魁夷館　コレクション展

展覧会名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
第Ⅰ期	4/14～6/7	48	20,863	571	891	1,297	1,656	25,278
第Ⅱ期	6/9～8/2	48	15,603	544	659	987	1,329	19,122
第Ⅲ期	8/4～10/4	54	13,542	430	954	1,366	1,222	17,514
第Ⅳ期	10/6～12/6	54	13,999	590	623	1,733	909	17,854
第Ⅴ期	12/8～2/7	48	5,526	443	436	220	396	7,021
第Ⅵ期	2/9～4/11	54	8,409	647	735	79	787	10,657
計		306	77,942	3,225	4,298	5,682	6,299	97,446

(2) 長野県立美術館 交流名品展

展覧会名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
佐久市立近代美術館	7/16～8/28	38	665	419	…	…	…	1,084
計		38	665	419	0	0	0	1,084

(3) 長野県立美術館 移動展

展覧会名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
長野県伊那文化会館 美術展示ホール	11/19～12/18	26	623	234	…	…	…	857
松川村多目的交流センター すずの音ホール	2/18～3/5	16	－	…	…	…	…	780
計		42	623	234	0	0	0	1,637

(4) しなのギャラリー (県民ギャラリー) における展覧会

展覧会名	主催団体名	会期	日数	入場者数		
				有料	無料	計
善光寺御開帳2022日本一の門前町大縁日 わが街ながのゆかりの作家展　水上民平展	長野市文化スポーツ振興部 文化芸術課	4/1～4/12	11	0	477	477
しなの芸術祭　和楽2022	株式会社六曜社	4/23～4/25	3	0	559	559
My SDGs 展　Part II	学校法人岡学園 トータルデザインアカデミー	4/30～5/8	8	0	809	809
丸山宏信かな書展 ―屏風展―	丸山宏信	5/13～5/17	5	0	550	550
長野市風景画展歴代受賞作品展	長野市文化スポーツ振興部 文化芸術課	5/20～5/31	11	0	1,586	1,586
山田「洋子水彩画＆まさお造形」の夫婦展	アトリエようこ	6/3～6/7	5	0	497	497
夏至 20周年記念展 _0	Galley　夏至	6/10～6/13	4	0	150	150
第73回 北信美術展	北信美術会	6/23～6/27	5	0	2,511	2,511
カラコレス研究生グループ展 ～プリザーブド＆アートフラワーの世界～	カラコレス・プリザーブド ＆アートフラワースクール	7/1～7/5	5	0	156	156
山の日ポスター展 2022	JAGDA 長野地区	7/14～7/19	6	0	70	70
表具師 北岡芳仙洞 創作箔アートパネル展 ～染めた和紙･織物と金銀箔で新しい表現を～	有限会社芳仙洞	7/21～7/26	6	0	520	520
津田翔一　油彩画展　～＋覚知 ka～	津田翔一	7/29～8/9	11	30	0	30
田村美奈展「空へ」To the sky	田村美奈	8/12～8/16	5	0	469	469
第41回長野県工芸展	長野県工芸会	8/26～8/30	5	0	667	667
第75回長野県書道展覧会	長野県書道展運営委員会	9/4～9/11	7	0	1,751	1,751
第74回長野県美術展	信州美術会	9/25～10/2	7	0	3,207	3,207
第10回記念書道発表会　明扇書藝會	明扇書藝會	10/7～10/10	4	0	550	550
第22回水墨画県展	長野県水墨画協会	10/15～10/18	4	0	559	559
第44回新世紀長野支部展	新世紀美術協会長野支部	10/21～10/25	5	0	351	351
第38回長野県高等学校書道展	長野県高等学校文化連盟	10/28～10/30	3	0	240	240
第63回北信高校美術展	北信高校美術展実行委員会	11/5～11/8	4	0	618	618
第55回ふれあい展長野上水内特別支援学級・ 特別支援学校 児童生徒作品展	長野上水内特別支援教育担当者会	11/11～11/15	5	0	2,003	2,003
第25回謙慎書道会甲信北越展	謙慎書道会甲信北越展実行委員会	12/9～12/11	3	0	322	322
第32回長野市風景画展	長野市文化スポーツ振興部 文化芸術課	1/21～1/31	10	0	1,471	1,471
第73回長野県児童生徒美術展／第38回長野市・ 上水内郡中学校美術部合同展／令和4年度長野上 水内教育会図工美術展／第32回北信ブロック展	長野県美術教育研究会 長野上水内支部	2/3～2/7	5	0	2,314	2,314
令和4年度 信州大学教育学部 図画工作・ 美術教育コース 「きになるみになるき～卒業記念展覧会～」	信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース	2/9～2/14	6	0	260	260
第50回日本の書展	信濃毎日新聞社事業部	3/3～3/6	4	1,649	0	1,649
第52回新構造社長野県展	一般社団法人新構造社長野県支部	3/10～3/14	5	0	379	379
計			162	1,679	23,046	24,725

(5) ホール（多目的ルーム）におけるイベント

イベント名	主催団体名	会期	日数	入場者数		
				有料	無料	計
水墨画協会　担当者会議	長野県水墨画協会	7/16	1	0	23	23
プログラミングで海の SDGs ！	一般社団法人 イエロー ピン プロジェクト	7/23	1	0	100	100
第6講座（哲学） 「芸術体験と哲学対話」	一般社団法人 長野上水内教育会	7/29	1	0	48	48
日本博事業 アールブリュットと関係性と大西暢夫写真展	長野県手をつなぐ育成会	10/22～10/23	2	0	169	169
令和4年度信州の木建築賞表彰式	長野県建設部建築住宅課	11/21	1	0	48	48
令和4年度 長野県児童・生徒木工工作コンクール表彰式	長野県木材青壮年団体連合会	11/26	1	0	60	60
計			7	0	448	448

企画展（展示室1）

善光寺御開帳記念
善光寺さんと高村光雲展　未来へつなぐ東京藝術大学の調査研究から

善光寺の御開帳に合わせ、高村光雲や米原雲海によって近代に建立された現在の仁王門の仏像について、様々な角度から紹介する展覧会。善光寺の文化財に焦点を絞り、高村光雲が教鞭を執った東京美術学校の後身で、長年にわたり善光寺の仏像の調査・修復に携わってきた東京藝術大学大学院美術研究科保存修復彫刻研究室の協力のもと、その研究成果としての仏像を展示した。善光寺仁王門の金剛力士像や三面大黒天像、三宝荒神像等の研究パネルと構造模型（ひな型）、高村光雲の制作日誌等の展示と合わせて、AR 技術を用いた仏像の立体的な再現を行い、修復が単なる過去の復元ではなく、連綿と続いている信仰と美術のあり方に関わる問題であることを明確にした。

■会期　令和4年4月2日（土）から6月26日（日）（74日間）
■会場　長野県立美術館（展示室1）
■主催等　［主催］長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、（公財）信毎文化事業財団
［共催］長野県教育委員会
［特別協力］善光寺、東京藝術大学保存修復彫刻研究室
［後援］長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺御開帳奉賛会、長野県芸術文化協会、（公財）八十二文化財団、（公財）ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本　長野支社
■観覧料　一般・大学生及び75歳以上500（400）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　21,466人
（有料：14,846人　無料：6,620人）
■イベント　①記念講演会1／講師：藤曲隆哉（修復家）・小島久典（東京藝術大学准教授）／日時：5月28日（土）13:30～15:30／場所：レセプションルーム／参加人数：30人
②「善光寺参り絵解き図」の絵解き／講師：小林玲子（長野の絵解きを広める会　代表）／日時：6月4日（土）14:00～15:00／場所：レセプションルーム
※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から4月16日（土）、5月14日（土）は中止
③記念講演会2／講師：籔内佐斗司（奈良県立美術館館長）・山田修（奈良県立大学地域創造研究センター特任教授）／日時：6月11日（土）13:30～15:30／場所：レセプションルーム／参加人数：26人
■担当学芸員　霜田英子、古家満葉

5月28日　記念講演会1

6月11日　記念講演会2

No.	作家名	作品名	制作年	所蔵先
1	高村光雲、米原雲海　ほか	善光寺仁王門　仁王像（阿形）　雛型	大正時代	善光寺
2		善光寺仁王門　仁王像（吽形）　雛型		
3		善光寺仁王門　三宝荒神像　雛型		
4		善光寺仁王門　三面大黒天像　雛型		
5	高村達（撮影）	善光寺仁王門　仁王像（阿形）　写真	2019（令和元）年	作家
6		善光寺仁王門　仁王像（吽形）　写真	2020（令和元）年	
7		善光寺仁王門　三宝荒神像　写真	2021（令和元）年	
8		善光寺仁王門　三面大黒天像　写真	2022（令和元）年	
ケータイで体感する実物大				
9		善光寺仁王門　仁王像（阿形）　AR（拡張現実）		
10		善光寺仁王門　仁王像（吽形）　AR（拡張現実）		
光雲さんの仕事場から				
11	高村光雲	画帳		
12	新納忠之介　ほか	東大寺南大門仁王像の実測図	1915（大正4）年	個人
13	高村光雲	善光寺仁王門　三面大黒・三宝荒神像のスケッチ	大正時代	
14		善光寺仁王像の制作日誌	大正時代	
塑像を木彫へ				
15		星取り器		個人
16		星取りの跡が残る「郭子儀」像	不詳	個人
どのように木を寄せるか				
17		高村光雲が特別講義で用いた木寄せ模型	大正時代	東京藝術大学彫刻科
仏像研究はいまも続く				
18	小島久典	東大寺中性院弥勒菩薩立像　模刻	2014（平成26）年	作家
19	吉水快聞	東大寺俊乗堂阿弥陀如来立像　模刻	2010（平成22）年	作家
20	李品誼	本山慈恩寺釈迦三尊像　模刻	2019（令和元）年	作家

企画展（展示室2・3）

マン・レイと女性たち

20世紀を代表する芸術家の一人、マン・レイ。幅広いジャンルで活躍した作家は、写真でもその類稀な才能を発揮した。そんなマン・レイの写真を特徴づけるのが、独自の技法や、軽やかな撮影スタイル、そして長い生涯のなかで出会った女性たちの存在である。彼女たちはマン・レイにとっての“ミューズ”であると同時に、激動の時代を生きる自由な人間性の象徴だった。本展ではマン・レイの写真を中心に、絵画やオブジェなど250点を超える選りすぐりの作品を紹介した。

■会期　令和4年4月21日(木)から6月19日(日)(52日間)
■会場　長野県立美術館(展示室2・3)
■主催等　[主催]長野県、長野県立美術館
[共催]長野県教育委員会
[後援]在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本、長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本　長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ
[監修]巖谷國士(シュルレアリスム研究、仏文学者、美術批評家、明治学院大学名誉教授)、マリオン・メイエ(20世紀美術研究、国際マン・レイ協会会長)
[特別協力]国際マン・レイ協会
[協力]日本航空
[企画協力]アートプランニング レイ
■観覧料　一般1,500(1,400)円、大学生及び75歳以上1,300(1,200)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※東山魁夷館及び長野県立美術館コレクション展との共通料金　一般2,000円、大学生及び75歳以上1,600円
※(　)内は20名以上の団体料金
■入館者数　9,429人(有料：4,544人　無料：4,885人)
■イベント　①担当学芸員によるギャラリートーク／日時：4月24日(日)14:00～15:00／場所：展示室2・3／※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止
②担当学芸員によるギャラリートーク／日時：6月12日(日)14:00～15:00／場所：展示室2・3／参加人数：31人
■担当学芸員　松井正、佐々木裕貴子

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	所蔵先
第Ⅰ章 ニューヨーク 1890-1921					
I-1 セルフポートレート					
1	マン・レイ	セルフポートレート	1916/1970年	セリグラフ、合成樹脂ガラス	Galerie Eva Meyer, Paris
2	マン・レイ	セルフポートレート	1915年	ゼラチン・シルバー・プリント(マン・レイによる後刷)	個人蔵
3	マン・レイ	セルフポートレート	1929年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
4	マン・レイ	セルフポートレート	1930年	ゼラチン・シルバー・プリント(マン・レイによる後刷)	個人蔵
5	マン・レイ	セルフポートレート	1930年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
6	マン・レイ	カメラをもつセルフポートレート(ソラリゼーション)	1932-35年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
7	マン・レイ	エマク・バキアとセルフポートレート	1935年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
8	マン・レイ	レイの手／マン・レイ(手・光線)	1935/1971年	着色されたブロンズ、ビリヤード玉、アクリル台座	個人蔵
9	マン・レイ	セルフポートレート	1942年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
10	マン・レイ	パイプをくわえたセルフポートレート	1942年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
11	マン・レイ	セルフポートレート	1946/1972年	リトグラフ、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
I-2 ダダ時代の作品					
12	マン・レイ	裸体	1912年	木炭、紙	個人蔵
13	マン・レイ	インディアン・サマー　リッジフィールドの二人の裸体	1913年頃	グアッシュ、紙	個人蔵
14	マン・レイ	殺人的論理	1919/1975年	リトグラフ、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
15	マン・レイ	女綱渡り芸人は彼女の影をともなう	1916/1970年	リトグラフ(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
16	マン・レイ	板張りの遊歩道	1917/1973年	ミクストメディア、コード、木、布、引き具、インク、合板	個人蔵
17	マン・レイ	DANGER-DANCER(危険－ダンサー)あるいは不可能性	1917-1920/1969年	セリグラフ、合成樹脂ガラス	Galerie Eva Meyer, Paris
18	マン・レイ	ニューヨーク 17	1917/1966年	銀	個人蔵
19	マン・レイ	ただそれだけで Ⅰ	1918/1966年	ブロンズのアサンブラージュ、ブロンズ台座	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	所蔵先
20	マン・レイ	ただそれだけで II	1918/1966年	銀に金メッキしたアサンブラージュ、ブロンズ台座	Maruani Mercier Gallery, Brussels
21	マン・レイ	ニューヨーク 1920	1920/1973年	38個の鋼球、ガラス管、コルク栓、スポンジゴム、フォーム	個人蔵
22	マン・レイ	育児法(1920年1月の夢)	1920/1966年	着彩ブロンズ	個人蔵
23	マン・レイ	障碍物	1920/1964年	65個の木製ハンガー、スーツケース	Maruani Mercier Gallery, Brussels
24	マン・レイ	ヴィオレッタの偏見あるいは三美神	1919/1966年	セリグラフ、合成樹脂ガラス	個人蔵
25	マン・レイ	ヘルマ(アエログラフ)	1920年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
26	マン・レイ	コートスタンド	1920年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
27	マン・レイ	イジドール・デュカスの謎	1920年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
28	マン・レイ	マルセル・デュシャンの油彩作品《階段を降りる裸体 No.2》を撮った写真	1920年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
29	マン・レイ	ローズ・セラヴィの肖像	1921年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
30	マン・レイ	ローズ・セラヴィの肖像	1921年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
31	マン・レイ & マルセル・デュシャン(ローズ・セラヴィ)	レディメイド《ベル・アレーヌ、ヴォワレット水》(リゴー社の香水瓶ラベル)	1921年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	Pierre-Yves Butzbach, Paris
32	マン・レイ & マルセル・デュシャン(ローズ・セラヴィ)	レディメイド《ベル・アレーヌ》(雑誌『ニューヨーク・ダダ』の表紙)	1920-21年刊		個人蔵
第II章 パリ 1921-1940					
II-3 ダダ・シュルレアリスム					
33		「ダダ　マン・レイ 展」パンフレット(リブレリー・シス、パリ)	1921年		個人蔵
34	マン・レイ	贈り物	1921/1970年	アイロン、鋲	個人蔵
35	マン・レイ	1921年の家具つきホテル	1921/1969年	着色されたブロンズ	個人蔵
36	マン・レイ	女性の思索(レイヨグラフ)	1922/1955-60年	シルバー・フォトグラム・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
37	マン・レイ	マン・レイの映画「理性への回帰」のスチル写真	1923年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
38	マン・レイ	永続するモティーフ	1923/1971年	木製メトロノーム、目の写真	個人蔵
39	マン・レイ	昨日、今日、明日	1924年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
40	マン・レイ	キキ・ド・モンパルナス(フェルナン・レジェの映画「バレエ・メカニック」のスチル写真)	1924年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
41	マン・レイ	エマク・バキア	1926/1970年	銀、馬の毛	個人蔵
42	マン・レイ	マン・レイの映画「エマク・バキア」のスチル写真	1926年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
特別出品 マン・レイの映画					
f1	マン・レイ	理性への回帰	1923年	シングルチャンネル・ヴィデオ(オリジナルは35㎜フィルム)、モノクロ、サイレント、2分	個人像
f2	マン・レイ	エマク・バキア	1926年	シングルチャンネル・ヴィデオ(オリジナルは35㎜フィルム)、モノクロ、サイレント、20分	個人像
f3	マン・レイ	ひとで／海の星	1928年	シングルチャンネル・ヴィデオ(オリジナルは35㎜フィルム)、モノクロ、サイレント、17分	個人像
f4	マン・レイ	骰子城の秘密	1929年	シングルチャンネル・ヴィデオ(オリジナルは35㎜フィルム)、モノクロ、サイレント、25分	個人像
II-4 シュルレアリストたちの肖像					
43	マン・レイ	トリスタン・ツァラの肖像	1922年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
44	マン・レイ	ルイ・アラゴン	1923年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
45	マン・レイ	シモーヌ・カーン(・ブルトン)	1927年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	Pierre-Yves Butzbach, Paris
46	マン・レイ	ポール・エリュアールとアンドレ・ブルトン	1930年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
47	マン・レイ	アンドレ・ブルトンの肖像	1930年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
48	マン・レイ	ランタンをもつジャクリーヌ・ランバ(・ブルトン)	1934年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	Pierre-Yves Butzbach, Paris
49	マン・レイ	ニュッシュとポール・エリュアール	1935年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
50	マン・レイ	マックス・エルンストの肖像(網目効果)	1934年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
51	マン・レイ	マックス・エルンストとマリーベルト・オーランシュ	1928年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
52	マン・レイ	ルイス・ブニュエルの肖像	1929年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
53	マン・レイ	ピカソの肖像	1932年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
54	マン・レイ	サルバドール・ダリの肖像	1932年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
55	マン・レイ	ガラとサルバドール・ダリ	1936年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	Pierre-Yves Butzbach, Paris
II-5 キキ・ド・モンパルナス					
56	マン・レイ	キキ・ド・モンパルナス	1924年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
57	マン・レイ	アングルのヴァイオリン	1924年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
58	マン・レイ	アングルのヴァイオリン	1924/1969年	リトグラフ(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
59	マン・レイ	キキ・ド・モンパルナス	1924年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
60	マン・レイ	キキ・ド・モンパルナス	1925年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
61	マン・レイ	黒と白	1926年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
62	マン・レイ	黒と白	1926年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
63	マン・レイ	白い背中	1927年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
64	マン・レイ	キキ・ド・モンパルナス	1928年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
65	キキ・ド・モンパルナス(アリス・プラン)	『キキの想い出』	1930年刊		個人蔵
66	キキ・ド・モンパルナス	『キキ・ド・モンパルナスとアコーディオン弾き』	1939年	レコードディスク	個人蔵
II-6 リー・ミラー					
67	マン・レイ	リー・ミラー(ソラリゼーション)	1929年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
68	マン・レイ	リー・ミラー	1930年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
69	マン・レイ	リー・ミラー	1930年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	所蔵先
70	マン・レイ	無題	1929年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
71	マン・レイ	影	1930年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
72	マン・レイ	ハーレム (タニヤ・ラム、マン・レイ、リー・ミラー)	1930年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	Pierre-Yves Butzbach, Paris
73	マン・レイ	無題(グラビア誌『エレクトリシテ(電気)』より)	1931年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
74		グラビア誌『エレクトリシテ(電気)』	1931年刊		個人蔵
75	マン・レイ	リー・ミラー	1932年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
76	マン・レイ	天文台の時刻に――恋人たち	1934/1967年	リトグラフ(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
77	マン・レイ	天文台の時刻に――恋人たち	1934年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
II-7 社交界・芸術界・モンパルナス					
78	マン・レイ	カザーティ侯爵夫人	1922年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
79	マン・レイ	ガートルード・スタイン	1922年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
80	マン・レイ	ブロニスラヴァ・ニジンスカ	1922年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
81	マン・レイ	ボーモン伯爵の舞踏会(エウヘニア・エラスリス、闘牛士の衣裳を着けたパブロ・ピカソ、オルガ・ピカソ)	1924年5月31日	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	Pierre-Yves Butzbach, Paris
82	マン・レイ	ジャン・コクトー	1924年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
83	マン・レイ	バルベットの肖像	1925年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
84	マン・レイ	バルベット	1926年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
85	マン・レイ	ナンシー・キュナード	1925年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
86	マン・レイ	マリーロール・ド・ノアイユ(ソラリゼーション)	1936年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	Pierre-Yves Butzbach, Paris
87	マリーロール・ド・ノアイユ	無題	1936年頃	グアッシュ、厚紙、ニス	個人蔵
88	撮影者不詳	ジョセフィン・ベイカーの「ルヴュ・ネーグル」(パリのフォリー・ベルジェール劇場)	1926年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
89	ドラ・カルミュス／マダム・ドラ	ジョセフィン・ベイカー	1928年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
90	撮影者不詳	サーカス一座のスナップ写真(ドゥ・ボスカ座、トロワ・フロリ座、キャトル・ロマノ座)	1925年頃		個人蔵
91		雑誌『パリ・モンパルナス』	1925年頃		個人蔵
92	撮影者不詳	モンパルナスのキャバレでのスナップ写真(キキ・ド・モンパルナスや仮装した藤田嗣治などもいる)	1925年頃		個人蔵
II-8 ファッションと写真					
93	マン・レイ	ファッション写真(ソラリゼーション)、ルイーズ・ブーランジェのドレス	1935年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
94	マン・レイ	ファッション写真	1935年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
95	マン・レイ	上半身のカット、クリードのブラウス	1936年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
96	マン・レイ	上半身のカット、クリードのブラウス	1936年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
97	マン・レイ	コンポジション	1936年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
98	マン・レイ	リュシアン・ルロンのためのファッション写真　オスカル・ドミンゲスの手押し車(ラ・ブルーエット)で	1937年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
99	マン・レイ	ファッション写真	1940年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
100		マン・レイのファッション写真を掲載した1930年代のモード誌『フェミナ』	1930年代		個人蔵
101	マン・レイ	ドゥニーズ・ポワレ(ブランクーシの彫刻《マイアストラ》の前でポール・ポワレのドレスをまとうポワレ夫人)	1922年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	Pierre-Yves Butzbach, Paris
102	マン・レイ	ポール・ポワレのドレスを着たペギー・グッゲンハイム	1924年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
103-1		スキャパレッリの帽子	1920-30年代	コサージュ、ムギワラ	Antigone Schilling, Paris
103-2		スキャパレッリの帽子	1920-30年代	コサージュ、シルクサテン	Antigone Schilling, Paris
103-3		シャネルの刺繍ドレス	1920-30年代	シルク、刺繍	Margot Jeannin, Bayonne
103-4		シャネルのローブ・デコルテ	1920-30年代	シルクサテン、刺繍、ベルト	Margot Jeannin, Bayonne
104	マン・レイ	エルザ・トリオレ	1929年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	Pierre-Yves Butzbach, Paris
105	エルザ・トリオレ	シルバーの編込チョーカー	1930年頃	金属、木綿、合成素材	Bibliothèque Elsa-Triolet, don Louis Aragon 1981, Saint-Etienne-du-Rouvray
106	エルザ・トリオレ	木の葉型シェルウッドをつないだネックレス	1931年7月	シェルウッド(白蝶貝)のビーズ、木綿、銅金具	Bibliothèque Elsa-Triolet, don Louis Aragon 1981, Saint-Etienne-du-Rouvray
107	エルザ・トリオレ	ネックレス《ルロン》の試作品	1931年7月	セラミック製の白玉ビーズ、木綿、金具	Bibliothèque Elsa-Triolet, don Louis Aragon 1981, Saint-Etienne-du-Rouvray
108	エルザ・トリオレ	ネックレス《スパイラル》の試作品	1931年春	ガラスに銀メッキしたビーズ、鉄製リング、真鍮針金、金具	Bibliothèque Elsa-Triolet, don Louis Aragon 1981, Saint-Etienne-du-Rouvray
109	エルザ・トリオレ	《ルロン》7つのリンクチェーンをつないだベルト	1931年夏	乳白色ビーズ、金属針金	Bibliothèque Elsa-Triolet, don Louis Aragon 1981, Saint-Etienne-du-Rouvray
110	マン・レイ	ココ・シャネル	1930年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
111	マン・レイ	ココ・シャネル	1930年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
112	マン・レイ	ココ・シャネル	1935年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	所蔵先
113		香水瓶《シャネル No. 5》、シャネル	1920年代	ガラスの香水瓶	Steven Mendelson, Paris
114-1		香水瓶《ミツコ》、ゲラン	1920年代	鋳造ガラスの香水瓶	Antigone Schilling, Paris
114-2		香水瓶《ミツコ》、ゲラン	1919年	鋳造ガラスの香水瓶、箱	Patrimoine Guerlain
115-1		ゲランの香水瓶	1920年代	金色のハチがデザインされた香水瓶、底部に「ゲラン」の刻印	個人蔵
115-2		香水瓶《リウ》、ゲラン	1927年	中国茶入れ箱を思わせる黒いガラスの香水瓶、箱	Patrimoine Guerlain
115-3		香水瓶《シャリマール》、ゲラン	1925年	バカラ社のガラスの香水瓶	Patrimoine Guerlain
116		香水瓶《ルネ・ラリック》、リュシアン・ルロン	1929年	フロストガラスの香水瓶とアルミニウム・エナメルのカバー、底部に「ルネ・ラリック」の刻印	個人蔵
117	マン・レイ	エルザ・スキャパレッリ	1938年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
118		香水瓶《スリーピング》、スキャパレッリ	1938年	透明ガラスに型押し、蠟燭の形に成形した香水瓶と火消具の形をしたフィンガーホルダー付のカバー	個人蔵
119		香水瓶《スリーピング》、スキャパレッリ	1938年	透明ガラスに型押し、蠟燭の形に成形した香水瓶、炎の形のストッパー	個人蔵
120		香水瓶《シュクセ・フー(大ヒット)》、スキャパレッリ	1952年	不透明ガラスに型押し、金と緑の塗料のかかった葉の形をした香水瓶	個人蔵
II-9 裸体からマネキン人形まで					
121	マン・レイ	眠る女(ソラリゼーション)	1929年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
122	マン・レイ	裸体(ソラリゼーション)	1930年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
※諸事情により No. 123は未出品					
124	マン・レイ	祈り	1930/1971年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)、感光布	Enseigne des Oudin – Fonds de dotation, Paris
125	マン・レイ	解剖学	1930年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
126	マン・レイ	ゆがんだ女性胸像	1931年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
127	マン・レイ	無題(ソラリゼーション)	1932年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
128	マン・レイ	ジャクリーヌ・ゴダール(ソラリゼーション)	1932年	ゼラチン・シルバー・ネガティヴ(後刷)	個人蔵
129	マン・レイ	ガラスの涙	1932年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
130	マン・レイ	無題(上半身像)	1933年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
131	マン・レイ	マネキン人形たち (写真集『マネキン人形たちの復活』の表紙)	1938年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
132	マン・レイ	マン・レイのマネキン人形 (写真集『マネキン人形たちの復活』より)	1938年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
133	マン・レイ	マルセル・デュシャンのマネキン人形	1938年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
134	マン・レイ	マックス・エルンストのマネキン人形 (写真集『マネキン人形たちの復活』より)	1938年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
135	マン・レイ	サルバドール・ダリのマネキン人形 (写真集『マネキン人形たちの復活』より)	1938年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
II-10 女性たちとシュルレアリスム					
136	マン・レイ	ベレニス・アボット	1922年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	Pierre-Yves Butzbach, Paris
137	マン・レイ	ティリア・パルムッター	1923年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
138	マン・レイ	メレット・オッペンハイム、正面を向いて横たわる裸体	1933年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
139	マン・レイ	メレット・オッペンハイム　ルイ・マルクーシのアトリエで	1933年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
140	マン・レイ	エロティックにヴェールをまとう (メレット・オッペンハイム)	1933年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
141	マン・レイ	スペードの女王(リーズ・ドゥアルム)	1935年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
142	マン・レイ	ヴァランティーヌ・ユゴー	1935年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
143	マン・レイ	レオノール・フィニ	1937年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	Pierre-Yves Butzbach, Paris
144	マン・レイ	イヴォンヌ・ゼルヴォス、アリス・ラオンとパブロ・ピカソ	1936年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
145	マン・レイ	ドラ・マール(ソラリゼーション)	1936年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
146	マン・レイ	ニュッシュ・エリュアール(詩写真集『容易』より)	1935年	ゼラチン・シルバー・プリント(マン・レイによる後刷)	個人蔵
147		詩写真集『容易』	1935年刊		個人蔵
148	マン・レイ	愛：ニュッシュとポール・エリュアール	1936年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
149	マン・レイ	ニュッシュ・エリュアール	1937年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
150	マン・レイ	ニュッシュ・エリュアール、ドラ・マール、アディ・フィドラン	1937年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
II-11 マン・レイの「自由な手」					
151	マン・レイ	手(レイヨグラフ)	1927年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
152	マン・レイ	手(ソラリゼーション)	1930年	ゼラチン・シルバー・ネガティヴ(後刷)	個人蔵
153	マン・レイ	パブロ・ピカソが彩色した手	1935年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
154	マン・レイ	手	1936年	インク、鉛筆、紙	個人蔵
155		詩画集『自由な手』	1937年刊		個人蔵
156	マン・レイ	壊れた橋(詩画集『自由な手』より)	1936/1971年	ブロンズ	個人蔵
157	マン・レイ	ナルシス(詩画集『自由な手』より)	1936/1971年	ブロンズ	個人蔵
158	マン・レイ	孤独(詩画集『自由な手』より)	1936/1971年	ブロンズ	個人蔵
159	マン・レイ	手と果物(詩画集『自由な手』より)	1936/1971年	ブロンズ	個人蔵
160	マン・レイ	裸体(詩画集『自由な手』より)	1936/1971年	ブロンズ	個人蔵
161	マン・レイ	力(詩画集『自由な手』より)	1936/1971年	ブロンズ	個人蔵
162	マン・レイ	美しい手(詩画集『自由な手』より)	1936/1971年	ブロンズ	個人蔵
163	マン・レイ	女と彼女の魚(詩画集『自由な手』より)	1936/1971年	ブロンズ	個人蔵
II-12 アディ・フィドラン					
164	マン・レイ	アドリエンヌ・フィドラン	1937年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	所蔵先
165	マン・レイ	夢の笑い	1937年	油彩、厚紙	個人蔵
166	マン・レイ	コンゴ式ファッション(アディ・フィドラン)	1937年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
167	マン・レイ	アドリエンヌ・フィドラン、マン・レイの石膏像とルバの彫刻	1938年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
168	マン・レイ	《上天気》を描くアディ	1939年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
169	マン・レイ	《上天気》を描くマン・レイ	1939年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
170	マン・レイ	上天気	1939/1973年	リトグラフ(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
第Ⅲ章 ハリウッド 1940-1951					
III-13 ジュリエット・ブラウナー					
171	マン・レイ	バッハを弾くジュリエット	1941年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
172	マン・レイ	ジュリエット・ブラウナーの肖像	1941年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
173	マン・レイ	ジュリエット・ブラウナーとマーガレット・ナイマン	1942年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
174	マン・レイ	ジュリエット (写真集『ジュリエットの50の顔』より)	1943年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)、コンタクトシート	個人蔵
175	マン・レイ	ジュリエット・ブラウナー	1943年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
176	マン・レイ	ジュリエットとマン・レイ	1945年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
177	マン・レイ	ジュリエットとセルマ・ブラウナー	1945年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
178	マン・レイ	ジュリエット・ブラウナー	1945年頃	鉛筆、紙	個人蔵
179	フローレンス・ホモルカ	マン・レイ、ジュリエット、マックス・エルンスト、ドロテア・タニング、ハリウッド、カリフォルニア	1946年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	Pierre-Yves Butzbach, Paris
180	マン・レイ	1946年10月24日の合同結婚式：マックス・エルンストとドロテア・タニング、マン・レイとジュリエット・ブラウナー	1946年	ゼラチン・シルバー・プリント(マン・レイによる後刷)	個人蔵
III-14 アートの新天地					
181	マン・レイ	イーゼル絵画	1940年	インク、木炭、紙	個人蔵
182	マン・レイ	無題	1940年	グアッシュ、紙	個人蔵
183	マン・レイ	パレッタープル(パレット・テーブル)	1940/1971年	画家のパレットの形をしたテーブル	個人蔵
184	マン・レイ	ミスター・ナイフとミス・フォーク	1944/1973年	木の玉、ネット、ナイフとフォーク、赤いビロード張りした木箱	個人蔵
185	マン・レイ	永遠の魅力	1948/1972年	格子のボード、木製の3つの駒	個人蔵
186	マン・レイ	タマラ・トゥマノワ	1945年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
187	マン・レイ	ジャクリーヌ・デュエム	1947年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
188	マン・レイ	パンドラ役を演じるエヴァ・ガードナー	1950年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
189	マン・レイ	レスリー・キャロン	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
第Ⅳ章 パリふたたび　1951-1976					
IV-15 アートのなかの女性像					
190	マン・レイ	女性の絵	1954/1976年	リトグラフ(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
191	マン・レイ	花－女性	1954年	インク、紙	個人蔵
192	マン・レイ	13の型にはめられた処女たち	1955年	リトグラフ、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
193	マン・レイ	フランスのバレエ II	1956/1971年	着色したブロンズ	個人蔵
194	マン・レイ	パン・パン(彩色パン)	1958/1966年	青に着彩したポリエステル樹脂のパン、アクリル台座	個人蔵
195	マン・レイ	羽根の重石	1960/1968年	3つの羽根、着色した鉛板	個人蔵
196	マン・レイ	チェス・セット	1962年	チェス・セット(32個のブロンズ製の駒)、木製箱、マン・レイの手書きの詩	個人蔵
197	マン・レイ	飼いならされた処女／私をつれだして	1968年	銀、透過面のあるプラスティック箱	個人蔵
198	マン・レイ	ペシャージュ(桃・雲・風景)	1969/1972年	木製箱、人工の桃3個、綿、塗料	個人蔵
199	マン・レイ	ピンナップ	1970年	レディメイド、板に敷いた紙にコラージュ	個人蔵
200	マン・レイ	詩人の肖像(ジュリエット)	1954/1975年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
201	ジュリエット・マン・レイ	無題	1960年	アクリル絵具	個人蔵
202	マン・レイ	ジュリエット・グレコ	1956年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	Pierre-Yves Butzbach, Paris
203	マン・レイ	ジャクリーヌ・ピカソ	1958年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
204	マン・レイ	宮脇愛子の肖像	1962年	ゼラチン・シルバー・プリント(レプリカ)	宮脇愛子アトリエ
205	マン・レイ	マッチ箱	1962年頃	マッチ箱、小鳥のオブジェ、宮脇愛子の肖像ファクシミリ	宮脇愛子アトリエ
206	マン・レイ	カトリーヌ・ドヌーヴ	1968年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
207	マン・レイ	ランプシェード	1919/1964年	エナメルがけした金属	個人蔵
208	マン・レイ	ペンダンツ・ペンディング	1961/1967年	金のイヤリング、塗られた木、箱	John Mestdagh Collection, Maruani Mercier Gallery, Brussels
IV-16 新しいジュエリーとモード					
209	マン・レイ	ル・トルー(穴)	1970年	金とプラチナのリング	Collection Design Museum Den Bosch/NL
210	マン・レイ	ラ・ジョリ(かわいい娘)	1961/1971年	金のネックレス、ラピスラズリ	Collection Design Museum Den Bosch/NL
211	マン・レイ	オプティック・トピック	1974/1978年	銀に金メッキしたマスク、革ひも、木製箱	個人蔵
212	マン・レイ	ドロテア・タニング	1942年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	Pierre-Yves Butzbach, Paris
213	ドロテア・タニング	パルフュメ(香りつき)	1966年	金のペンダント	個人蔵
214	マックス・エルンスト	グランド・テット(頭でっかち)	1975年	金、木製箱	個人蔵
215	マン・レイ	メレット・オッペンハイム	1932年	ゼラチン・シルバー・プリント(後刷)	個人蔵
216	メレット・オッペンハイム	セットされた食卓のブローチ	1936-40/1985年	銀、金	Thomas Levy Collection, Hamburg

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	所蔵先
217	メレット・オッペンハイム	毛皮の朝食の思い出	1972年	楕円ガラスの下に布、毛皮、プラスティックの花とスパンコール	Thomas Levy Collection, Hamburg
218	メレット・オッペンハイム	ジャコメッティの耳	1977年	ブロンズ	Thomas Levy Collection, Hamburg
219	メレット・オッペンハイム	原始のヴィーナス	1933/1978年	ブロンズ	Thomas Levy Collection, Hamburg
220	メレット・オッペンハイム	ハルスバント(チョーカー)	1934-35/2003年	プラスティック、紐、金	Thomas Levy Collection, Hamburg
221	メレット・オッペンハイム	ネックレス	1936/2003年	金色に塗ったプラスティック	Thomas Levy Collection, Hamburg
222	メレット・オッペンハイム	唇のある骨ネックレス	1935-36/ 2003-13年	銀に金メッキ	Thomas Levy Collection, Hamburg
223	メレット・オッペンハイム	シンプル・ドレス	1942-45/2003年	着色した厚紙	Thomas Levy Collection, Hamburg
224	メレット・オッペンハイム	シンプル・ドレス	1942-45/2003年	紙の芝生とプラスティックの花のついた厚紙	Thomas Levy Collection, Hamburg
225	メレット・オッペンハイム	毛皮のついた靴	1934-36/2003年	靴、毛皮、着色した陶器	Thomas Levy Collection, Hamburg
226	メレット・オッペンハイム	手袋(『パルケット No.4　豪華版』に収められた150部の限定品)	1942-45/1985年	シルクスクリーンをほどこした山羊革スエードの手袋	Thomas Levy Collection, Hamburg
IV-17 マン・レイとは誰だったか？					
227	マン・レイ	ジュリエット・マン・レイと《贈り物》	1960年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
228	マン・レイ	セルフポートレート	1965年	ゼラチン・シルバー・プリント(ヴィンテージ)	個人蔵
229	マン・レイ	アナ：電灯の花	1970年	エッチング(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
230	マン・レイ	キキ・ド・モンパルナス (1924年の素描にもとづく)	1970年	エッチング、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
231	マン・レイ	二つの顔のイメージ(1959年の油彩の再制作)	1971年	リトグラフ(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
232	マン・レイ	ルネ (版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より)	1971年	エッチング、アクアティント(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
233	マン・レイ	ソニア (版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より)	1971年	エッチング、アクアティント(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
234	マン・レイ	アドリエンヌ (版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より)	1971年	エッチング、アクアティント(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
235	マン・レイ	ジェニア (版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より)	1971年	エッチング、アクアティント(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
236	マン・レイ	トニー (版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より)	1971年	エッチング、アクアティント(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
237	マン・レイ	ジュリー (版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より)	1971年	エッチング、アクアティント(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
238	マン・レイ	ナターシャ (版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より)	1971年	エッチング、アクアティント(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
239	マン・レイ	シーラ (版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より)	1971年	エッチング、アクアティント(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
240	マン・レイ	マルグリット (版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より)	1971年	エッチング、アクアティント(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
241	マン・レイ	エリザベス (版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より)	1971年	エッチング、アクアティント(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
242	マン・レイ	ヴィヴィアン (版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より)	1971年	エッチング、アクアティント(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
243	マン・レイ	テレーズ (版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より)	1971年	エッチング、アクアティント(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
244	マン・レイ	ドンナ (版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より)	1971年	エッチング、アクアティント(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
245	マン・レイ	コンサート (版画集『時を超えた貴婦人たちのバラード』より)	1971年	エッチング、アクアティント(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
246	マン・レイ	イジドール・デュカスの謎	1920/1971年	布に包まれたオブジェ、フェルト、紐	個人蔵
247	マン・レイ	フェルー通り	1952/1974年	リトグラフ(多色)、紙	Galerie Eva Meyer, Paris
248		『マン・レイの写真 1920-1934 パリ』	1934年刊		個人蔵
249	マン・レイ	『パン・パン(彩色パン)』	1952/1973年刊		個人蔵
250		『サド侯爵の私的覚書(1803-1804)』	1953年刊		個人蔵
251	マン・レイ	『セルフポートレート』	1963年刊		個人蔵
252	マン・レイ	『骰子の7の目』	1973年刊		個人蔵
253		「マン・レイ　天が下に新しきもの」展パンフレット(シュルレアリスム画廊、パリ)	1928年		個人蔵
254		「マン・レイ」展パンフレット (ヴァン・レール画廊、パリ)	1929年		個人蔵
255		「シュルレアリスム展　彫刻・オブジェ・絵画・デッサン」パンフレット(ピエール・コル画廊、パリ)	1933年		個人蔵
256		「マン・レイ　絵画とオブジェ展」パンフレット (カイエ・ダール画廊、パリ)	1935年		個人蔵
257		「マン・レイ　デッサン」展パンフレット (ヴァレンタイン画廊、ニューヨーク)	1936年		個人蔵
258		「マン・レイ　デッサン」展パンフレット (ジャンヌ・ビュシェ画廊、パリ)	1937年		個人蔵
259		「マン・レイ　非－抽象」展パンフレット (エトワール・セレ画廊、パリ)	1956年		個人蔵
260		「マン・レイ」展パンフレット (リーヴ・ドロワット画廊、パリ／アレクサンダー・イオラス画廊、ニューヨーク)	1959年		個人蔵

※作家名、作品名、制作年、素材・技法は所蔵者及び監修者より提供された情報をそのまま用いています。
※複製・再制作などによる「同一主題のヴァリエーション」の場合、原則として「最初の制作年 / 該当作品の制作年」の順に表記しています。
※版画やジュエリーの場合、いずれも「アーティストのデザイン・構想した年 / 具現化するため実際に制作された年」の順に表記しています。
※後刷のプリントはマン・レイのほか現像技術師や出版者によるものを含みます。写真家自身の手によるプリントは、本リストでは「ヴィンテージ」と表記しています。
※各章タイトルは、本展図録の表記に準じています。

企画展（展示室1・2・3）

ジブリパークとジブリ展

ジブリパークとは2022年11月1日、愛知県の「愛・地球博記念公園」に開園した、スタジオジブリの作品世界を体感できる一大テーマパークである。本展では、模型などの貴重なメイキング資料も交えてジブリパークを紹介した。特に当館の会期は開園前であったため、パークの内容を完全に先取りして展覧する貴重な機会となった。また、パーク建設の指揮を執った宮崎吾朗監督が建設に携わった三鷹の森ジブリ美術館や、『ゲド戦記』、『アーヤと魔女』等の吾朗監督作品の紹介もあり、ジブリの世界を堪能できる展示であった。

■会期　令和4年7月16日（土）から10月10日（月・祝）（76日間）
■会場　長野県立美術館（展示室1・2・3）
■主催等　［主催］長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、テレビ信州
［共催］長野県教育委員会
［後援］長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、（公財）八十二文化財団、（公財）ながの観光コンベンションビューロー、JR 東日本　長野支社、FM 長野
［協賛］大日本印刷
［企画制作協力］スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館、ジブリパーク
■観覧料　一般1,500円、中高生1,000円、小学生700円、未就学児無料
■入館者数　188,924人（有料：157,955人　無料：30,969人）
■展示構成　プロローグ：ようこそスタジオジブリへ
第1章：はじまりは三鷹の森ジブリ美術館
第2章：アニメーションの世界をつくる
第3章：アニメーションの世界を本物へ
第4章：ジブリパークのつくりかた
■担当学芸員　池田淳史、木内真由美

企画展（コレクション展示室）

傅抱石・傅益瑤　父娘展　文化のかけ橋
―墨絵の美の響演

長野県とゆかりの深い現代中国画壇を代表する水墨画家・傅益瑤とその父で20世紀中国絵画の巨匠・傅抱石による初の父娘展を開催した。日本へ留学した経験のある二人は、中国伝統の水墨技法を軸に日本で学んだ東洋の美術史や美学論を創作の背景に位置づけ、伝統に基づきながらも時代を超えた革新的な水墨表現を展開し、中国画壇に確たる地位を築いた。本展では日本留学時代前後の戦前作品にくわえ、帰国後、新たに創始した「抱石皴」といわれる画法を駆使して描いた傅抱石の水墨山水と、来日40年におよぶ水墨表現の研鑽により生み出された傅益瑤の筆による日本の祭りや寺院障壁画、芭蕉や一茶の俳句から創意した詩意画などの近作を中心に、日本と中国の画境を共有し、新たな地平を切り開いた二人の優品をご紹介し、多くの方々にご覧いただいた。

■会期　令和4年7月23日（土）から9月11日（日）（44日間）
■会場　長野県立美術館（コレクション展示室）
■主催等　［主催］長野県、長野県立美術館
［共催］長野県教育委員会
［後援］一般社団法人全国旅行業協会、長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、（公財）八十二文化財団、（公財）ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本　長野支社、信濃毎日新聞社、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ
［協力］常楽寺美術館
■観覧料　一般500（400）円、大学生及び75歳以上300（200）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※東山魁夷館との共通料金　一般800円、大学生及び75歳以上400円
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　5,996人（有料：3,272人　無料：2,724人）
■図録（主要目次）
第1章 傅抱石－中国現代絵画の巨匠
第2章 傅益瑤－伝統の墨絵で日本文化の真髄を描く閨秀画家
■イベント　講演会／講師：傅益瑤（水墨画家、本展出品作家）／日時：8月20日（土）13:30～15:00／場所：ホール／参加人数：53人
■担当学芸員　上沢修、佐々木裕貴子

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
傅抱石　一中国現代絵画の巨匠						
1	傅抱石	水木清華之居図	1932(昭和7)年	紙本墨画	135.5×54.0	武蔵野美術大学 美術館・図書館
2	傅抱石	撫黄鶴山樵秋壑鳴泉圖	1933(昭和8)年	紙本墨画	184.2×63.5	武蔵野美術大学 美術館・図書館
3	傅抱石	鶏図	1934(昭和9)年	紙本墨画	136.6×46.6	武蔵野美術大学 美術館・図書館
4	傅抱石	枝上鳥鳴図	1934(昭和9)年	紙本墨画淡彩	133.5×43.04	武蔵野美術大学 美術館・図書館
5	傅抱石	蓮池図	1935(昭和10)年頃	紙本墨画淡彩	137.1×33.2	武蔵野美術大学 美術館・図書館
6	傅抱石	瓢箪図	1935(昭和10)年頃	紙本墨画淡彩	96.8×46.3	武蔵野美術大学 美術館・図書館
7	傅抱石	二湘図	1945(昭和20)年	紙本墨画淡彩	135.5×67.7	個人蔵
8	傅抱石	山鬼	1964(昭和39)年頃	紙本墨画淡彩	123.5×70.5	傅家蔵
9	傅抱石	鏡泊飛泉	1963(昭和38)年	紙本墨画淡彩	68.3×81.1	個人蔵
10	傅抱石	井崗山之頌	1964(昭和39)年頃	紙本墨画淡彩	104.0×135.5	常楽寺美術館
傅益瑤　一伝統の墨絵で日本文化の真髄を描く閨秀画家						
11	傅益瑤	諏訪大社御柱祭	2009(平成21)年	紙本墨画彩色	180.0×270.0	作家蔵
12	傅益瑤	宇出津キリコ祭	2013(平成25)年	紙本墨画彩色	180.0×96.0	作家蔵
13	傅益瑤	徳島阿波おどり	2016(平成28)年	紙本墨画彩色	160.0×270.0	作家蔵
14	傅益瑤	青森ねぶた	2008(平成20)年	紙本墨画彩色	179.0×283.0	作家蔵
15	傅益瑤	京都祇園祭　山鉾巡行辻回し	2007(平成19)年	紙本墨画	180.0×95.0	作家蔵
16	傅益瑤	那智火祭	2008(平成20)年	紙本墨画彩色	180.0×273.0	作家蔵
17	傅益瑤	西馬音内盆踊り	2003(平成15)年	紙本墨画彩色	178.0×272.0	作家蔵
18	傅益瑤	三千院四季	1990(平成2)年	紙本墨画彩色	180.0×540.0	三千院
19	傅益瑤	別所古刹風光	1987(昭和62)年	紙本墨画	180.0×524.0	常楽寺美術館
20	傅益瑤	法華大会	2000(平成12)年	紙本墨画彩色	63.0×95.0	常楽寺美術館
21	傅益瑤	李白黄鶴楼詩意	2018(平成30)年	紙本墨画彩色	69.0×138.0	創価学会
22	傅益瑤	杜甫後遊詩意	2019(平成31)年	紙本墨画彩色	93.0×177.0	株式会社サニクリーン甲信越
23	傅益瑤	奥の細道　遊行柳　田一枚植て立去る柳かな	1998(平成10)年	紙本墨画	80.0×153.0	カメイ美術館
24	傅益瑤	奥の細道　立石寺　閑さや岩にしみ入蝉の聲	1996(平成8)年	紙本墨画	80.0×153.0	カメイ美術館
25	傅益瑤	奥の細道　羽黒山　涼しさやほの三日月の羽黒山	1997(平成9)年	紙本墨画	80.0×153.0	カメイ美術館
26	傅益瑤	奥の細道　越後路　荒海や佐渡によこたふ天河	1997(平成9)年	紙本墨画	80.0×153.0	カメイ美術館
27	傅益瑤	雪とけて村いっぱいの子ども哉	2022(令和4)年	紙本墨画彩色	69.5×134.5	作家蔵
28	傅益瑤	雀の子そこのけそこのけ御馬通る	2022(令和4)年	紙本墨画彩色	58.0×60.0	作家蔵
29	傅益瑤	夜の雪だまって通る人もあり	2022(令和4)年	紙本墨画彩色	58.0×60.0	作家蔵
30	傅益瑤	名月をとってくれろと泣く子哉	2022(令和4)年	紙本墨画彩色	36.0×47.5	作家蔵
31	傅益瑤	うつくしき団扇持けり未亡人	2022(令和4)年	紙本墨画彩色	36.0×47.5	作家蔵
32	傅益瑤	元旦は田毎の月こそ恋しけれ	2022(令和4)年	紙本墨画彩色	69.5×134.5	作家蔵
33	黄雲鵬作 傅益瑤画	染付山水図梅瓶「千山瑞色」	2010(平成22)年	磁器	H43.0	創価学会
特別出品	伊藤甎堂作 傅益瑤画	染付山水図大壺	2022(令和4)年	磁器	H51.5	作家蔵
特別出品	伊藤甎堂作 傅益瑤画	染付縄文土器型酒器「阿房宮図」	2022(令和4)年	磁器	H45.1	作家蔵
特別出品	伊藤甎堂作 傅益瑤画	染付大皿「魚楽」	2022(令和4)年	磁器	Φ51.7	作家蔵
特別出品	伊藤甎堂作 傅益瑤画	茶道具 皆具 染付「祭」	2022(令和4)年	磁器	建水H9.6、水差H17.3 蓋置H6.2、杓立H7.3	作家蔵
特別出品	伊藤甎堂作 傅益瑤画	茶道具 皆具 染付「蓮」	2022(令和4)年	磁器	建水H8.9、水差H16.7 蓋置H6.5、杓立H15.5	作家蔵
特別出品	伊藤甎堂作 傅益瑤画	染付茶碗四種	2022(令和4)年	磁器	Φ10.7、Φ11.2 Φ13.1、Φ13.2	作家蔵
34	傅益瑤	善光寺御開帳	2022(令和4)年	紙本墨画彩色	70.0×139.5	作家蔵

企画展（展示室1・2・3）

戸谷成雄　彫刻

戸谷成雄(1947-)は、日本の現代彫刻を代表する存在として、「彫刻とはなにか」を問う根源的な思索を深めながら、今なお精力的に作品を発表している。出身地である長野県での初めての個展となる本展では、「表面」や「構造」といった戸谷独自の彫刻概念に、日本語の言語構造への深い思索が反映されていることに焦点を当てた。この思索は、戸谷自身の言葉にしばしば表明されてきたものの、作品を目の前に語られる機会はあまり多くなかった。代表作の「森」シリーズや初期の人体彫刻、貴重なインスタレーション作品まで約30点を制作年に関係なく展示し、いわゆる制度として解体された彫刻を、時代や地域の枠を乗り越え、その起源から見つめ直す戸谷の一貫した取り組みを提示した。

■会期　令和4年11月4日(金)から令和5年1月29日(日)(69日間)
■会場　長野県立美術館(展示室1・2・3)
■主催等　[主催]長野県、長野県立美術館、戸谷成雄展実行委員会
[共催]長野県教育委員会
[協力]シュウゴアーツ、ケンジタキギャラリー
[後援]長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本　長野支社、信濃毎日新聞社、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ
■観覧料　一般1,000(900)円、大学生及び75歳以上700(600)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※東山魁夷館及び長野県立美術館コレクション展との共通料金　一般1,500円、大学生及び75歳以上1,000円
※(　)内は20名以上の団体料金
■入館者数　8,036人(有料：4,687人　無料：3,349人)
■図録(主要目次)
戸谷成雄インタビュー
作品1 Works 1
峯村敏明「森を出て〈森〉に到る」
建畠晢「空洞と眼差し」
佐原しおり「戸谷成雄「森」前史」
作品2 Works 2
松本透「森と、表面と、反転―戸谷成雄の彫刻「森」以後」
鈴木幸野「或る「在る全体」としての彫刻」
新藤淳「アトノセカイの森、その痛みのアナクロニー
―戸谷成雄のけもの道の記憶、あるいは「ポストもの派」概念の批判へ」
冨井大裕「廻る―戸谷さんの制作」
作品3 Works 3
対談　戸谷成雄×遠藤利克
勝俣涼「戸谷成雄、もつれ合う彫刻―「接触」をめぐる身体と言語の問題系」
作品4 Works 4
■イベント　①アーティストトーク
講師：戸谷成雄、北澤智豊(武蔵野美術大学)／日時：11月4日(金)10:30～12:00／場所：展示室1・2・3／参加人数：27人
②担当学芸員によるギャラリートーク
日時：11月26日(土)14:00～15:00／場所：展示室1・2・3／参加人数：18人
日時：12月24日(土)14:00～15:00／場所：展示室1・2・3／参加人数：15人
■担当学芸員　鈴木幸野、池田淳史

※所蔵表記のない作品は、すべて作家蔵である。

No.	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)	所蔵先
1	雷神－09	2009	木、灰、アクリル、ガラス	932×170×155 (2011年に高さを変更)	
2	森 IX	2008	木、灰、アクリル	各220×31×31(30点)	ベルナール・ビュフェ美術館
3	森 IX のためのドローイング	2008	鉛筆、紙	各17.5×13.0 (30点)	ベルナール・ビュフェ美術館
4	洞穴体V	2011	木、灰、アクリル	220×220×220	
5	洞穴体レリーフ	2010	木、灰、アクリル	49×73×12	
6	地霊Ⅲ－ａ	1991	木、灰、アクリル、鉄、ガラス	32×248×806(52点)	
7	天気輪 I	1985	木、アクリル、紙	36×36×12	
8	けもの道II	1989	ブロンズ	41×631×24	
9	湿地帯	1987	木、アクリル	92×240×23	
10	襞の塊Ⅵ	2018	木、灰、アクリル	60×60×62	
11	視線体ー積	2021	木、灰、アクリル	142×171×201	
12	「《彫る》から」4つのレリーフ	1982/1991	石膏、角鉄筋	各50×50×17㎝(4点)	
13	「《構成》から」レリーフ	1982	角材、石膏、角鉄筋	90×180×20	
14	器Ⅲ	1973	木	200×76×60	愛知県立芸術大学
15	竹藪 II (戸谷成雄氏所蔵コンタクトプリントの複写)	1975(現存せず)	竹藪、ビニール紐		
16	習作 My & Your(戸谷成雄氏所蔵コンタクトプリントの複写)	1975(現存せず)	木、辞書ほか	約10×240×45	
17	石斧(戸谷成雄氏所蔵コンタクトプリントの複写)	1975(現存せず)	石、木、ロープ		
18	POMPEII··79 Part1	1974/1987	コンクリート、板	15×60×60 各45×45×170 (4点)	
19	連句的II	1996	木、鉄、ガラス、土、チョークほか	サイズ可変	
19-1	露呈する《彫刻》Ⅳａ (〈連句的II〉インスタレーションの部分として)	1976/1991	鉛筆、スチレンボード	81×112	
19-2	露呈する《彫刻》Ⅳｂ (〈連句的II〉インスタレーションの部分として)	1976/1991	カッターナイフの切込線、スチレンボード	81×112	
19-3	露呈する《彫刻》Ⅳｃ (〈連句的II〉インスタレーションの部分として)	1976/1991	カッターナイフの切込線、針金、スチレンボード	81×112	
20	射影体	2004	木、灰、アクリル	197×310×67	
21	射影体	2004	アクリル、墨、紙、板	243×243	
22	森化II	2003	木、灰、アクリル	155×30×36、155×32×38	
23	《境界》からⅢ	1995-96	木、灰、アクリル、ガラス	220×225×450	
24	界面体Ⅲ	2001	木、灰、アクリル	46×70×70	
25	〈界面体Ⅲ〉のためのドローイング	2001	墨、紙	31×41	
26	森の象の窯の死	1989	木、灰、アクリル	230×560×62	東京都現代美術館
27	水根II スワ	2005	木、灰、アクリル	398×339×13	
28	双影体II	2001	木、灰、アクリル	84×73×850	愛知県美術館
29-1	連句的レリーフ 3	2012	木、灰、アクリル	21×50×17	
29-2	連句的レリーフ 4	2012	木、灰、アクリル	29×49×13	
29-3	連句的レリーフ 7	2012	木、灰、アクリル	39×32×5	
29-4	連句的レリーフ 10	2012	木、灰、アクリル	24×38×11	
30	視線体ー連	2021	木、灰、アクリル	サイズ可変	

企画展（展示室1・2・3）

発見された日本の風景

日本が近代化を図る激動の「明治」。西洋諸国の制度や価値観と向き合い、世界を強く意識する時代の波は、美術の世界にも押し寄せた。日本を訪れた外国人画家たちは、西洋とは異なる日本の文化や風俗に興味を抱いてその様子を描き、国内では水彩画が流行し、日本人画家たちも旅をして各地の風景や暮らしを描き留めたのである。本展は、コレクターの高野光正氏が海外で収集した200点を超える水彩画や油彩画によって、当時の国内外の画家たちが発見したかつての日本の姿を紹介するものであった。これらの中には、日本に水彩画を広めた3人のイギリス人画家アルフレッド・イースト、ジョン・ヴァーレー・ジュニア、アルフレッド・パーソンズをはじめ、現在の東御市祢津で生まれた丸山晩霞の描いた水彩画も含まれている。描かれた風景や風俗を通して、明治の日本を旅するような展示として企画された本展は、京都国立近代美術館、府中市美術館、愛媛県立美術館を巡回した。

■会期　令和5年2月11日（土）から4月9日（日）（50日間）
■会場　長野県立美術館（展示室1・2・3）
■主催等　［主催］長野県、長野県立美術館、京都国立近代美術館
［共催］長野県教育委員会
［後援］長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、（公財）八十二文化財団、（公財）ながの観光コンベンションビューロー、JR 東日本　長野支社、信濃毎日新聞社、NHK 長野放送局、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、FM 長野、INC 長野ケーブルテレビ
■観覧料　一般1,200（1,100）円、大学生及び75歳以上1,000（900）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※東山魁夷館及び長野県立美術館コレクション展との共通料金　一般 1,700円、大学生及び75歳以上 1,300円
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　6,206人（有料：4,113人　無料：2,093人）
■図録（主要目次）
西洋人に見出された明治期の日本（山梨絵美子）
図版（序章、第1章、第2章、第3章）
子守の子供イメージ 外から見るか、内から見るか（梶岡秀一）
中川八郎、その芸術とありよう（喜安嶺）
描かれた日光と五百城文哉（田中正史）
作家解説
作品目録
■イベント　①記念講演会「高野コレクションについて――その成り立ちと展開」／講師：田中正史（独立行政法人国立美術館本部国立アートリサーチセンター主任研究員、前当館学芸課長）／日時：2月11日（土）13:30～15:00 ／場所：レセプションルーム／参加人数：26人
②記念講演会「明治の風景を外へ見せる／外から見る ―画家別に整理してみる―」／講師：梶岡秀一（京都国立近代美術館主任研究員、本展企画者）／日時：3月12日（日）13:30～15:30 ／場所：レセプションルーム／参加人数：23人
③担当学芸員によるギャラリートーク
日時：2月25日（土）14:00～15:00 ／場所：展示室1・2・3 ／参加人数：16人
日時：3月21日（火・祝）14:00～15:00 ／場所：展示室1・2・3 ／参加人数：35人
■担当学芸員　木内真由美、古家満葉

2月25日　ギャラリートーク

3月21日　ギャラリートーク

※リストの番号は展覧会図録の図版番号に準拠している。所蔵はすべて個人蔵である。

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質
序章　明治洋画史を眺める				
1	田村宗立	蒙古襲来図		絹本着色
2	五姓田芳柳	かるた遊び		油彩／画布
3	山本芳翠	月下波上の船		鉛筆、墨／紙
4	川村清雄	黄海之戦	1897（明治30）年頃	油彩／画布
5	小山正太郎	秋景図		油彩／画布
6	黒田清輝	野辺	1894（明治27）年	油彩／画布
7	中川八郎	雪林帰牧	1897（明治30）年	木炭／紙
第1章　明治の日本を行く				
8	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	東京の芝の眺め	1891（明治24）年	水彩／紙
9	柳（高橋）源吉	芝増上寺	1887（明治20）年	油彩／画布
10	ヘレン・ハイド	新宿十二社の桜		水彩／紙
11	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	春の東京	1891（明治24）年	油彩／板
12	エラ・デュ・ケイン	東京の庭園		水彩／紙
13	大下藤次郎	東京の庭園	1902（明治35）年	水彩／紙
14	鹿子木孟郎	上野不忍池		水彩／紙
15	O・トレイシー	上野東照宮	1874（明治7）年	水彩／紙
18	五姓田義松	亀戸の藤浪		水彩／紙
19	磯部忠一	堀切菖蒲園	1905（明治38）年	水彩／紙
20	渡辺豊洲	東京の河口	1902（明治35）年	水彩／紙
23	渡辺豊洲	房州鴨川	1903（明治36）年	水彩／紙
24	トーマス・ホジソン・リデル	日光の杉並木		水彩／紙
25	丸山晩霞	日光の杉並木		水彩／紙
26	五百城文哉	日光の神橋		水彩／紙
27	田淵保	日光東照宮の石鳥居		水彩／紙
28	ロバート・ウィアー・アラン	日光東照宮表門	1907（明治40）年	水彩／紙
29	中川八郎	東照宮		水彩／紙
30	五百城文哉	日光東照宮の神庫		水彩／紙
31	小杉未醒	日光東照宮陽明門		水彩／紙
32	五百城文哉	日光東照宮の銅鳥居		水彩／紙
34	五百城文哉	日光東照宮陽明門	1898（明治31）年	油彩／画布
35	河久保正名	日光東照宮陽明門		水彩／紙
36	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	日光東照宮錆抜門	1890（明治23）年	水彩／紙
37	五百城文哉	日光山輪王寺の常行堂		油彩／画布
39	ハリー・ハンフリー・ムーア	日光の宿		油彩／板
40	アルフレッド・パーソンズ	雨の日		油彩／板
41	五百城文哉	日光の村		水彩／紙
42	五百城文哉	花嫁の行列		水彩／紙
43	アルフレッド・パーソンズ	日光中禅寺湖の宿		水彩／紙
44	G・ブロッケルバンク	湖畔の宿		水彩／紙
45	小澤一郎（チャールズ・A・ワーグマン）	中禅寺湖畔の宿	1900（明治33）年	油彩／画布
46	モンタギュー・スマイス	湖畔の宿		水彩／紙
47	モンタギュー・スマイス	湖畔		水彩／紙

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質
48	五姓田義松	北陸・東海道御巡幸記録画 善光寺山門		油彩／板
49	五姓田義松	北陸・東海道御巡幸記録画 天然瓦斯ヲ燈火ニ使用ノ図		油彩／画布
50	五姓田義松	北陸・東海道御巡幸記録画 越前敦賀港図		油彩／板
51	五姓田義松	北陸・東海道御巡幸記録画		油彩／板
52	五姓田義松	北陸・東海道御巡幸記録画 三島大社雨中之図		油彩／板
54	渡辺豊洲	木曽の本山宿	1903（明治36）年	水彩／紙
55	丸山晩霞	洗馬		水彩／紙
56	丸山晩霞	大日堂		水彩／紙
59	小山正太郎	露梨子村山逕の松濤	1908（明治41）年	水彩、鉛筆／紙
61	河合新蔵	青梅街道		水彩／紙
62	大下藤次郎	青梅の千ヶ瀬の庭園	1901（明治34）年	水彩／紙
63	吉田博	仙桃山の門		水彩／紙
65	大下藤次郎	小丹波		水彩／紙
66	吉田博	小丹波村		鉛筆／紙
67	大下藤次郎	相模の小倉	1900（明治33）年	水彩／紙
69	チャールズ・ワーグマン	神奈川		油彩／画布
70	チャールズ・クーパー＝キング	横浜、東海道への途上		水彩／紙
71	チャールズ・クーパー＝キング	横浜の金沢、丘からの眺望		水彩／紙
72	チャールズ・クーパー＝キング	横浜、宿営地に近い現地民の農村	1865（慶応元）年	水彩／紙
73	五姓田芳柳（2世）	横浜居留地		水彩／紙
74	中川八郎	泊船		水彩／紙
75	ハリー・ハンフリー・ムーア	横浜の宿屋の厨房		油彩／板
77	チャールズ・ワーグマン	七里ヶ浜		油彩／画布
79	エーリヒ・キプス	鎌倉大仏		油彩／画布
80	ロバート・チャールズ・ゴフ	江の島	1877（明治10）年	水彩／紙
81	フランク・ベレスフォード	大磯の岩崎家別邸の庭	1908（明治41）年	油彩／画布
82	三宅克己	小田原		水彩／紙
83	コンスタンス・フレデリカ・ゴードン＝カミング	箱根の大地獄（硫黄温泉）を望んで宮ノ下へ向かう		水彩／紙
84	コンスタンス・フレデリカ・ゴードン＝カミング	富士山と箱根湖	1879（明治12）年	水彩／紙
85	ウォルター・フェイン	地蔵と富士山	1874（明治7）年	水彩／紙
86	フランク・ベレスフォード	箱根	1908（明治41）年	油彩／板
87	アルフレッド・パーソンズ	雪中の仏像		油彩／画布
88	ジョルジュ・フェルディナン・ビゴー	伊豆修善寺の菊屋の厨房	1887（明治20）年	油彩／ボード
89	ジョルジュ・フェルディナン・ビゴー	伊豆の国	1887（明治20）年	水彩／紙
91	高橋勝蔵	伊豆下田	1903（明治36）年	水彩／紙
92	加藤英華	一新講		水彩／紙

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質
93	ロバート・ウィアー・アラン	富士山	1908(明治41)年	油彩／画布
94	ウィリアム・シンプソン	富士山	1889(明治22)年	水彩／紙
95	吉田ふじを	富士山	1903(明治36)年	水彩／紙
96	吉田博	富士山麓の五月幟		水彩／紙
97	五百城文哉	富士山麓を行く荷馬		水彩／紙
98	白滝幾之助	東海道の佐野	1905(明治38)年	水彩／紙
99	アルフレッド・パーソンズ	富士山		水彩／紙
100	アルフレッド・イースト	さよなら		水彩／紙
101	五百城文哉	富士山		水彩／紙
102	河合新蔵	富士山		水彩／紙
103	アルフレッド・イースト	朝霧に霞む富士山		水彩／紙
104	渡辺豊洲	田子の浦		水彩／紙
105	渡辺文三郎	東海道薩埵峠之図	1895(明治28)年	油彩／画布
106	チャールズ・ワーグマン	富士山と貴人の行軍	1871(明治4)年	油彩／画布
107	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	農村を抜けて美濃へ行く	1890(明治23)年	水彩／紙
108	中川八郎	紀州田辺	1907(明治40)年	水彩／紙
109	ロバート・チャールズ・ゴフ	石山から琵琶湖を望む	1877(明治10)年	水彩／紙
111	チャールズ・エドウィン・フリップ	石山寺		水彩／紙
112	チャールズ・エドウィン・フリップ	琵琶湖に近い村		水彩／紙
113	フランク・ディロン	京都郊外の茶屋		水彩／紙
114	ロバート・ウィアー・アラン	門前		水彩／紙
115	沼辺強太郎	神社の門		水彩／紙
116	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	祇園から山々を望む	1891(明治24)年	水彩／紙
117	フランク・ベレスフォード	京都の芸妓		油彩／画布
118	フランク・ベレスフォード	京都の茶屋		油彩／紙
119	ウォルター・ティンデル	ユダの木と清水寺		水彩／紙
120	沼辺強太郎	清水寺		水彩／紙
121	沼辺強太郎	清水寺		水彩／紙
122	沼辺強太郎	清水坂		水彩／紙
123	満谷国四郎	洛東の陶器販売所		水彩／紙
125	中川八郎	春日大社二之鳥居		水彩／紙
126	満谷国四郎	春日大社の巫女たち		水彩／紙
127	モンタギュー・スマイス	多宝塔		水彩／紙
128	渡辺豊洲	大阪の天保山		水彩／紙
129	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	宮島の千畳閣と五重塔	1890(明治23)年	水彩／紙
130	エラ・デュ・ケイン	宮島		水彩／紙
131	カール・ザルツマン	四国の飯野山(讃岐富士)	1879(明治12)年	油彩／画布
132	丸山晩霞	宇田の浜辺		水彩／紙
133	チャールズ・クーパー＝キング	長崎、牧島の湾岸への途上		水彩／紙
134	チャールズ・クーパー＝キング	長崎、鎮西大社の石鳥居		水彩／紙
135	チャールズ・ワーグマン	一口香の店		水彩／紙

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質
136	F・L・チャップマン	長崎	1892(明治25)年	水彩／紙
137	渡辺豊洲	山岳渓流図		水彩／紙
138	渡辺豊洲	川辺		水彩／紙
139	渡辺豊洲	海辺の夕		水彩／紙
140	加藤英華	海の眺め		水彩／紙
141	加藤英華	漁村の眺め		水彩／紙
142	安藤仲太郎	海辺の松林	1901(明治34)年	油彩／画布
143	吉田博	和田の綱渡し		水彩／紙
144	チャールズ・ワーグマン	街道		水彩／紙
145	チャールズ・ワーグマン	宿場町		水彩／紙
146	チャールズ・ワーグマン	土間		水彩／紙
147	チャールズ・ワーグマン	見物する人々		水彩／紙
148	アルフレッド・イースト	雨後の傘干し		水彩／紙
150	吉田博	門前町		水彩／紙
152	満谷国四郎	宿場町の五月幟		水彩／紙
153	満谷国四郎	鳥居前		水彩／紙
155	中川八郎	大八車と馬		水彩／紙
157	小澤一郎(チャールズ・A・ワーグマン)	雪降る宿場町	1904(明治37)年	水彩／紙
159	永地秀太	宿場町	1901(明治34)年	油彩／画布
161	河久保正名	風雨の大橋		水彩／紙
162	アーネスト・ワズワース・ロングフェロー	寺の門	1903(明治36)年	油彩／画布
163	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	寺の門	1890(明治23)年	油彩／板
164	永地秀太	神社の門	1897(明治30)年	油彩／画布
165	中川八郎	桜吹雪	1905(明治38)年	水彩／紙
166	中川八郎	境内の桜	1905(明治38)年	水彩／紙
167	中川八郎	雪の境内		水彩／紙
169	クレメント・パーマー	門前の茶屋		水彩／紙
170	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	茶屋	1891(明治24)年	油彩／板
第2章　人々の暮らしを見る				
171	山村柳祥	和装の西洋の女		絹本着色
172	中山年次	帯を結ぶ日本の女		絹本着色
173	小笠原豊涯	日傘をさす少年	1903(明治36)年	油彩／絹
174	チャールズ・ワーグマン	日傘をさす女	1876(明治9)年	水彩／紙
175	五姓田義松	舞妓		水彩／紙
176	メアリー・ローズ・ヒル・バートン	傘をさす母子		水彩／紙
177	満谷国四郎	傘をさす子守の少女		水彩／紙
178	本多錦吉郎	障子から覗く少女		水彩／紙
179	松井昇	花籠を持つ少女		水彩／紙
180	高橋勝蔵	少女像	1905(明治38)年	油彩／板
181	笠木治郎吉	提灯屋の店先		水彩／紙
182	河久保正名	提灯屋	1905(明治38)年	水彩／紙
183	五百城文哉	猿曳		水彩／紙
184	モーティマー・メンペス	雨		グワッシュ、水彩、鉛筆／紙
185	モーティマー・メンペス	芝居小屋		油彩、鉛筆／板

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質
186	モーティマー・メンペス	道成寺		油彩／画布
187	チャールズ・エドウィン・フリップ	戎座		水彩／紙
188	チャールズ・エドウィン・フリップ	夏の夕		鉛筆、水彩／紙
189	チャールズ・エドウィン・フリップ	赤地蔵尊		水彩／紙
190	ハリー・ハンフリー・ムーア	井戸への途上	1881(明治14)年	油彩／板
191	ハリー・ハンフリー・ムーア	子守の子どもたち		油彩／板
192	ハリー・ハンフリー・ムーア	子守の少年	1881(明治14)年	油彩／板
193	ハリー・ハンフリー・ムーア	雨中の子守の少女たち		油彩／板
194	ハリー・ハンフリー・ムーア	三味線の稽古	1881(明治14)年	油彩／板
195	ハリー・ハンフリー・ムーア	門前の芸能者		油彩／板
196	ハリー・ハンフリー・ムーア	裁縫をする女性	1881(明治14)年	油彩／板
197	ハリー・ハンフリー・ムーア	食事中の宿屋の番頭	1881(明治14)年	油彩／板
198	ハリー・ハンフリー・ムーア	駕籠舁	1881(明治14)年	油彩／板
199	ハリー・ハンフリー・ムーア	駕籠舁		油彩／板
200	ウィリアム・シンプソン	明けの明星	1874(明治7)年	水彩／紙
201	小林清親	厨ノ図		油彩／紙
203	五百城文哉	秋祭		水彩／紙
204	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	宮詣	1891(明治24)年	油彩／画布
205	安藤仲太郎	宮詣	1887(明治20)年	油彩／板
206	加藤英華	甘酒の棒手振		水彩／紙
207	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	商店	1891(明治24)年	油彩／板
208	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	海辺の街	1890(明治23)年	水彩／紙
209	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	風景	1891(明治24)年	油彩／板
210	ウィンクワース・アラン・ゲイ	松の大樹	1880(明治13)年	油彩／板
212	笠木治郎吉	新聞配達人		水彩／紙
213	笠木治郎吉	狩人		水彩／紙
214	河久保正名	田植え		水彩／紙
215	本多錦吉郎	豊穣への道		油彩／画布
216	笠木治郎吉	帰途の母子	1912(明治45)年	水彩／紙
217	笠木治郎吉	収穫		水彩／紙
218	笠木治郎吉	農家の少女たち		水彩／紙
220	五姓田芳柳(2世)	入浴の女たち		水彩／紙
221	五姓田芳柳(2世)	川辺の洗濯場		水彩／紙
222	五百城文哉	農家の縁側の行商人		水彩／紙
223	ジョン・ヴァーレー・ジュニア	子守の少女たち	1890(明治23)年	水彩／紙
224	ウォルター・ティンデル	子守の少女		水彩／紙
225	渡辺豊洲	子守の少女	1906(明治39)年	水彩／紙
226	渡辺豊洲	農家の庭	1904(明治37)年	水彩／紙
227	満谷国四郎	農家の庭		水彩／紙
230	吉田博	霧の田園		水彩／紙

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質
231	吉田博	雨後の道	1903(明治36)年	水彩／紙
232	吉田博	月下の水車小屋		水彩／紙
233	吉田博	夜の灯		水彩／紙
234	吉田博	海の見える風景		水彩／紙
235	野崎華年	山道を帰る		水彩／紙
236	小山正太郎	村道		鉛筆／紙
237	鹿子木孟郎	断崖上の小径		水彩／紙
238	クレメント・パーマー	漁村	1901(明治34)年	水彩／紙
239	笠木治郎吉	牡蠣を採る少女		水彩／紙
240	笠木治郎吉	漁網を編む男性		水彩／紙
241	笠木治郎吉	漁家の休憩		水彩／紙
243	河合新蔵	漁船		水彩／紙
247	中川八郎	湖上の船	1912(明治45)年	油彩／画布
第3章　花に満たされる				
249	モーティマー・メンペス	柘榴の乙女		油彩／ボード
250	アルフレッド・エドワード・エムスリー	子守		水彩／紙
251	中山年次	花を持つ女		水彩／紙
252	笠木治郎吉	花を持つ少女		水彩／紙
253	ロバート・ウィアー・アラン	舟遊		水彩／紙
254	エラ・デュ・ケイン	庭園の喫茶		水彩／紙
256	ジェイムズ・グレイグ	藤花の庭		水彩／紙
257	メアリー・ローズ・ヒル・バートン	鐘楼と母子		水彩／紙
258	メアリー・ローズ・ヒル・バートン	茶屋		水彩／紙
259	加藤英華	湖畔の茶屋		水彩／紙
260	丸山晩霞	湖畔の茶屋		水彩／紙
261	吉田博	観桜の茶屋		水彩／紙
262	吉田博	観桜の茶屋		水彩／紙
265	渡辺豊洲	湖畔の桜	1905(明治38)年	水彩／紙
266	アルフレッド・イースト	海の見える春景		水彩／紙
267	前川千帆	農家の庭		水彩／紙
269	大下藤次郎	竹林の白百合	1902(明治35)年	水彩／紙
271	中川八郎	蓮池		水彩／紙
272	中川八郎	川辺の茶屋		水彩／紙
273	丸山晩霞	川辺の宿	1903(明治36)年	水彩／紙
274	丸山晩霞	川辺の宿		水彩／紙
275	丸山晩霞	川辺の宿		水彩／紙
276	吉田ふじを	池畔の花菖蒲	1909(明治42)年	水彩／紙
277	吉田ふじを	池畔の桃	1903(明治36)年	水彩／紙
278	加藤英華	菊の畑		水彩／紙
279	満谷国四郎	藤棚と茶屋		水彩／紙
281	河久保正名	庭園の散策		水彩／紙
282	丸山晩霞	花咲く庭園		水彩／紙
283	丸山晩霞	初夏の庭園	1904(明治37)年	水彩／紙
284	丸山晩霞	菊の花咲く道		水彩／紙
285	丸山晩霞	神苑	1906(明治39)年	水彩／紙
286	笠木治郎吉	菊の畑		水彩／紙

オープンギャラリー展示

公開制作 vol.2　佐藤朋子　狐・鶴・馬

公開制作は、アーティストが一定期間美術館に通い作品を制作する様子を公開し、完成した作品の展示を行う企画である。今年度は講義形式のパフォーマンス（レクチャーパフォーマンス）を主体に「語り」による芸術実践を行う佐藤朋子（1991–、長野市出身・神奈川県拠点）を招聘した。佐藤は約3か月半にわたる会期のあいだ美術館近隣に拠点をもち、別のプロジェクトのために不在とする期間を除いてほぼ毎日美術館に通った。

制作期間中、会場には過去の作品資料を紹介する「資料室」とアーティストが制作を行う「スタジオ」を設置。また、スタジオほか館内各所にて対話を主としたイベントを複数回実施し、アーティストと来館者が相互に関わりながら制作を進める形式をとった。完成した作品は会期後半に上演イベントで発表したうえで、映像インスタレーションとして展示も行った。これにより、上演日時が限られるパフォーマンス形式の作品をより多くの来館者が鑑賞することができた。さらに、関連イベントとしてアーティストが取り組むプロジェクトにまつわるワークショップを開催し、来館者が佐藤の作品や活動について、広く深く知ることのできる機会となることを目指した。

■会期　令和4年5月28日（土）から9月11日（日）（93日間）
制作期間：5月28日（土）から8月16日（火）
展示期間：8月18日（木）から9月11日（日）
■会場　長野県立美術館（オープンギャラリー）
■主催　長野県、長野県立美術館
■観覧料　無料
■入館者数　13,974人
■記録集（主要目次）
・インスタレーションビュー（記録写真）
・制作ノート
・関連イベント1〜3
・レクチャーパフォーマンス（記録写真）
・上演台本
■イベント　①オープントーク／ファシリテーター：馬場智一、出演：佐藤朋子
日時：7月2日（土）10:00〜11:30／場所：オープンギャラリー／参加人数：10人
日時：7月18日（月・祝）10:00〜11:30／場所：オープンギャラリー／参加人数：7人
日時：7月30日（土）10:00〜11:30／場所：レセプションルーム／参加人数：8人
日時：8月21日（日）10:00〜12:00／場所：交流スペース／参加人数：12人
②アーティストトーク「なぜ今、語り・物語・歌なのか」／講師：姜信子、佐藤朋子／日時：7月31日（日）14:00〜15:30／場所：交流スペース／参加人数：20人
③レクチャーパフォーマンス試演会／出演：佐藤朋子／日時：8月3日（水）17:00〜18:30／場所：橋倉家住宅（松本市旭2-10-1）／参加人数：12人／開催協力：信州大学人文学部芸術・哲学論コース、松本市
④レクチャーパフォーマンス上演／出演：佐藤朋子／日時：8月14日（日）11:00〜12:00、15:00〜16:00／場所：交流スペース／参加人数：11:00〜8人、15:00〜23人
⑤ワークショップ「よむ、とる、つなぐ」往復朗読ワークショップ｜ことばと声で遊ぼう！／講師：青柳菜摘、佐藤朋子／日時：12月3日（土）10:00〜15:00／場所：レセプションルーム／参加人数：9人／企画開発：東京藝術大学大学院映像研究科 RAM Association、開催協力：コ本や honkbooks
■担当学芸員　茂原奈保子、山下樹里

制作期間

レクチャーパフォーマンス上演作品

作品名	制作年	サイズ	クレジット
Song of the Fox, August 2022 Version	2022	約40分	構成・演出・出演：佐藤朋子 歌詞協力：磯崎未菜 レコード制作：山形一生

展示期間：展示作品

作品名	制作年	素材	クレジット
Song of the Fox, August 2022 Version	2022	映像（シングルチャンネル、38分）、LP	構成・演出・出演：佐藤朋子 歌詞協力：磯崎未菜 レコード制作：山形一生 撮影：川田淳、飯岡幸子 録音：小宮知久 編集：青柳菜摘 制作：中島百合絵 映像ディレクション：和田信太郎 映像協力：コ本や honkbooks（thoasa Inc.） 協力：永田風薫、東京藝術大学大学院映像研究科、RAM Association

展示期間（撮影：蓮沼昌宏）

7月18日　オープントーク

7月31日　アーティストトーク

8月3日　レクチャーパフォーマンス試演会

8月14日　レクチャーパフォーマンス上演（撮影：蓮沼昌宏）

12月3日　ワークショップ（撮影：蓮沼昌宏）

オープンギャラリー展示

NAMアーカイブ&リサーチ2022
信州の生活と版画―上野誠が見つめた戦後

NAMアーカイブ&リサーチは、県内で行われた芸術活動や所縁ある作家を紹介するものとして、今年度より不定期に開催する企画である。第一回となる本年は、「信州の生活と版画―上野誠が見つめた戦後」と題して、長野県内で戦前から戦後にかけて繰り広げられた、版画によって自身の生活をとりまくものを彫り出そうとする活動の概略を辿った。また、戦後の生活版画において主導的役割を果たした川中島出身の版画家・上野誠が見つめた戦後の様相を小特集として紹介し、展示の様子とともに記録集に作品画像・年譜などを掲載した。

■会期　令和4年10月27日(木)から令和5年2月14日(火)(90日間)
※会期中、作品保護のため上野誠作品のみ展示替えを行った。
Ⅰ期：10月27日(木)～11月23日(水・祝)／Ⅱ期：11月25日(金)
～12月27日(火)／Ⅲ期：1月5日(木)～2月14日(火)
■会場　長野県立美術館(オープンギャラリー)
■主催　長野県、長野県立美術館
■観覧料　無料
■入館者数　9,174人
■記録集(主要目次)
Ⅰ．創作版画誌からのぞく生活
Ⅱ．戦後の生活と版画教育
Ⅲ．上野誠が見つめた戦後
作品図版
上野誠年譜
■担当学芸員　古家満葉

※所蔵表記のない作品・資料は、すべて個人蔵である。

No.	作家名・作品名	制作年・素材	所蔵先
Ⅰ-1	平塚運一「題字」(『櫟』第2輯)	1934(昭和9)年 木版墨摺	
Ⅰ-2	Ⅰ－2 山口進《岩、焼く小屋》(『櫟』第3輯)	1934(昭和9)年7月 木版墨摺	
Ⅰ-3	小林朝治《高井橋》(『櫟』第4輯)	1934(昭和9)年11月 木版墨摺	
Ⅰ-4	熊谷元一《賀状》(『櫟』第5輯)	1935(昭和10)年10月木版墨摺	
Ⅰ-5	井原滝《収穫》(『櫟』第8輯)	1935(昭和10)年12月 木版墨摺	
Ⅰ-6	『合歓』発行：更級郡塩崎小学校合歓会	1935(昭和10)年1月	
Ⅰ-7	『槐』発行：更級郡塩崎小学校高等科二学年男子	1935(昭和10)年2月	
Ⅰ-8	小林朝治《布引牛》(『葵』4号)	1937(昭和12)年7月 木版墨摺	
Ⅰ-9	松澤寛《仁王門》(『樹氷』1号)	1938(昭和13)年 木版墨摺	
Ⅱ-1	武井武雄「双灯社と版画」(『諏訪』第10号)	1970(昭和45)年5月 発行：諏訪地方文化研究所	
Ⅱ-2	『オール諏訪』創刊号	1981(昭和56)年 発行：諏訪文化社	
Ⅱ-3	大田耕士『版画の教室―生活版画の手引き』	1952(昭和27)年 発行：青銅社	
Ⅱ-4	上野誠『生活版画』	1956(昭和31)年 発行：明治図書出版	
Ⅱ-5	岡谷市田中小学校五年共同製作「版画 諏訪湖」(指導：小林収／編集：増沢荘一郎)(『諏訪』第2号)	1962(昭和37)年3月	
Ⅱ-6	長地小学校五年生共同製作 広告「版画集 五兵衛ぜき物語」(『諏訪』第3号)	1962(昭和37)年9月	

No.	作家名・作品名	制作年・素材	所蔵先
II-7	『下諏訪小版画集』第1集	1958(昭和33)年3月 発行：下諏訪小図工研究室	
II-8	七二会小学校笹平分校児童による共同制作(田島隆指導)	1970年代後半～80年代前半 紙版墨摺	
II-9	田原幸三『版画の指導と観賞』	1952(昭和27)年 発行：長野県教材研究所	
II-10	田原幸三《憩い》(『櫟』第17輯)	1952(昭和27)年6月 木版墨摺	
II-11	『こまくさ』1号 発行：信州大学教育学部工作研究室	1951(昭和26)年3月	
II-12	『つくし』発行者不詳(田原指導女性サークル)	制作年不詳	
II-13-1	石川泰男《序》『山椒』1号	1954(昭和29)年3月石川泰男・信州大学図工科	
II-13-2	吉沢正明《宮下君》『山椒』1号	1954(昭和29)年3月石川泰男・信州大学図工科	
II-14-1	島田美成《働く人々Ⅲ》『山椒』2号	1955(昭和 30)年 3 月 石川泰男・信州大学図工科	
II-15-1	石川泰男《アトリエ日記》『山椒』3号	1956(昭和 31)年 3 月 石川泰男・信州大学図工科	
II-16-1	綿田孝(木島平中)《長靴のボス》『たかやしろ』3号	1956(昭和 31)年 3 月 下高井美術教育研究会	
II-17-1	田中統二(平野小6年)《風景》『下高井版画集』小学2	1954(昭和 29)年3月 下高井美術教育研究会	
II-17-2	畔上雅子(夜間瀬南小5年)《雪なげ》『下高井版画集』小学2	1954(昭和 29)年3月 下高井美術教育研究会	
II-17-3	黒岩忠治(高丘小6年)《ストーブ》『下高井版画集』小学2	1954(昭和 29)年3月 下高井美術教育研究会	
II-17-4	「編集後記」『下高井版画集』小学2	1954(昭和 29)年3月 下高井美術教育研究会	
II-18-1	佐藤卓(飯山市木島中3年)《人物》『下高井版画集』中学3	1955(昭和 30)年3月 下高井美術教育研究会	
II-18-2	山田晃・外一(西部中 1 年)《カレンダー(部分)》『下高井版画集』中学3	1955(昭和 30)年3月 下高井美術教育研究会	
II-18-3	渡辺昌登(東部中2年)《雪国の子》『下高井版画集』中学3	1955(昭和 30)年3月 下高井美術教育研究会	
II-18-4	関功(中野中3年)《バラ》『下高井版画集』中学3	1955(昭和 30)年3月 下高井美術教育研究会	
II-18-5	田中延雄(平野中1年)《物語》『下高井版画集』中学3	1955(昭和 30)年3月 下高井美術教育研究会	
II-18-6	佐藤好幸(野沢温泉中2年)《風景》『下高井版画集』中学3	1955(昭和 30)年3月 下高井美術教育研究会	
II-18-7	月岡奇一郎(山之内南中2年)《ホップつみ》『下高井版画集』中学3	1955(昭和 30)年3月 下高井美術教育研究会	
Ⅲ-1	上野誠《賀状》(『櫟』第9輯)	1936(昭和11)年4月 木版墨摺	
Ⅲ-2	上野誠《病床》(『櫟』第10輯)	1936(昭和11)年7月 木版墨摺	
Ⅲ-3	上野誠《耕作》(『櫟』第11輯)	1936(昭和11)年9月 木版墨摺	
Ⅲ-4	上野誠《賀状(『櫟』第12輯)	1935(昭和10)年10月 木版墨摺	
Ⅲ-5	上野誠《老婆》(『櫟』第13輯)	1938(昭和13)年 木版墨摺	
Ⅲ-6	上野誠《子供》(『櫟』第18輯)	1952(昭和27)年11月 木版墨摺	
Ⅲ-7	上野誠《収穫》(『櫟』第19輯)	1953(昭和28)年1月 木版墨摺	
Ⅲ-8	上野誠《憩い》(『櫟』第23輯)	1954(昭和29)年11月 木版墨摺	
Ⅲ-9	上野誠《掌上のはばたき》	1964(昭和39)年 木版墨摺	ひとミュージアム 上野誠版画館　前期
Ⅲ-10	上野誠《平和の誓い》	1968(昭和43)年 木版墨二色摺	ひとミュージアム 上野誠版画館　中期
Ⅲ-11	上野誠《生き残る》	1964(昭和39)年 木版墨二色摺	ひとミュージアム 上野誠版画館　後期
Ⅲ-12	上野誠《軍神》	1964(昭和39)年 木版墨摺	ひとミュージアム 上野誠版画館　前期
Ⅲ-13	上野誠《働く炭焼き“ぽい”》	1970(昭和45)年 木版墨二色摺	ひとミュージアム 上野誠版画館　中期
Ⅲ-14	上野誠《火焔地蔵》	1972(昭和47)年 木版墨二色摺	ひとミュージアム 上野誠版画館　後期
Ⅲ-15	上野誠《原子野 B》	1968(昭和43)年 木版墨二色摺	ひとミュージアム 上野誠版画館　前期
Ⅲ-16	上野誠《原子野 C》	1969(昭和44)年 木版墨二色摺	ひとミュージアム 上野誠版画館　中期
Ⅲ-17	上野誠《原子野 D》	1970(昭和45)年 木版墨二色摺	ひとミュージアム 上野誠版画館　後期
Ⅲ-18	上野誠〈原爆の長崎〉掌版シリーズより　《時計》	1962(昭和37)年 木版墨摺	
Ⅲ-19	上野誠〈原爆の長崎〉掌版シリーズより　《出発》	1962(昭和37)年 木版墨摺	
Ⅲ-20	上野誠〈原爆の長崎〉掌版シリーズより　《長崎モニュマン》	1962(昭和37)年 木版墨摺	
Ⅲ-21	上野誠〈原爆の長崎〉掌版シリーズより　《ABCC1》	1962(昭和37)年 木版墨摺	
Ⅲ-22	上野誠〈原爆の長崎〉掌版シリーズより　《夜空の子》	1962(昭和37)年 木版墨摺	
Ⅲ-23	上野誠〈原爆の長崎〉掌版シリーズより　《人間襤褸》	1962(昭和37)年 木版墨摺	
Ⅲ-24	上野誠〈原爆の長崎〉掌版シリーズより　《軍神》	1962(昭和37)年 木版墨摺	
Ⅲ-25	上野誠〈原爆の長崎〉掌版シリーズより　《防空壕2》	1962(昭和37)年 木版墨摺	
Ⅲ-26	『上野誠版画集』	1975(昭和50)年 発行：日本平和委員会	

アートラボ2022第Ⅰ期
西村陽平展　彫刻を見るとき、耳を澄ます

今年度の第Ⅰ期展覧会では、西村陽平を紹介した。

西村は、「見えていても、触らなければわからないもの」を主題とし、身近にあったものに、焼成という陶芸のプロセスを加えることで、形を変え、素材の違いを際立たせる作品を制作した。視覚ではわからなかった作品の温度や質感、素材の新しい肌触りを体験する機会を提供した。

※本展覧会は「アートラボ2021第Ⅱ期 西村陽平展　彫刻を見るとき、耳を澄ます」の会期を延長して開催したものである。

■会期　　※新型コロナウイルス感染拡大により、次のとおり会期を変更し開催した。
　　令和4年3月11日(金)から7月26日(火)(119日間)
■会場　　長野県立美術館(アートラボ)
■主催　　長野県、長野県立美術館
■観覧料　　無料
■入館者数　4,187人(4月1日から7月26日)
■担当学芸員　青山由貴枝

No.	作品名	制作年	素材	サイズ(㎜)
1	缶コーヒー	2021	アルミ缶、アルミ板	32.4×30.5×1.5
2	缶ビール	2021	アルミ缶、アルミ板	32.5×30.5×1.8
3	ペットボトル1	2021	ペットボトル、鉛	40.3×32.5×3.1
4	ペットボトル2(タカラ本みりん)	2021	ペットボトル、鉛	53.2×45.4×4.1
5	彫刻に耳を澄ます	2021	粘土、電球、ラジオ	83×43×43、 86×44×44(2点1組)
6	カップと石の関係―溶ける石	2021	石、カップ	39.8×32.5×17.9
7	カップと石の関係―叫ぶ石	2021	石、カップ	28.3×26.4×19.5

アートラボ2022第Ⅱ期
金箱淳一展　たゆたう音とあそぶ

今年度の第Ⅱ期展覧会では、金箱淳一を紹介した。

「楽器インターフェース」の研究者でもある金箱は、視覚や聴覚に障がいのある人もそうでない人も、一緒に遊ぶ／感じることができるよう、音や光を振動に変えて伝える「共遊楽器」の開発をおこなっている。聴覚だけでなく、それ以外のさまざまな感覚を使った鑑賞を来場者へ提供した。

■会期　令和4年7月30日（土）から10月25日（火）（77日間）
■会場　長野県立美術館（アートラボ）
■主催　長野県、長野県立美術館
■観覧料　無料
■入館者数　5,457人
■担当学芸員　青山由貴枝

作家名	作品名	制作年	素材	サイズ（㎜）
金箱淳一 ＋ 原田智弘	音鈴―信濃	2021	基板、マイコン、センサ、振動スピーカー、LED	3000×4000×4000

アートラボ2022第Ⅲ期
荒木優光　ダンスしないか？

今年度の第Ⅲ期展覧会では、荒木優光を紹介した。「聴くこと」を軸に音にまつわる作品を制作する荒木は、長野県内でのリサーチを通じて人や物の関係が循環する様子を描いたインスタレーション作品を発表した。視覚でとらえる情報と聴覚でとらえる情報とが相互に補完し合う構造をとっており、鑑賞者が両感覚を行き来しながら作品を観ることで、より深い鑑賞体験となることを目指した。

■会期　令和4年11月3日（木・祝）から令和5年1月29日（日）（70日間）
■会場　長野県立美術館（アートラボ）
■主催　長野県、長野県立美術館
■観覧料　無料
■入館者数　4,306人
■記録集（主要目次）
インスタレーションビュー（記録写真）
テキスト「ダンス（ただ共にいる）しないか？？」（荒木優光）
レビュー「「きこえ」の作用」（茂原奈保子）
イベント報告
■イベント　荒木優光対話集 オープン・ザ・ドア｜公開収録 & 配信 in 長野「馬上の空論」／ホスト：荒木優光、ゲスト：加納俊輔、小林耕平、茂原奈保子／日時：1月8日（日）12:30〜16:30 ／場所：交流スペース、オンライン同時配信／参加人数：実地37人、オンライン15人
■担当学芸員　茂原奈保子

作品名	制作年	素材	サイズ	クレジット
Song Cycles #1　ダンスしないか？	2022	ミクストメディア	27分	声：濱野萌々子、竹岡大志 ピアノ：八島碧 機構制御・プログラミング：脇原大輔 コンストラクション：青木一将（ミラクルファクトリー）

展示風景（撮影：平林岳志）

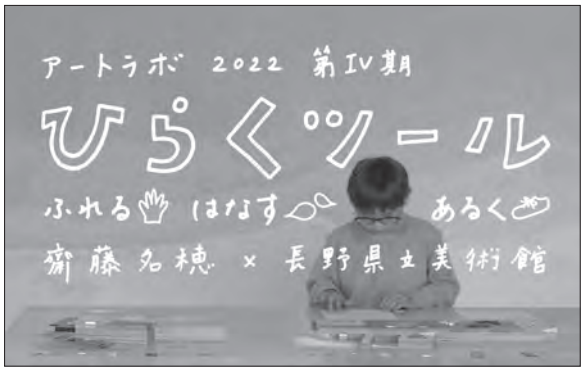
イベント風景

アートラボ2022第Ⅳ期 ひらくツール ふれる はなす あるく
齋藤名穂×長野県立美術館

今年度の第Ⅳ期展覧会では、2021年のリニューアルの際に制作された「ひらくツール」と、そのデザインを担当したデザイナー齋藤名穂を紹介した。

「障がいのある方とない方が一緒に鑑賞するため」のデザインを研究・制作している齋藤は、「ふれる小さな長野県立美術館」や「たてものキューブ」、「ふれるアートカード」など、視覚以外のさまざまな感覚をつかって、楽しむためのツールを開発。触れて、見て、感じて、自分の感覚を再発見し、だれかと共有する鑑賞の楽しさを来場者へ提供した。

■会期　令和5年2月4日(土)から5月9日(火)(83日間)
■会場　長野県立美術館(アートラボ)
■主催　長野県、長野県立美術館
■観覧料　無料
■入館者数　2,987人(2月4日から5月9日まで)
■記録集(主要目次)
ひらくツール紹介(つかいかた、画像、制作者コラム)
図面等資料
テキスト「ふれる／はなす／あるく／つくる」(齋藤名穂)、
「見る／見えるってなんだろう？」(青山由貴枝)
美術館紹介
■担当学芸員　青山由貴枝



No.	ツール名	制作年	素材	サイズ(mm)
1	ふれる小さな長野県立美術館(交流スペース前に常設)	2021	ミクストメディア	900×3000×780
2	ふれるアートカード	2021	ミクストメディア	200×200×12
3	ふれるコレクション	2021	紙、UV 印刷	297×210(閉じた状態)
4	たてものキューブ	2021	ミクストメディア	65×65×65

No.	作品名	制作年	デザイン／編集者	素材
5	ふれる はなす あるく	2023	齋藤名穂／大倉英揮	ヴィデオ(カラー、サウンド)

本館　コレクション展

NAMコレクション展　第Ⅰ期

今年度から名称を新たに「NAMコレクション展」として、信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成されたコレクションから、1年をかけて、洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの作品を展示した。

第Ⅰ期は、藤島武二や金山平三、伊東深水ら画壇の大家による、春の信州を描いた風景画が一堂に会した。また信州に留まらず、5人の洋画家たちによるヨーロッパの風景画も展示し、コロナ禍で海外に行けない状況が続く中、来館者にささやかな旅行気分を提供した。

■会期　令和4年3月17日(木)から5月17日(火)(54日間)
■会場　長野県立美術館(コレクション展示室)
■観覧料　一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※(　)は20名以上の団体料金
■入館者数　19,950人(有料：15,659人　無料：4,291人)
■イベント　ギャラリートーク／4月16日(土)※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止
■担当学芸員　池田淳史

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
コレクション展示室1					
人物表現					
1	中村不折	西洋婦人像	1904(明治37)年頃	油彩・カンヴァス	80.4×53.9
2	河野通勢	自画像	1918(大正7)年	油彩・カンヴァス	34.5×26.0
3	荻原碌山	女	1910(明治43)年	ブロンズ	98.5×49.0×50.0
4	中原悌二郎	若きカフカス人	1919(大正8)年	ブロンズ	42.0×20.2×23.5
5	北村四海	凡てを委ねる	1919(大正8)年	大理石	89.2×97.0×44.0
6	林倭衛	或る詩人の肖像(辻潤氏像)	1932(昭和7)年	油彩・カンヴァス	90.5×65.5
特集展示：異国の風景					
7	林倭衛	エクス風景	1929(昭和4)年	油彩・カンヴァス	24.3×33.4
8	小山敬三	サン・フランソワ寺院内庭	1925(大正14)年	油彩・カンヴァス	77.5×99.0
9	浅井忠	グレー風景	1901(明治34)年	水彩・紙	24.1×33.4
10	小山周次	セエヌ河の洗濯船	1924(大正13)年	水彩・紙	27.9×39.1
11	不破章	リュクサンブール	1965(昭和40)年	水彩・紙	38.0×56.4
信州の春					
12	藤本東一良	伊那の春	1979(昭和54)年	油彩・カンヴァス	90.9×116.7
13	田村一男	春日城址春日	1984(昭和59)年	油彩・カンヴァス	89.4×145.5
14	藤島武二	春(杏花咲く村)	1935(昭和10)年	油彩・カンヴァス	33.3×45.7
15	辻永	安茂里の杏花	1951(昭和26)年	油彩・カンヴァス	50.0×65.5
16	金山平三	杏の里(安茂里)	1956(昭和31)年頃	油彩・板	31.8×40.9
17	宮川仁	浅間の早春	1967(昭和42)年	油彩・カンヴァス	72.8×91.0
18	足立源一郎	春の穂高(徳本峠にて)	1973(昭和48)年	油彩・カンヴァス	65.2×80.3
19	不破章	信濃初夏(上田大久保)	1969(昭和44)年	水彩・紙	49.0×65.2
コレクション展示室2					
信州の日本画家たち					
20	臼井剛夫	春秋行楽図	不詳	紙本・彩色、屏風(六曲一双)	各175.5×379.2
21	菊池契月	春寒	1914(大正3)年	絹本・彩色、軸装	140.0×70.0
22	児玉果亭	春花図	1881(明治14)年	紙本・彩色、軸装	141.6×69.4
23	池上秀畝	牡丹に蝶	1919(大正8)年	紙本・彩色、軸装	170.0×46.5
24	菱田春草／横山大観	春曙・秋夜	1902(明治35)年頃	絹本・彩色、軸装(対幅)	各114.6×49.0
25	西郷孤月	桜と山鳩	不詳	絹本・彩色、軸装	99.5×40.5
26	倉島重友	春の牧場	2015(平成27)年	紙本・彩色、額装	116.7×90.9
27	中島千波	欲望	1970(昭和45)年	紙本・彩色、額装	220.0×170.0
28	中島千波	眠 '89―8	1989(平成元)年	紙本・彩色、額装	220.0×165.0
NAM の工芸					
29	松井康成	練上華文大壺	1988(昭和63)年	陶器	高32.6　径36.4
30	松井康成	練上玻璃光大壺	2000(平成12)年	陶器	高39.4　径39.6
31	松井康成	萃瓷練上陶筥	1993(平成5)年	陶器	高14.6　径31.6
32	小山保家	木版染着物・流れ	1977(昭和52)年	木版染・絹	丈169.0　裄64.0
33	宮入法廣	太刀	2012(平成24)年	刀	刀長72.0
34	宮坂房衛	古代の祈り・はにわうたう	1984(昭和59)年	彫金	47.0×33.0
35	武田成功	春薄氷	不詳	ガラス	38.5×36.5×15.0
信濃デッサン館コレクション					
36	村山槐多	尿する裸僧	1915(大正4)年	油彩・カンヴァス	80.3×60.6
37	村山槐多	おびんづる	1915(大正4)年	鉛筆・紙	23.0×14.3
38	村山槐多	浅間風景	1915(大正4)年	鉛筆・紙	14.3×23.0
『信濃十景』					
39	伊東深水	軽井沢の早春(『信濃十景』より)	1948(昭和23)年	木版・紙	25.4×36.3
40	伊東深水	小諸の暮春(『信濃十景』より)	1948(昭和23)年	木版・紙	25.3×36.2
特集展示：信州の写真家たち					
41	ハリー・K. シゲタ	動	1930(昭和5)年	モノクロームプリント	35.0×42.8
42	ハリー・K. シゲタ	凝視	1930(昭和5)年	モノクロームプリント	39.8×50.7
43	ハリー・K. シゲタ	時間 空間 形態	1940(昭和15)年	モノクロームプリント	49.7×38.4
44	ハリー・K. シゲタ	アブストラクト	1950(昭和25)年	モノクロームプリント	42.7×35.1
45	高木こずえ	split	2009(平成21)年	タイプＣプリント(9点1組)	各280.8×235.8
マルチアーティスト・池田満寿夫					
46	池田満寿夫	マリリンの半分	1968(昭和43)年	リトグラフ・紙	74.5×57.0
47	池田満寿夫	桜の女	1987(昭和62)年	アクリル・紙	41.0×31.9

本館　コレクション展

NAMコレクション展　第II期

菱田春草、荻原碌山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された、長野県立美術館(NAM)コレクション。NAMコレクション展では、1年をかけて、洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示している。

第II期は、春から夏への移り変わりに合わせて、緑に満ち溢れた信州の風景や、清涼感が漂う水景を描いた作品群が並んだ。また第I期に引き続き、洋画家たちによるヨーロッパの風景画を一部入れ替えて展示。異国の空気を感じられる構成とした。

加えて本年は、延期されていた善光寺御開帳が開催されることから、御開帳記念として、菱田春草や長谷川青澄による仏教をモティーフとした日本画の特集を行った。

■会期　令和4年5月19日(木)から7月19日(火)(54日間)
■会場　長野県立美術館(コレクション展示室)
■観覧料　一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※(　)は20名以上の団体料金
■入館者数　28,218人(有料：23,690人　無料：4,528人)
■イベント　ギャラリートーク／6月18日(土)14:00～14:30／参加人数：7人
■担当学芸員　松井正

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
コレクション展示室1					
人物表現					
1	中村不折	西洋婦人像	1904(明治37)年頃	油彩、カンヴァス	80.4×53.9
2	河野通勢	自画像	1918(大正7)年	油彩、カンヴァス	34.5×26.0
3	荻原碌山	女	1910(明治43)年	ブロンズ	98.5×49.0×50.0
4	中原悌二郎	若きカフカス人	1919(大正8)年	ブロンズ	42.0×18.5×20.0
5	北村四海	凡てを委ねる	1919(大正8)年	大理石	89.2×97.0×44.0
6	林倭衛	或る詩人の肖像(辻潤氏像)	1932(昭和7)年	油彩、カンヴァス	90.5×65.5
特集展示：異国の風景					
7	林倭衛	エクス風景	1929(昭和4)年	油彩、カンヴァス	24.3×33.4
8	小山敬三	サン・フランソワ寺院内庭	1925(大正14)年	油彩、カンヴァス	77.5×99.0
9	石井柏亭	ニュルンベルクにて	1912(明治45／大正元)年	水彩、紙	38.2×27.0
10	須山計一	ベルサイユ宮の庭	不詳	水彩、紙	31.4×41.3
11	不破章	アムステルダム、スキニ橋	1974(昭和49)年	水彩、紙	38.2×56.5
夏の人々					
12	臼井文平	夏の午後	1928(昭和3)年	油彩、カンヴァス	127.2×152.2
13	島崎鶏二	夏	1934(昭和9)年	油彩、カンヴァス	144.0×97.5
14	中村研一	緑の中	1959(昭和34)年	油彩、カンヴァス	100.0×80.3
緑溢れる信州					
15	河野通勢	裾花川の河柳	1915(大正4)年	油彩、カンヴァス	91.0×116.7
16	満谷国四郎	野尻湖	1919(大正8)年	油彩、カンヴァス	60.6×72.8
17	神津港人	夏景戸隠宝光社風景	1971(昭和46)年	油彩、カンヴァス	61.0×73.0
18	足立真一郎	初夏(栂池高原)	1978(昭和53)年	油彩、カンヴァス	111.5×146.0
19	不破章	松本平初夏	1966(昭和41)年	水彩、紙	38.0×57.0
コレクション展示室2					
水景を描く					
20	菊池契月	庭の池	1919(大正8)年	絹本彩色	各179.1×377.8
21	児玉果亭	雲山飛瀑	1900(明治33)年	絹本墨画	146.9×88.0
22	諏訪部直亭	万竿烟雨	1920(大正9)年	紙本墨画	241.2×89.2
御開帳記念展示：仏画のかたち					
23	長井雲坪	誕生仏	1897(明治30)年	紙本彩色	118.4×46.8
24	菱田春草	寂静	1910(明治43)年頃	絹本彩色	107.2×42.2
25	町田曲江	維摩居士	不詳	絹本彩色	174.0×70.0
26	町田曲江	迦膩色迦王	1960(昭和35)年	絹本彩色	119.0×92.0
27	長谷川青澄	阿弥陀堂	1989(平成元)年	紙本彩色	185.0×138.0
28	長谷川青澄	浄土変相	1992(平成4)年	紙本彩色	190.7×157.5
NAM の工芸					
29	松井康成	練上華文大壺	1988(昭和63)年	陶器	高：32.6、径：36.4
30	松井康成	練上玻璃光大壺	2000(平成12)年	陶器	高：39.4、径：39.6
31	松井康成	萃瓷練上陶筥	1993(平成5)年	陶器	高：14.6、径：31.6
32	熊谷好博子	友禅染訪問着・樹叢	1972(昭和47)年	江戸友禅	丈：170.5、裄：64.5
33	宮入法廣	太刀	2012(平成24)年	刀	刀長：72.0、反り：3.0
34	宮坂房衛	古代の祈り・はにわうたう	1984(昭和59)年	彫金	47.0×33.0
35	武田成功	夏山野	不詳	ガラス	30.0×13.2×28.2
信濃デッサン館コレクション					
36	村山槐多	信州風景(子守の少年)	1913(大正2)年	木炭・水彩、紙	48.0×60.0
37	村山槐多	信州風景	1917(大正6)年	墨、紙	99.0×63.5
38	関根正二	砂町風景	1916(大正5)年	インク、紙	28.0×37.0
39	野田英夫	信州風景	1937(昭和12)年	水彩・インク、紙	25.4×35.8
信州の現代作家					
40	草間彌生	No. PZ	1960(昭和35)年	油彩、カンヴァス	269.2×177.8
41	藤松博	人	1962(昭和37)年	油彩、カンヴァス	160.0×130.9
42	小山利枝子	種子の秘密	2003(平成15)	アクリル、カンヴァス	162.1×228.0
43	高木こずえ	hoshi01	2011(平成23)年	タイプＣプリント	84.5×84.3
44	高木こずえ	ho1	2011(平成23)年	タイプＣプリント	62.0×62.0
版画家・池田満寿夫					
45	池田満寿夫	海のスカート	1965(昭和40)年	ドライポイント・ルーレット、紙	36.5×33.8
46	池田満寿夫	夏・女・鳥	1990(平成2)年	リトグラフ、紙	66.0×51.2

本館　コレクション展

NAMコレクション展　第Ⅲ期

菱田春草、荻原碌山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された、長野県立美術館（NAM）コレクション。NAMコレクション展では、1年をかけて、洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示している。

第Ⅲ期は、夏から秋への移り変わりに合わせて、人々の秋の営みや美しい信州の秋景を描いた作品群が並んだ。また第Ⅱ期に引き続き、幅広い分野で活躍した池田満寿夫による版画作品と現代作家たちの仕事を紹介した。

加えて特集展示では、坂城町出身で人間国宝となった故・宮入行平の《太刀》をはじめ当館所蔵の刀剣3点など、長野県にゆかりの深い刀剣の特集を行った。

■会期　令和4年9月15日（木）から11月8日（火）（48日間）
■会場　長野県立美術館（コレクション展示室）
■観覧料　一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※（　）は20名以上の団体料金
■入館者数　17,035人（有料：13,231人　無料：3,804人）
■イベント　①ギャラリートーク／10月15日（土）14:00～14:30／参加人数：8人
②NAMコレクション展第Ⅲ期関連イベント「日本刀の美」第Ⅰ部スクリーニング＆トーク／日時：11月6日（日）13:30～16:00／参加人数：25人
③NAMコレクション展第Ⅲ期関連イベント「日本刀の美」第Ⅱ部ライブパフォーマンス／11月6日（日）16:10～16:25／参加人数：48人
■担当学芸員　松井正

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
コレクション展示室1					
	人物表現／人体表現				
1	川上冬崖	ナポレオン	不詳	水彩、紙	60.4×58.2
2	中村不折	裸婦立像	1903-04(明治36-37)年	油彩、カンヴァス	80.4×59.6
3	須山計一	労働者	1930(昭和5)年	油彩、カンヴァス	116.7×91.0
4	北村四海	イヴ	1915(大正4)年	大理石	41.0×33.4×29.3
5	石井鶴三	風 試作	1956(昭和31)年	ブロンズ	78.2×46.2×41.3
6	池田満寿夫	最初のビーナス	1986(昭和61)年	ブロンズ	26.5×15.7×12.5
	秋の人々				
7	河野通勢	三人の乞食	1916(大正5)年	油彩、カンヴァス	65.0×91.0
8	林倭衛	刈り入れ(未完)	1935(昭和10)年頃	油彩、カンヴァス	24.3×33.4
9	浦野吉人	案山子	1963(昭和38)年	油彩、カンヴァス	146.5×98.0
10	矢崎重信	『信濃の子供』原画 18 炭焼き	1942(昭和17)年	水彩、紙	28.5×38.5
11	矢崎重信	『信濃の子供』原画 19 川中島の麦蒔き	1942(昭和17)年	水彩、紙	28.5×38.5
12	矢崎重信	『信濃の子供』原画 20 柿もぎ	1943(昭和18)年	水彩、紙	38.5×28.5
13	矢崎重信	『信濃の子供』原画 21 白馬岳の稲扱き	1942(昭和17)年	水彩、紙	28.5×38.5
	NAM コレクションの秋景				
14	高田誠	湖畔秋色	1938(昭和13)年	油彩、カンヴァス	112.1×145.5
15	安井曾太郎	秋の霞沢岳	1938(昭和13)年	油彩、カンヴァス	53.7×69.0
16	小絲源太郎	山粧ふ	1956(昭和31)年	油彩、カンヴァス	85.0×99.5
17	梅原龍三郎	浅間山	1957(昭和32)年	油彩・グワッシュ、紙	72.2×90.9
18	小林和作	秋山(北アルプス山中)	1964(昭和39)年	油彩、カンヴァス	65.1×100.0
19	田村一男	初秋(霧ヶ峰高原七島八島)	1967(昭和42)年	油彩、カンヴァス	89.5×145.5
コレクション展示室2					
20	菱田春草	秋夜図	1903(明治36)年頃	絹本彩色	118.0×49.0
21	諏訪部直亭	四季山水図	1921(大正10)年	絹本彩色	各140.3×307.8
22	池上秀畝	深山鳴鹿図	不詳	絹本彩色	249.5×116.3
23	町田曲江	紅色叭哥鳥図	1934(昭和9)年	絹本彩色	85.3×71.0
24	西郷孤月	柿双禽	1910(明治43)年頃	絹本彩色	121.0×49.3
25	登内微笑	霜	1946(昭和21)年	絹本彩色	208.8×118.5
26	吉田博	穂高山	1926(大正15)年	木版、紙	25.0×37.5
27	伊藤孝之	明け行く岳川	1932(昭和7)年	木版、紙	36.2×23.8
28	川瀬巴水	信州松原湖	1941(昭和16)年	木版、紙	24.3×36.5
29	伊東深水	信濃十景 野尻湖畔の秋	1948(昭和23)年	木版、紙	25.5×36.2
30	笠松紫浪	たそがれ(信州穂波温泉)	1948(昭和23)年	木版、紙	36.4×24.2
	特集展示：日本刀とその描かれ方				
31	山浦真雄	短刀	1850(嘉永3)年	刀	刀長：25.0、反り：0.3
32	宮入行平	太刀	1970(昭和45)年	刀	刃長：75.8、反り：2.3
33	宮入法廣	太刀	2012(平成24)年	刀	刀長：72.0、反り：3.0
34	木村其樵	高良玉垂命図	不詳	絹本彩色	119.0×85.3
35	中村玲方	須佐之男命	1917(大正6)年	絹本彩色	184.5×85.0
36	川舩水棹	日蓮	1942(昭和17)年	紙本彩色	174.2×167.1
37	江崎孝坪	無題(源頼朝)	不詳	絹本著色	43.6×53.8
38	江崎孝坪	手向け	1946(昭和21)年	紙本彩色	225.0×160.5
	工芸にみる秋				
39	松井康成	練上嘯裂文大壺「枯野」	1979(昭和54)年	陶器	高：32.0、径：43.5
40	武田成功	秋燃え	不詳	ガラス	28.0×14.0×24.3
	池田満寿夫の版画				
41	池田満寿夫	私の詩人・私の猫	1965(昭和40)年	ドライポイント・ルーレット、紙	36.5×33.9
42	池田満寿夫	秋・夜・女	1990(平成2)年	リトグラフ、紙	66.2×50.7
	信州の現代作家たち				
43	中島千波	白虹	1972(昭和47)年	紙本彩色	175.0×220.0
44	毛利武彦	馬と人	1976(昭和51)年	岩絵具・膠彩・麻紙	145.5×111.6
45	倉島重友	讃	1992(平成4)年	紙本彩色	170.0×214.5
46	滝沢具幸	原	2012(平成24)年	紙本彩色	140.2×90.3

本館　コレクション展

NAMコレクション展　第Ⅳ期

菱田春草、荻原碌山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された、長野県立美術館（NAM）コレクション。NAMコレクション展では、1年をかけて、洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示している。

第Ⅳ期は、秋から冬への移り変わりに合わせて、人々の冬の営みや美しい信州の冬景を描いた作品群が並んだ。また第Ⅲ期に引き続き、幅広い分野で活躍した池田満寿夫による版画作品と現代作家たちの仕事を紹介。さらに特集展示では、女性をテーマに日本画、洋画、彫刻からNAMコレクションの優品を紹介した。

■会期　令和4年11月10日（木）から令和5年1月17日（火）（54日間）
■会場　長野県立美術館（コレクション展示室）
■観覧料　一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※（　）は20名以上の団体料金
■入館者数　11,553人（有料：9,001人　無料：2,552人）
■イベント　ギャラリートーク／12月17日（土）14:00～14:30／参加人数：6人
■担当学芸員　松井正

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
コレクション展示室1					
特集展示：人物表現／人体表現					
1	島霞谷	婦女図	1865-68年(慶応年間)頃	油彩、布	50.9×39.2
2	岡村政子	鼓の少女	1890(明治23)年	石版、紙	42.0×32.5
3	小森スイ	みいちゃん	1929(昭和4)年	油彩、カンヴァス	145.5×112.7
4	河野通勢	二人花魁	1935(昭和10)年	油彩、カンヴァス	91.0×72.8
5	北村四海	イヴ	1915(大正4)年	大理石	41.0×33.4×29.3
6	瀬戸團治	静立	1961(昭和36)年	ブロンズ	177.0×39.5×37.5
7	清水多嘉示	のぞみ	1968(昭和43)年	ブロンズ	116.5×49.8×61.0
冬の営み					
8	矢崎重信	『信濃の子供』原画2 諏訪神社	1943(昭和18)年	水彩、紙	28.5×38.5
9	矢崎重信	『信濃の子供』原画3 十四日祭	1943(昭和18)年	水彩、紙	28.5×38.5
10	矢崎重信	『信濃の子供』原画4 三九郎焼き	1943(昭和18)年	水彩、紙	38.5×28.5
11	矢崎重信	『信濃の子供』原画5 紙漉く村	1943(昭和18)年	水彩、紙	28.5×38.5
12	須山計一	遠山の湯立祭	1967(昭和42)年	油彩、カンヴァス	73.0×91.5
13	小寺健吉	ゲレンデ	1970(昭和45)年	油彩、カンヴァス	91.0×116.7
NAM コレクションの冬景					
14	倉田白羊	冬景色	1937(昭和12)年	油彩、カンヴァス	72.5×60.0
15	吉田博	乗鞍岳	1920(大正9)年	油彩、カンヴァス	45.2×60.4
16	金山平三	結氷	1931(昭和6)年	油彩、カンヴァス	60.8×91.0
17	藤本東一良	妙高	1968(昭和43)年	油彩、カンヴァス	114.5×147.5
18	桜庭彦治	戸隠雪景	1967(昭和42)年	油彩、カンヴァス	91.5×116.4
19	篠原昭登	御岳	1994(平成6)年	油彩、カンヴァス	91.0×72.8
コレクション展示室2					
特集展示：人物表現／人体表現					
20	菊池契月	立女	1924(大正13)年	絹本彩色	154.5×170.5
21	富岡永洗	雪月花美人図	不詳	絹本彩色	各129.5×56.8
22	白鳥映雪	浄粧	1948(昭和23)年	紙本彩色	141.5×119.2
23	後藤杏	古陶	1952(昭和27)年	紙本彩色	206.5×102.5
24	伊東深水	都鳥	1954年(昭和29年)	絹本彩色	80.0×86.0
25	中島千波	眠 '89-8	1989(平成元)年	紙本彩色	220.0×165.0
26	倉島重友	遠い音	1990(平成2)年	紙本彩色	170.0×214.5
NAM コレクションの冬景					
27	鈴木芙蓉	冬夏花鳥	1790(寛政2)年	絹本彩色	各155.5×349.5
28	西郷孤月	雪中御所車図	不詳	絹本彩色	各121.5×55.0
29	木村其樵	歳寒二雅群雀図	不詳	絹本彩色	152.5×56.8
30	菱田春草	月下群鷺	1901(明治34)年	絹本彩色	113.1×50.0
31	羽毛田陽吉	森の中	1984(昭和59)年	紙本彩色	175.0×215.2
32	林和緒	山麓の教会	1985(昭和60)年	紙本彩色	209.5×165.5
33	吉田博	白馬鎗岳	1929(昭和4)年	木版、紙	12.6×17.6
34	川瀬巴水	白馬の雪渓	1932(昭和7)年	木版、紙	36.1×24.1
35	伊藤孝之	白馬山頂より立山遠望	1932(昭和7)年	木版、紙	23.9×36.5
36	伊東深水	信濃十景 小諸路の暮雪	1948(昭和23)年	木版、紙	25.8×36.3
37	笠松紫浪	信州渋温泉	1948(昭和23)年	木版、紙	36.3×24.2
冬を想わせる工芸					
38	松井康成	練上嘯裂文壺「山形の冬」	1982(昭和57)年	陶器	高：28.5、径：27.0
39	松井康成	堆瓷文方壺「聴雪」	1984(昭和59)年	陶器	42.0×39.0×21.5
40	松井康成	練上玻璃光大壺「輪廻転生」	2000(平成12)年	陶器	高：37.6、径：40.6
41	筒井廣明	青白磁木理文輪花鉢	1986(昭和61)年	磁器	高：10.2、径：45.4
42	筒井廣明	青白磁木理文十稜鉢	2002(平成14)年	磁器	高：8.0、径：40.0
43	熊谷温	友禅染訪問着・静	1981(昭和56)年	江戸友禅	丈：173.0、裄：65.0
池田満寿夫の版画					
44	池田満寿夫	天使のいる風景	1965(昭和40)年	ドライポイント・エッチング・ルーレット、紙	36.5×34.3
45	池田満寿夫	愛の瞬間	1966(昭和41)年	ドライポイント・ルーレット・ビュラン、紙	45.8×40.5

本館　コレクション展

NAMコレクション展　第Ⅴ期
特集展示：信濃デッサン館コレクション

菱田春草、荻原碌山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された、長野県立美術館（NAM）コレクション。NAMコレクション展では、1年をかけて、洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示している。第Ⅴ期は「信濃デッサン館コレクション」の特集展示を行った。本コレクションは2018年から翌年にかけて、上田市の信濃デッサン館（現 KAITA EPITAPH 残照館）より新たに収蔵したもので、村山槐多、関根正二、野田英夫ら夭折画家の作品を中心とした、絵画、素描、彫刻390点から構成されている。本特集では企画展や定期イベント等信濃デッサン館の活動に関するアーカイブ資料とともに、コレクションから選りすぐりの約110点を紹介した。また、本特集に合わせてコレクション目録を作成し刊行した。

■会期　令和5年1月19日（木）から3月14日（火）（48日間）
■会場　長野県立美術館（コレクション展示室）
■観覧料　一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※本館・東山魁夷館共通
※（　）は20名以上の団体料金
■入館者数　8,199人（有料：6,498人　無料：1,701人）
■コレクション目録（主要目録）
信濃デッサン館コレクションの概要（霜田英子）
作品図版
交歓の場としての信濃デッサン館（古家満葉）
収蔵作家関連資料について（池田淳史）
資料図版
信濃デッサン館関連年譜
作品目録
収蔵作家略歴
■イベント　①ギャラリートーク／1月28日（土）※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止／2月18日（土）14:00～14:30／参加人数：25人
②記念対談／講師：原田光（前岩手県立美術館館長）、松本透（当館館長）／2月26日（日）／会場：レセプションルーム※都合により中止
③講演会／講師：窪島誠一郎（KAITA EPITAPH 残照館、戦没画学生慰霊美術館「無言館」館主）／3月11日（土）14:00～15:30／会場：ホール／参加人数：65人
■担当学芸員　池田淳史、古家満葉

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
第1章　信濃デッサン館の始まり					
1	関根正二	自画像	1916(大正5)年	インク、紙	27.0×21.4
2	関根正二	三人裸像	1915(大正4)年	インク、紙	28.0×22.0
3	関根正二	砂町風景	1916(大正5)年	インク、紙	28.0×37.0
4	松本竣介	ニコライ堂	1941(昭和16)年頃	鉛筆、木炭、紙	38.0×45.4
5	松本竣介	少女	1941(昭和16)年	墨、紙	16.0×12.0
6	松本竣介	婦人像	1942(昭和17)年頃	墨、紙	35.5×27.0
7	靉光	少年	1937(昭和12)年	鉛筆、紙	17.7×10.7
8	靉光	男の顔	1941(昭和16)年	インク、紙	20.7×17.3
9	戸張孤雁	女の面部	不明	ブロンズ	19.5×16.5×10.1
10	戸張孤雁	婦人	不明	木炭、水彩、紙	38.0×29.5
11	戸張孤雁	足芸	不明	鉛筆、紙	22.0×15.5
12	村山槐多	信州風景(子守の少年)	1913(大正2)年	木炭、水彩、紙	48.0×60.0
13	村山槐多	尿する裸僧	1915(大正4)年	油彩、カンヴァス	80.3×60.6
14	村山槐多	猫を抱ける裸婦	1916(大正5)年	木炭、紙	61.4×46.5
15	野田英夫	裸婦	1936(昭和11)年	鉛筆、紙	36.0×25.5
16	野田英夫	汽車のある風景	1937(昭和12)年	油彩、カンヴァス	44.5×37.8
17	野田英夫	野尻の花	1938(昭和13)年	油彩、ボード	33.0×24.0
18	広幡憲	コンポジション	1935(昭和10)年頃	水彩、紙	32.0×23.0
19	広幡憲	案内せざる案内人	1935(昭和10)年頃	墨、紙	20.0×18.0
20	広幡憲	風景のあるコンポジション	1935(昭和10)年頃	墨、紙	20.0×18.0
21	吉岡憲	笛吹き	1943(昭和18)年	油彩、カンヴァス	100.0×40.0
22	吉岡憲	裸婦	不明	油彩、カンヴァス	45.5×33.4
23	古茂田守介	少年	1955(昭和30)年	インク、紙	36.0×25.0
24	古茂田守介	裸婦	1957(昭和32)年	コロタイプ、紙	27.5×39.4
第2章　デッサンの世界					
25	関根正二	婦人の顔	1916(大正5)年	インク、紙	26.5×17.2
26	関根正二	女の立像	1916(大正5)年	インク、紙	17.3×9.2
27	関根正二	婦人像	1916(大正5)年	インク、紙	26.5×17.2
28	関根正二	顔と裸婦	1916(大正5)年	インク、紙	22.2×31.7
29	関根正二	樹と人	1916(大正5)年	墨、水彩、紙	130.0×35.0
30	靉光	鰐	1940(昭和15)年	鉛筆、紙	11.7×31.6
31	靉光	ライオン	1941(昭和16)年頃	鉛筆、紙	18.3×13.7
32	靉光	おこぜ	1941(昭和16)年頃	墨、紙	28.0×39.0
33	靉光	鳥	1942(昭和17)年	墨、紙	41.7×28.5
34	小熊秀雄	悩める男	1930(昭和5)年	インク、紙	22.0×15.0
35	小熊秀雄	人物	1936(昭和11)年	フェルトペン、紙	14.7×22.0
36	鶴岡政男	馬	1948(昭和23)年	墨、紙	27.0×38.8
37	鶴岡政男	涙	1968(昭和43)年	パステル、紙	24.2×26.7
38	山崎省三	古宇ホリカップ風景	不明	油彩、ボード	23.6×32.4
39	吉岡憲	母子像	1949(昭和24)年	油彩、カンヴァス	45.5×38.0
40	吉岡憲	花	1951(昭和26)年	油彩、カンヴァス	33.5×24.1
41	瑛九	五月のスフィンクス (詩画集『スフィンクス』より)	1954(昭和29)年	エッチング、紙	29.4×48.0
42	瑛九	無題	不明	鉛筆、紙	29.1×25.7
43	古茂田守介	カレイ	1958(昭和33)年	油彩、カンヴァス	24.2×33.3
44	古茂田守介	躍動	1956(昭和31)年	インク、墨、紙	27.2×20.0
45	広幡憲	無題	1935(昭和10)年頃	水彩、紙	27.2×24.1
46	広幡憲	かえる	1935(昭和10)年頃	鉛筆、紙	17.8×14.1
47	広幡憲	男の顔	不明	コンテ、紙	18.2×12.1
48	広幡憲	無題	不明	水彩、鉛筆、紙	21.1×15.0
49	広幡憲	気まぐれな絵	不明	墨、鉛筆、紙	19.6×13.2

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
50	広幡憲	コンポジション	不明	水彩、鉛筆、紙	15.0×20.8
51	広幡憲	演説する人	不明	水彩、紙	23.4×18.8
52	広幡憲	女	不明	墨、紙	24.3×17.7
53	広幡憲	風景	不明	水彩、鉛筆、紙	23.5×31.0
54	広幡憲	風景	不明	鉛筆、パステル、紙	24.3×18.0
55	山本豊市	裸婦	不明	木炭、パステル、紙	29.0×20.0
56	山本豊市	裸婦	1975(昭和50)年頃	ブロンズ	49.0×13.0×13.5
57	山本豊市	裸婦	1975(昭和50)年	乾漆	49.0×23.0×15.5
58	保田龍門	母子像	不明	インク、墨、紙	23.2×28.0
59	保田龍門	母子像	不明	ブロンズ	25.0×12.5×18.0
60	保田龍門	裸婦	不明	ブロンズ	19.5×12.0×3.5
61	戸張孤雁	男の胴	1910(明治43)年頃	ブロンズ	35.5×17.0×15.0
62	戸張孤雁	海女	1924(大正13)年	ブロンズ	35.5×11.5×15.0
63	戸張孤雁	曲芸	不明	鉛筆、紙	37.8×29.5
64	戸張孤雁	婦人	不明	鉛筆、水彩、紙	38.0×29.5
65	戸張孤雁	女	不明	鉛筆、紙	19.7×13.8
66	戸張孤雁	曲芸	不明	鉛筆、紙	22.0×15.0
67	戸張孤雁	女	不明	鉛筆、紙	20.1×14.0
68	戸張孤雁	女	不明	鉛筆、紙	20.1×14.0
69	戸張孤雁	曲芸	不明	鉛筆、紙	20.5×14.5
70	戸張孤雁	曲芸	不明	鉛筆、紙	20.2×15.0
71	戸張孤雁	曲芸	不明	鉛筆、紙	20.5×15.0
72	戸張孤雁	曲芸	不明	鉛筆、紙	22.0×15.0
73	戸張孤雁	女の顔	不明	鉛筆、紙	20.1×14.7
74	戸張孤雁	面	不明	鉛筆、紙	20.0×14.4
75	戸張孤雁	玉のり	不明	鉛筆、紙	29.1×25.1
76	戸張孤雁	裸婦	不明	鉛筆、紙	22.0×15.0
77	戸張孤雁	芸人	不明	鉛筆、紙	20.0×15.2
78	戸張孤雁	顔	不明	木炭、紙	20.3×14.9
79	中原悌二郎	若きカフカス人	1919(大正8)年	ブロンズ	42.0×20.2×23.5
80	井手則雄	裸婦	1948(昭和23)年	コンテ、紙	24.5×35.0
81	井手則雄	裸婦	不明	コンテ、紙	26.8×36.0
第3章　村山槐多―信州で開花した鬼才					
82	村山槐多	強盗	1911(明治44)年	水彩、鉛筆、紙	74.0×57.6
83	村山槐多	千曲川風景	1913(大正2)年	木炭、紙	45.3×60.4
84	村山槐多	稲生像	1913(大正2)年頃	水彩、紙	22.5×16.0
85	村山槐多	田端の崖	1914(大正3)年	水彩、紙	35.0×25.6
86	村山槐多	小杉未醒氏庭園にて	1914(大正3)年	水彩、紙	25.6×35.3
87	村山槐多	朱の風景	1914(大正3)年	水彩、紙	18.9×29.4
88	村山槐多	浅間風景	1915(大正4)年	鉛筆、紙	14.3×23.0
89	村山槐多	風景(山)	1915(大正4)年	鉛筆、色鉛筆、紙	14.3×23.0
90	村山槐多	民家	1915(大正4)年	鉛筆、紙	14.3×23.0
91	村山槐多	農夫	1915(大正4)年	鉛筆、紙	14.3×23.0
92	村山槐多	人物	1915(大正4)年	インク、紙	23.0×14.3
93	村山槐多	田舎わかいしゅ	1915(大正4)年	インク、紙	21.5×13.5
94	村山槐多	村のバクチ打ち	1915(大正4)年	インク、紙	16.5×13.5
95	村山槐多	裸婦	1917(大正6)年	木炭、紙	52.0×28.0
96	村山槐多	裸婦習作	1917(大正6)年	木炭、紙	62.5×48.0
97	村山槐多	信州風景	1917(大正6)年	墨、紙	99.0×63.5
98	石井鶴三	村山槐多デスマスク	1919(大正8)年	ブロンズ	27.5×21.0×13.0

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
第4章　ウッドストック、そして無言館へ					
99	野田英夫	初冬	1932(昭和7)年	油彩、カンヴァス	40.5×51.2
100	野田英夫	孝の顔	1927(昭和2)年頃	鉛筆、紙	24.0×20.4
101	野田英夫	手紙を書く女	1933(昭和8)年	インク、鉛筆、色鉛筆、紙	20.9×25.6
102	野田英夫	ウッドストックの森	1936(昭和11)年	鉛筆、紙	12.4×16.9
103	野田英夫	信州風景	1937(昭和12)年	水彩、インク、紙	25.4×35.8
104	国吉康雄	夜の巡回	1928(昭和3)年	リトグラフ、紙	21.8×27.3
105	国吉康雄	冬	1934(昭和9)年	リトグラフ、紙	25.5×35.5
106	野見山暁治	昔がたり	2010(平成22)年	油彩、カンヴァス	162.0×162.0

東山魁夷館　コレクション展

第Ⅰ期

「白い馬の見える風景」の代表作《緑響く》と《水辺の朝》、春の訪れを青と緑で美しく表現した《春兆》や《沼》、ドイツ・オーストリア旅行で心惹かれた《石の窓》などを中心に紹介した。

■会期　令和4年4月14日(木)から6月7日(火)(48日間)
■会場　東山魁夷館
■観覧料　一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※(　)は20名以上の団体料金
■入館者数　25,278人(有料：20,863人　無料：4,415人)
■イベント　ギャラリートーク／5月21日(土)※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止
■担当学芸員　上沢修

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
ドイツ・オーストリアの旅　スケッチ「窓」							
1	ステンドグラス	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	26.5×26.8	ドイツ　ヴィーンハウゼン
2	町角	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	24.0×35.0	ドイツ　ヴィムプヘン
3	青い窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	24.6×35.6	ドイツ
4	古いガラス絵	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	37.6×26.6	ドイツ　ツェレ
5	ホテル・太陽	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	44.6×31.6	ドイツ　ヴィムプヘン
6	鐘のある窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	27.5×38.0	ドイツ
7	リューデスハイムにて	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	26.0×40.5	ドイツ　リューデスハイム
8	バンベルクにて	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	31.6×44.5	ドイツ　バンベルク
9	聖堂の中	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	44.5×28.0	ドイツ　ディンケルスビュール
10	石の窓	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	31.0×44.3	ドイツ　ネルトリンゲン
11	石の窓	1971	63	本制作、東山魁夷新作展	紙本彩色	114.0×166.0	ドイツ　ネルトリンゲン
12	人形芝居の小屋	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	24.5×33.5	ドイツ
13	ローテンブルクの泉	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	31.6×44.0	ドイツ　ローテンブルク
14	酒場の看板	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	25.0×34.0	オーストリア
15	白馬亭	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	27.5×40.6	オーストリア　メルン
16	骨董屋	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	27.5×42.0	オーストリア
17	裏窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	41.6×27.6	オーストリア
18	ザルツブルクの看板	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	24.6×35.5	オーストリア　ザルツブルク
19	ミラベル宮廷園	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	24.5×35.5	オーストリア　ザルツブルク
20	牡丹図	1927	19	本制作	絹本彩色	82.5×113.8	東京都　新宿区　下落合
21	緑響く	1982	74	本制作、パリ「白い馬の見える風景」展	紙本彩色	84.0×116.0	茅野市　蓼科高原
22	水辺の朝	1972	64	本制作、第10回銀二会展	紙本彩色	33.2×46.2	ドイツ北部　オイティン

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
連作「京洛四季」							
23	春静	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	33.0×46.0	京都市　鷹ヶ峰
24	曙	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	33.0×46.0	京都市　比叡山
25	花明り	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	58.0×47.6	京都市　円山公園
26	行く春	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	33.0×37.5	京都市　祇王寺
27	春兆　小下図　A	1982	74	改組第14回日展のための準備作	紙本彩色	12.0×16.0	デンマーク　コペンハーゲン
28	春兆	1982	74	本制作、改組第14回日展	紙本彩色	130.0×180.0	デンマーク　コペンハーゲン
29	春兆　小下図　B	1982	74	改組第14回日展のための準備作	紙本彩色	25.2×34.9	デンマーク　コペンハーゲン
30	夏に入る	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	36.5×51.5	京都府　大山崎町
31	夕涼	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	36.0×58.0	京都市　修学院離宮西浜
32	青い峡	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	30.0×31.0	京都市　周山街道
33	年経る樹	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	36.0×50.9	京都市　青蓮院
34	池澄む	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	33.5×46.5	京都市　天竜寺
35	夏深む	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	36.0×51.0	京都市　勧修寺
36	月篁	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	36.2×51.2	京都市　嵯峨野
37	初紅葉	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	32.8×45.3	京都市　大徳寺高桐院
38	照紅葉	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	35.9×50.5	京都市　栂尾高山寺石水院
39	谿紅葉	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	31.0×44.0	京都市　岸生峠
40	秋寂び	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	33.0×46.0	京都市　光悦寺
41	北山初雪	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	41.5×58.0	京都市　周山街道
42	雪の後	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	38.0×55.5	京都市　中川付近
43	年暮る	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本彩色	38.4×55.0	京都市　京の町
44	沼	1993	85	本制作、改組第25回日展	麻布彩色	92.0×120.0	長野市　戸隠
東北・信州の旅							
45	雪国	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	27.1×35.8	
46	雪国の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	27.2×35.7	
47	横手にて	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	30.5×38.7	秋田県　横手
48	雪の山村	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	28.8×34.7	
49	寒風	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	27.5×36.5	
50	冬の海辺	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	26.7×35.7	
51	薄暮	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	18.5×23.5	
52	長野の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	27.5×37.0	長野市
53	雨の日	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	32.2×24.5	長野市
54	塩名田の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	27.0×36.5	佐久市
55	街道の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	26.0×38.5	長野県
56	小諸の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	27.5×37.0	小諸市
57	夏の日	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本彩色	26.0×37.2	長野県

東山魁夷館　コレクション展

第II期

魁夷畢生の大作「唐招提寺御影堂障壁画」の制作過程で生まれた《夕静寂》をはじめ、水墨表現に挑むなかで制作された《瀞江暮色》や《桂林月夜》、《黄山雨過》など、モノクロームの世界を描いた作品をメインに紹介した。

■会期　令和4年6月9日(木)から8月2日(火)(48日間)
■会場　東山魁夷館
■観覧料　6月9日(木)から7月19日(火)
一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
7月21日(木)から8月2日(火)
一般500(400)円、大学生及び75歳以上300(200)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※(　)は20名以上の団体料金
■入館者数　19,122人(有料：15,603人　無料：3,519人)
■イベント　ギャラリートーク／7月16日(土)14:00～14:30／参加人数：32人
■担当学芸員　松浦千栄子

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
第一期唐招提寺御影堂障壁画準備作							
1	雲湧く嶺	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作　山スケッチ	紙本彩色	46.0×68.8	
2	煙雨	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作　山スケッチ	紙本彩色	36.2×44.3	
3	瀧の音	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作　海スケッチ	紙本彩色	33.2×46.2	
4	緑峡	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作　山スケッチ	紙本彩色	33.0×46.3	
5	深い谿	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作　山スケッチ	紙本彩色	45.8×55.6	
6	霧深き谷	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作　海スケッチ	紙本彩色	36.1×51.0	
7	潮声	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作　海スケッチ	紙本彩色	31.0×51.2	
8	荒磯	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作　海スケッチ	紙本彩色	36.0×51.0	
9	浜に寄せる波	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作　海スケッチ	紙本彩色	31.8×43.6	
10	山雲　試作　1～4	1974	66	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	紙本彩色	①56.7×129.3 ②31.4×49.2 ③34.5×74.2 ④37.2×132.0	
11	濤声　試作　1～3	1974	66	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	紙本彩色	①37.2×132.0 ②33.8×133.5 ③33.8×133.0	
12	夕静寂	1974	66	本制作、改組第6回日展	紙本彩色	227.0×158.0	長野県－岐阜県　奥穂高
13	夕静寂　小下図	1974	66	改組第6回日展のための準備作	紙本彩色	43.0×30.0	長野県－岐阜県　奥穂高
14	夕静寂　スケッチ	1974	66	改組第6回日展のための準備作	紙本彩色	46.0×33.0	長野県－岐阜県　奥穂高
第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作							
15	桂林月夜	1976	68	本制作、改組第8回日展	紙本彩色	129.0×162.0	中国　桂林
16	黄山雨過	1978	70	本制作、改組第10回日展	紙本彩色	139.0×196.0	中国　黄山
17	黄山雨過　大下図	1978	70	改組第10回日展のための準備作	コンテ、紙	139.5×197.5	中国　黄山

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
18	山霊	1987	79	本制作、改組第19回日展	紙本彩色	124.4×184.0	長野県－岐阜県　安房峠
19	太湖の朝	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本墨画	26.0×37.2	中国　太湖
20	灘江の朝	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本墨画	25.0×35.2	中国　灘江
21	灘江暮色	1978	70	本制作、日本東山魁夷絵画展覧(中国・北京)	紙本彩色	177.5×363.0	中国　桂林
22	太湖帆影	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本墨画	21.0×31.0	中国　太湖
23	陽朔奇観	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本墨画	26.2×34.8	中国　桂林
24	灘江千里	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本墨画	27.7×38.0	中国　灘江
25	桂林山水	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」習作	紙本墨画	39.5×99.5	中国　桂林
26	山霧幽玄	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	紙本墨画	27.3×40.5	中国　黄山
27	蕪湖の古塔	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	紙本墨画	27.5×40.5	中国　黄山
28	奇峰松韻	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	紙本墨画	31.5×47.5	中国　黄山
29	黄山夕影	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	紙本墨画	26.1×41.5	中国　黄山
30	雲翔る	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	紙本墨画	37.0×48.5	中国　黄山
東山魁夷と日展　日展準備作　1951年《霧》							
31	霧　スケッチ　A、B	1951	43	第7回日展のための準備作	紙本彩色	A：29.5×21.5 B：28.8×21.0	山梨県　山中湖畔
32	霧　小下図　A、B、C	1951	43	第7回日展のための準備作	紙本彩色	A：18.2×12.8 B：18.4×11.7 C：18.0×12.8	山梨県　山中湖畔
33	霧　大下図　A	1951	43	第7回日展のための準備作	紙本彩色	175.0×123.0	山梨県　山中湖畔
34	霧　大下図　B	1951	43	第7回日展のための準備作	紙本彩色	181.0×118.0	山梨県　山中湖畔
35	落葉松　A、B、C	不詳		日展その他のための準備作スケッチ	紙本彩色	A：160.5×19.3 B：160.3×19.1 C：151.8×13.8	
36	草花手習帖　上	1938	30	画帖	紙本彩色	24.0×18.0	
37	草花手習帖　中	1938	30	画帖	紙本彩色	24.0×18.0	
38	草花手習帖　下	1938-39	30-31	画帖	紙本彩色	24.0×18.0	
ヨーロッパ風景　―ドイツ留学―							
39	ゲーテのガルテンハウス	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	33.5×43.2	ドイツ　ワイマール
40	ワイマールにて	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	39.4×33.6	ドイツワイマール
41	ベルリンの街	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	33.0×44.0	ドイツ　ベルリン
42	レーダー門	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	30.7×21.9	ドイツ　ローテンブルク
43	ゲオルクの泉	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	30.3×21.8	ドイツ　ローテンブルク
44	ジュネーヴにて	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	25.5×34.5	スイスジュネーヴ
45	キューザの町	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	17.9×23.4	イタリア　キューザ
46	草青む	1972	64	本制作、第4回無窮会展	紙本彩色	43.0×65.0	デンマーク　ヒレロード
47	ジュネーヴの街角	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	43.8×30.5	スイス　ジュネーヴ
48	モンマルトルにて	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	30.7×41.0	パリ　モンマルトル
49	モンブラン遠望	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	25.0×35.2	フランス　シャモニー
50	黎明 (南ドイツバイエルン地方)	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	47.0×33.5	ドイツ　バイエルン地方
51	夕影 (南ドイツバイエルン地方)	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本彩色	44.5×33.1	ドイツ南部

東山魁夷館　コレクション展

第Ⅲ期

人気シリーズ「白い馬の見える風景」の連作から《白馬の森》とその習作群をはじめ、飯山市の希望湖を描いた《静映》や《沼の静寂》、《緑の窓》など、緑萌える夏の爽やかな風景を描いた作品を展示した。

■会期　令和4年8月4日（木）から10月4日（火）（54日間）
■会場　東山魁夷館
■観覧料　8月4日（木）から9月13日（火）
一般500（400）円、大学生及び75歳以上300（200）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
9月15日（木）から10月4日（火）
一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※（　）は20名以上の団体料金
■入館者数　17,514人（有料：13,542人　無料：3,972人）
■イベント　ギャラリートーク／9月17日（土）14:00～14:30／参加人数：25人
■担当学芸員　松浦千栄子

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ（cm）	取材地
連作「古都を描く」							
1	窓明り	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	24.0×34.0	ドイツ　リューベック
2	霧の町	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	33.0×46.0	ドイツ　リューベック
3	朝の聖堂	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	46.4×32.5	ドイツ　リンブルク
4	ローテンブルクの門	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	44.5×31.4	ドイツ　ローテンブルク
5	晩鐘	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	38.0×55.0	ドイツ　フライブルク
6	夕べの聖堂	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	34.5×47.0	ドイツ　リンブルク
7	ツェレの家	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	33.4×41.5	ドイツ　ツェレ
8	ニュールンベルクの窓	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	33.0×46.0	ドイツ　ニュールンベルク
9	古都遠望	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	31.7×47.7	ドイツ　ヴィムプヘン
10	静かな町	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	44.0×36.3	ドイツ　ヴィムプヘン
11	狭い空	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	44.5×31.7	ドイツ　バンベルク
12	緑の窓	1983	75	本制作、東山魁夷「樹々は語る」展	紙本・彩色	73.0×92.0	ドイツ　ラムサウ
13	緑のハイデルベルク	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	33.5×46.5	ドイツ　ハイデルベルク
14	みづうみ	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	39.3×49.4	ドイツ　オーバー・ゼー

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
白い馬の見える風景							
15	早春の丘	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	24.0×33.5	山梨県　御坂町　河口湖町　御坂峠
16	水辺の朝	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	31.0×44.0	ドイツ北部　オイティーン
17	春を呼ぶ丘	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	33.0×46.0	北海道
18	草青む	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	22.5×33.5	デンマーク　ヒレレズ
19	夕明り	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	27.0×41.0	長野県　下諏訪町　八島湿原
20	湖澄む	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	24.5×36.5	ドイツ　オーバー・ゼー
21	緑響く	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	24.5×35.5	長野県　茅野市　蓼科高原
22	渚の白馬	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	25.5×36.5	石川県　千里浜海岸
23	白馬の森	1972	64	本制作、改組第4回日展	紙本・彩色	152.0×223.0	山梨県　富士山五合目のブナ原生林
24	森装う	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	31.0×44.0	長野県　長野市
25	芒野	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	25.0×36.0	ヨーロッパ
26	樹齢	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	31.0×43.5	山梨県
27	曠野	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	24.5×35.5	山梨県
28	荒寥	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	31.0×44.0	山梨県御坂　河口湖町　御坂峠
29	綿雲	1972	64	連作「白い馬の見える風景」習作	紙本・彩色	31.0×45.0	山梨県
日展準備作《道》							
30	道　スケッチ　A	1950	42	第6回日展のための準備作	紙本・彩色	34.0×26.5	青森県　種差海岸
31	道　スケッチ　B	1950	42	第6回日展のための準備作	紙本・彩色	36.3×26.5	青森県　種差海岸
32	道　大下図	1950	42	第6回日展のための準備作	紙本・彩色	146.5×105.0	青森県　種差海岸
33	道　スケッチ　C	1950	42	第6回日展のための準備作	紙本・彩色	38.6×26.7	青森県　種差海岸
34	道　スケッチ　D	1950	42	第6回日展のための準備作	紙本・彩色	46.2×39.3	青森県　種差海岸
35	道　スケッチ　E	1950	42	第6回日展のための準備作	紙本・彩色	47.0×39.2	青森県　種差海岸
36	道　小下図	1950	42	第6回日展のための準備作	紙本・彩色	36.4×27.8	青森県　種差海岸
37	泉	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	44.6×32.0	ドイツ　ローテンブルク
38	青きドナウ	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	33.1×46.2	オーストリア　メルク
39	静映	1982	74	本制作、長野県県民文化会館中ホール緞帳原画	紙本・彩色	42.7×85.7	長野県　飯山市　希望湖
40	赤い屋根	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	34.5×49.5	ドイツ　ローテンブルク
41	沼の静寂	1983	75	本制作、東山魁夷「樹々は語る」展	紙本・彩色	81.0×116.0	オーストリア　インスブルック
42	坂道の家	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	33.5×46.0	オーストリア　クレームス
43	森の幻想	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	31.0×44.0	オーストリア
若き日の東山魁夷							
44	自画像	1923	15	本制作	カンヴァス・油彩	33.0×23.0	
45	六甲山裏山にて	1923	15	スケッチ	紙本・水彩	43.0×61.0	兵庫県　神戸市
46	訪春(甲州にて)	不詳		スケッチ	紙本・水彩	27.7×36.0	山梨県
47	祭りの夜	1929	21	本制作	絹本・彩色	54.8×72.0	東京都　靖国神社
48	柿生の里	1928	20	本制作	絹本・彩色	36.5×56.5	神奈川県　川崎市　柿生
49	草花手習帖　上・中・下	1938-39	30-31		紙本・彩色	24.0×18.0	
コンコルド広場の椅子							
50 ｜ 64	コンコルド広場の椅子 3-14、16、18	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』原画	紙本・彩色	43.0×36.5	フランス　パリ

東山魁夷館　コレクション展

第Ⅳ期

初秋の志賀高原を描いた《山谿秋色》や落葉する楓を黄金色で鮮やかに描いた《行く秋》、秋色に染まる自然を象徴的に描いた《紅翳》、《秋思》などの秀作を紹介した。

■会期　令和4年10月6日(木)から12月6日(火)(54日間)
■会場　東山魁夷館
■観覧料　一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※(　)は20名以上の団体料金
■入館者数　17,854人(有料：13,999人　無料：3,855人)
■イベント　ギャラリートーク／11月19日(土)14:00～14:30／参加人数：8人
■担当学芸員　松浦千栄子

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
京洛四季							
1	京の民家	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	28.4×51.0	京都府　伏見
2	古道具屋	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	27.0×41.5	京都市　西陣
3	あぶり餅	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	33.0×39.0	京都市　今宮神社
4	桂の敷石	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	40.9×27.1	京都府　桂離宮
5	散り紅葉	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	31.0×44.5	京都府　光悦寺
6	桂離宮書院	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	31.9×46.0	京都府　桂離宮
7	三玄院露地	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	31.0×44.0	京都府　大徳寺
8	龍安寺塀	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	40.8×51.5	京都市　龍安寺
9	冬の庭	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	33.0×46.0	京都府　修学院離宮
10	山谿秋色	1932	24	本制作、第13回帝展	紙本・彩色	232.2×151.2	長野県　志賀高原
11	深雪	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	26.6×40.8	京都市　東山
12	修学院雪庭	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	31.5×44.9	京都府　修学院離宮
13	雪の石庭	1964-67	56-59	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	31.0×44.0	京都市　竜安寺
14	雪降る町	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	45.5×33.2	京都市　京の町
15	砂紋	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	27.0×41.0	京都市　大徳寺大仙院
16	行く秋習作	1990	82	改組第22回日展のための準備作	紙本・彩色	33.5×47.0	ドイツ北部
17	行く秋下図	1990	82	改組第22回日展のための準備作	紙本・鉛筆	114.0×162.0	ドイツ北部
18	行く秋	1990	82	本制作、改組第22回日展	紙本・彩色	114.0×162.0	ドイツ北部
日展準備作　秋翳							
19	秋翳　スケッチ　A	1957	49	第1回新日展のための準備作	紙本・鉛筆	47.3×78.6	群馬県新治村　法師温泉
20	秋翳　スケッチ　B	1957	49	第1回新日展のための準備作	紙本・彩色	77.0×109.5	群馬県新治村　法師温泉
21	秋翳　スケッチ　C	1957	49	第1回新日展のための準備作	紙本・鉛筆	63.4×79.9	群馬県新治村　法師温泉
22	秋翳　小下図　A	1957	49	第1回新日展のための準備作	紙本・彩色	48.0×54.0	群馬県新治村　法師温泉
23	秋翳　小下図　B	1957	49	第1回新日展のための準備作	紙本・彩色	41.7×44.0	群馬県新治村　法師温泉
24	秋翳　大下図	1957	49	第1回新日展のための準備作	紙本・彩色	93.7×168.0	群馬県新治村　法師温泉
25	紅葉の谷	1952	44	本制作、第3回六窓会展	紙本・彩色	57.5×51.5	
26	紅翳	1958	50	本制作、第6回青羊会展	紙本・彩色	63.3×87.3	群馬県伊香保町

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
27	深秋	1942	34	本制作	絹本・彩色	122.0×26.6	
28	波　卓布原画	1970	62		紙本・彩色	38.5×67.2	
29	日展画集表紙装画	1973	65		紙本・彩色	33.5×24.5	
30	舞鶴草小風呂敷原画	1975	67		紙本・彩色	48.0×46.0	
小特集　東山魁夷人物交流　東山魁夷×川端康成							
31	北山初雪	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	41.5×58.0	京都市　周山街道
32	アルバム京洛四季展 銀座松屋	1968	60	資料　アルバム			
33	『片腕』　川端康成	1965		書籍			
34	『たんぽぽ』　川端康成	1972		書籍			
35	『天授の子』　川端康成	1972		書籍			
36	『日本の美のこころ』 川端康成	1973		書籍			
37	『川端康成自選集』	1968		書籍			
38	『片腕』函装画	1965	57		紙本・彩色	38.5×67.2	
39	『たんぽぽ』箱装画	1972	64		紙本・彩色	25.0×34.5	
40	『天授の子』箱装画	1975	67		紙本・彩色	25.7×32.5	
41	京洛四季ポスター原画	1969	61		紙本・彩色	40.5×57.0	
42	「野草」カット	1977	69		紙本・インク	①21.2×21.6 ②23.8×11.2	
43	「大和春秋」カット	1985	77		紙本・彩色	①22.4×15.4 ②15.3×22.6 ③15.7×20.7	
44	秋思	1988	80	本制作、改組第20回日展	紙本・彩色	146.0×120.0	奈良県　天理市
45	草花手習帖	1938-39	30-31		紙本・彩色	24.0×18.0	
「天山遥か」第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作							
46	天山遥か	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作スケッチ	紙本・墨画	25.8×40.0	中国　西域
47	草原放牧	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作スケッチ	紙本・彩色	34.0×46.8	中国　西域
48	競馬場に向う人々	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作スケッチ	紙本・墨画	32.6×45.0	中国
49	男女の馬競べ	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作スケッチ	紙本・墨画	25.5×33.2	中国　西域
50	セリム湖畔	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作スケッチ	紙本・彩色	33.6×41.4	中国　西域
51	セリム湖月夜	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作スケッチ	紙本・墨画	24.5×36.6	中国　西域
52	パオの子供	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作スケッチ	紙本・墨画	37.7×47.8	中国　西域
53	カザフ族の少女達	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作スケッチ	紙本・彩色	32.5×31.0	中国　西域
54	ぶどう棚の下で	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作スケッチ	紙本・墨画	28.7×34.5	中国　西域
55	古城遠望	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作スケッチ	紙本・彩色	28.7×42.0	中国
56	家路	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作スケッチ	紙本・彩色	29.5×42.0	中国　西域
57	ホータン所見	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作スケッチ	紙本・墨画	36.5×46.5	中国　西域
58	砂漠を往く	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作スケッチ	紙本・墨画	31.0×43.0	中国　西域
59	夕映	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画準備作スケッチ	紙本・彩色	29.2×41.8	中国　西域

東山魁夷館　コレクション展

第Ⅴ期

「東山の青」を代表する《静唱》や絶作《夕星》をはじめ、紅葉する樹々を幻想的に表現した《夕紅》や《木枯らし舞う》など、東山晩年の心象風景を描いた力作を展示した。

■会期　令和4年12月8日(木)から令和5年2月7日(火)(48日間)
■会場　東山魁夷館
■観覧料　一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※(　)は20名以上の団体料金
■入館者数　7,021人(有料：5,526人　無料：1,495人)
■イベント　ギャラリートーク／1月21日(土)14:00～14:30／参加人数：31人
■担当学芸員　松浦千栄子

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
北欧風景　1962							
1	山かげの湖	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	26.0×36.5	ノルウェー
2	極北の湖	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	26.8×36.8	ノルウェー
3	ラプランドにて	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	26.8×37.8	スウェーデン　ラプランド
4	ウプサラ風景	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	22.8×36.8	スウェーデン　ウプサラ
5	白樺の丘	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	24.5×33.5	スウェーデン レトヴィック
6	白夜	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	36.5×49.0	スウェーデン ノルディングロー
7	海に入る滝	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	36.1×48.4	ノルウェー
8	ベルゲンの家	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	27.8×41.0	ノルウェー
9	波止場の家	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	29.4×41.9	ノルウェー
10	ノルウェーの春	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	36.9×49.5	デンマーク フレーデンスボー
11	森のささやき	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	27.5×37.4	デンマーク　ヒレロード
12	夕紅(下図)	1996	88	改組第28回日展のための準備作	紙本・鉛筆	78.0×115.0	デンマーク
13	夕紅	1996	88	本制作、改組第28回日展	麻布・彩色	81.0×116.0	デンマーク
14	木枯らし舞う	1997	89	本制作、改組第29回日展	麻布・彩色	81.0×116.0	ドイツ北部
静唱　制作過程							
15	静唱　スケッチ　A	1981	73	改組第13回日展のための準備作	紙本・鉛筆	25.7×38.0	フランス　パリ　ソー公園
16	静唱　スケッチ　B	1981	73	改組第13回日展のための準備作	紙本・鉛筆	25.7×37.7	フランス　パリ　ソー公園
17	静唱　スケッチ　C	1981	73	改組第13回日展のための準備作	紙本・鉛筆	37.5×54.0	フランス　パリ　ソー公園
18	静唱　小下図	1981	73	改組第13回日展のための準備作	紙本・彩色	32.0×48.0	フランス　パリ　ソー公園
19	静唱(下図)	1981	73	改組第13回日展のための準備作	紙本・鉛筆	140.0×202.5	フランス　パリ　ソー公園

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
20	静唱	1981	73	本制作、改組第13回日展	紙本・彩色	140.0×203.0	フランス　パリ　ソー公園
21	静かな町	1971	63	本制作、東山魁夷新作展	紙本・彩色	92.0×75.0	ドイツ　ヴィムプヘン
22	『森と湖の国』表紙原画	1963	55	カット・その他	紙・パステル・水彩	30.5×55.5	
23	「森と湖の国」カット	1963	55	カット・その他	紙本・彩色	①17.0×12.3 ②17.0×17.0 ③28.0×13	ノルウェー ハルダンゲル高原
24	ハルダンゲル高原	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	36.9×49.0	ノルウェー ハルダンゲル高原
25	雪原譜	1962	54	北欧風景習作	紙本・彩色	27.5×37.5	ノルウェー　ヴルヴィック
26	フレデリク城を望む	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	36.0×50.5	デンマーク
27	樹魂	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	36.0×49.2	デンマーク
28	青い沼	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	36.2×49.0	デンマーク
29	運河沿いの街	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	26.5×36.5	デンマーク
30	エルシノアの街	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	25.0×37.0	デンマーク　エルシノア
31	夕星(下図)	1999	90		紙本・鉛筆	80.2×101.2	長野県　長野市 花岡平霊園
32	夕星	1999	90	本制作	麻布・彩色	66.0×100.0	長野県　長野市 花岡平霊園
33	倉庫	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	28.2×37.2	デンマーク コペンハーゲン
34	コペンハーゲンの街	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	28.0×40.9	デンマーク コペンハーゲン
35	内庭	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	32.5×44.5	デンマーク　リーベ
皇室の仕事							
36	萬緑新　小下図	1961	53	吹上御所御用命画のための準備作	紙本・彩色	28.5×25.3	福島県　猪苗代町　翁島
37	悠紀地方屏風絵　試作　春夏図・秋冬図	1990	82	大嘗祭大饗の儀に用いられた作のための準備作	紙本・彩色	各42.0×76.5	
38	朝明けの潮(下図) A	1967	59	皇居宮殿壁画色分け下図	紙本・彩色	39.0×144.0	
39	朝明けの潮(下図) B	1967	59	皇居宮殿壁画色分け下図	紙本・彩色	39.0×144.0	
40	「北欧」カット	1963	55	カット・その他	紙本、彩色	①15.0×21.2 ②20.5×20.7	
41	湖上の城	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	25.4×35.3	デンマーク
42	さざなみ	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	34.0×46.0	フィンランド プンカハルユ
43	聖夜	1994	86	本制作、改組第26回日展	麻布・彩色	89.0×130.0	ドイツ南部
44	白夜光	1962	54	北欧風景習作	紙本・彩色	35.0×51.0	フィンランド　クオピオ
45	二つの月	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	45.5×37.6	フィンランド　ヘルシンキ
中国風景スケッチ							
46	頤和園にて	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	37.0×28.0	中国　北京
47	承徳の春	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	25.0×35.2	中国　承徳
48	町角	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	36.3×29.5	中国
49	喇嘛塔	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	43.1×31.2	中国　承徳
50	古北口にて	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	37.0×28.5	中国　承徳
51	長城を望む	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	28.0×36.8	中国　承徳
52	承徳所見　A	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	23.5×32.5	中国　承徳
53	承徳所見　B	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	23.5×33.0	中国　承徳
54	承徳所見　C	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	33.0×23.5	中国　承徳
55	承徳所見　D	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	19.4×31.5	中国　承徳
56	承徳所見　E	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	23.8×33.0	中国　承徳
57	金太郎	1949	41	本制作	色紙・水彩	27.3×24.2	

東山魁夷館　コレクション展

第Ⅵ期

冬の信州の自然をあたたかな眼差しで描いた《静晨》や《霧氷の譜》、《冬の旅》を中心に、東山が深く心を寄せた北欧の古い街並みを描いた《窓》や《倉庫》などを展示した。

■会期　令和5年2月9日(木)から4月11日(火)(54日間)
■会場　東山魁夷館
■観覧料　一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※(　)は20名以上の団体料金
■入館者数　10,657人(有料：8,409人　無料：2,248人)
■イベント　ギャラリートーク／3月18日(土)14:00～14:30／参加人数：10人
■担当学芸員　松浦千栄子

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
大和春秋							
1	朝の塔	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	28.0×41.5	奈良県　興福寺
2	吉野の春	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	31.0×44.0	奈良県　吉野
3	春日野朝霧	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	30.5×43.5	奈良県　春日野
4	古陵薄明	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	23.0×33.5	奈良県　箸墓
5	室生の塔	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	41.0×27.5	奈良県　室生寺
6	霧の朝	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	26.0×40.0	奈良県　春日大社
7	萱生にて	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	41.5×27.7	奈良県　萱生
8	飛火野	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	28.0×42.0	奈良県　飛火野
9	夕べの塔	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	27.0×41.0	奈良県　興福寺
10	松と月	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	33.5×46.5	奈良県
11	霧氷の譜　小下図　A	1985	77	改組第17回日展のための準備作	紙本・彩色	21.8×32.0	ドイツ北部および乗鞍山頂
12	霧氷の譜　小下図　B	1985	77	改組第17回日展のための準備作	紙本・彩色	21.0×31.0	ドイツ北部および乗鞍山頂
13	霧氷の譜	1985	77	改組第17回日展	紙本・彩色	130.0×185.0	ドイツ北部および乗鞍山頂
14	霧氷の譜(下図)	1985	77	改組第17回日展のための準備作	紙本・鉛筆	129.7×183.8	ドイツ北部および乗鞍山頂
15	布留の森	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	37.0×31.0	奈良県　天理市　布留
16	唐招提寺月明	1973-85	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	41.0×33.0	奈良県　唐招提寺
17	赤目晩秋	1973-85	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	41.0×27.5	三重県　名張市
18	石佛	1973-85	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	27.0×41.0	奈良県
19	柿の木と白壁の家	1973-85	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	27.0×35.5	奈良県
20	酒造りの家	1973-85	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	25.0×35.0	奈良県　三輪山
21	雪の春日野	1973-85	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	31.0×44.0	奈良県　春日野
22	室生暮雪	1973-85	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	44.0×31.0	奈良県　室生寺
ニューヨーク近代美術館書院建築　「松風荘」　障壁画下図							
23	小下図Ａ　床の間水墨風山水図	1952	44	ニューヨーク近代美術館書院建築「松風荘」	紙本・彩色	27.5×69.0	
24	小下図Ｂ　水墨風山と森の図	1952	44	ニューヨーク近代美術館書院建築「松風荘」	紙本・彩色	19.8×71.5	
25	小下図Ｃ　菖蒲図(杉戸絵)	1952	44	ニューヨーク近代美術館書院建築「松風荘」	紙本・彩色	19.5×20.3	
26	小下図Ｄ　芥子図(杉戸絵)	1952	44	ニューヨーク近代美術館書院建築「松風荘」	紙本・彩色	19.5×20.3	
27	小下図Ｅ　松竹梅図	1952	44	ニューヨーク近代美術館書院建築「松風荘」	紙本・彩色	20.0×139.3	

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	サイズ(cm)	取材地
28	小下図F　松竹梅図	1952	44	ニューヨーク近代美術館書院建築「松風荘」	紙本・彩色	20.0×139.3	
29	小下図G　竹梅図	1952	44	ニューヨーク近代美術館書院建築「松風荘」	紙本・彩色	20.0×139.3	
30	倉庫	1963	55	東山魁夷風景画展	紙本・彩色	53.4×72.5	デンマーク、コペンハーゲン
31	静晨	1994	86	東山魁夷信州を描く	麻布・彩色	65.0×92.0	長野県　長野市　芋井
32	窓	1971	63	改組第3回日展	紙本・彩色	130.0×195.0	ドイツ　ローテンブルク
33	三島由紀夫著『獣の戯れ』挿絵A	1961	53	カット・その他	紙、墨、鉛筆、コンテ、パステル	①21.3×14.2 ②7.5×15.3 ③12.6×23.7 ④11.6×15.3 ⑤14.9×15.9	
34	三島由紀夫著『獣の戯れ』挿絵B	1961	53	カット・その他	紙、墨、鉛筆、コンテ、(油性のパステル)	①14.8×14.4 ②12.2×15.4 ③14.8×15.4 ④17.6×12.4 ⑤12.5×15.6	
35	旅だより　画帖	1940–47	32–39		紙本・彩色	27.2×24.1	
36	冬の旅　小下図	1989	81	改組第21回日展のための準備作	紙本・彩色	23.5×35.0	秋田県　鹿角市　湯瀬
37	冬の旅	1989	81	改組第21回日展	紙本・彩色	110.0×162.0	秋田県　鹿角市　湯瀬
38	冬の旅(下図)	1989	81	改組第21回日展のための準備作	紙本・鉛筆	109.4×162.0	秋田県　鹿角市　湯瀬
日展準備作　《たにま》　下図							
39	たにま　小下図	1953	45	第9回日展のための準備作	紙本・彩色	37.0×30.5	長野県　野沢温泉村
40	たにま　スケッチ　A	1940–41	32–33	東山魁夷　旅の写生展	紙本・彩色	37.0×27.1	山梨県　御坂町－河口湖町　御坂峠
41	たにま　スケッチ　B	1953	45	第9回日展のための準備作	紙本・彩色	37.5×29.1	長野県　山ノ内町上林温泉
42	たにま　スケッチ　C	1953	45	第9回日展のための準備作	紙本・彩色	37.5×29.1	長野県　野沢温泉村
43	たにま　スケッチ　D	1953	45	第9回日展のための準備作	紙本・彩色	37.1×27.2	長野県　野沢温泉村
44	たにま　スケッチ　E	1953	45	第9回日展のための準備作	紙本・彩色	37.5×53.5	長野県　野沢温泉村
45	たにま　大下図　A	1953	45	第9回日展のための準備作	紙本・彩色	127.0×105.5	長野県　野沢温泉村
46	たにま　大下図　B	1953	45	第9回日展のための準備作	紙本・彩色	126.8×105.5	長野県　野沢温泉村
47	たにま　大下図　C	1953	45	第9回日展のための準備作	紙本・彩色	138.8×108.0	長野県　野沢温泉村
48	春野	不詳			色紙・水彩	27.2×24.1	
49	海辺にて(伊豆)	1933–35	25–27	スケッチ	紙・水彩	36.0×54.0	静岡県　伊豆
50	訪春(甲州にて)	1935–45	27–37	スケッチ	紙・水彩	27.7×36.0	山梨県
51	夕映(十国峠富士)	1935–45	27–37	スケッチ	紙・彩色	25.6×35.4	神奈川県　箱根
大地悠々							
52	天安門遠望	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・墨画	17.8×23.5	中国　北京
53	端門暮色	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・彩色	21.8×23.5	中国　北京
54	北京新緑	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・墨画	20.4×32.0	中国　北京
55	故宮良夜	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・墨画	20.0×34.3	中国　北京
56	胡同俯瞰	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・墨画	21.3×32.7	中国　北京
57	池畔	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・墨画	26.0×35.5	中国
58	長城に登る	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・墨画	24.5×34.7	中国
59	大寨開墾	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・墨画	23.8×34.8	中国　山西省　大寨村
60	華清池	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・墨画	25.4×27.4	中国　西安
61	朝	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・墨画	26.7×36.0	中国　太湖
62	農村所見	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・彩色	30.6×43.8	中国
63	山峡の月	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・墨画	24.3×34.8	中国
64	孤帆	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・彩色	26.8×37.4	中国

長野県立美術館　交流名品展

佐久からひろがる　信州の近現代美術

交流展は、県内各地域の美術館とともに企画・立案し実施する展覧会である。当館のコレクションをより多くの方に公開すること、県内地域の中核となる美術館と共催することで美術館や学芸員同士の相互連携を深めることを目的としている。また、展覧会では共催館の特色を打ち出し、地縁ある作家たちの作品を中心に展示することで、地域の魅力を再発見する機会としてもらうことを目指している。

今年度は佐久市立近代美術館との共同開催で、岡村政子、神津港人、川村吾蔵の三作家を起点に佐久地域を中心とした近現代美術の展開を概観した。また、両館のコレクションに加えて佐久市川村吾蔵記念館からも彫刻作品を出品いただいたことで、当館のコレクションのみならず佐久地域の美術を広く紹介する機会となった。

■会期　令和4年7月16日(土)から8月28日(日)(38日間)
休館日：月曜日(祝日の場合開館)、祝日の翌日(8月12日(金)は開館)
■会場　佐久市立近代美術館
■主催等　[主催]佐久市、佐久市教育委員会
[共催]長野県、長野県立美術館
[後援]信濃毎日新聞社、佐久ケーブルテレビ、エフエム佐久平、佐久市民新聞、美術年鑑社、佐久市立近代美術館友の会
■観覧料　一般600(500)円、学生410(310)円、高校生以下又は18歳未満無料
※(　)内は20名以上の団体料金
■入館者数　1,084名(有料：665人　無料：419人)
■イベント　①講演会「日本人作家の海外体験・活動―その今昔」／講師：松本透(当館館長)／日時：7月17日(日)14:00～15:30／場所：佐久市立近代美術館 視聴覚室／参加人数：28人
②対話型鑑賞「アートをしゃべって見ませんか？」／講師：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音(当館学芸専門員)／日時：7月24日(日)10:00～11:30、13:00～14:30／場所：佐久市立近代美術館 展示室／参加人数：10:00～4人、13:00～3人
③ギャラリートーク
日時：7月30日(土)14:00～15:00／講師：木内真由美(当館学芸員)／場所：佐久市立近代美術館 展示室／参加人数：4人
日時：8月20日(土)14:00～15:00／講師：茂原奈保子(当館学芸員)／場所：佐久市立近代美術館 展示室／参加人数：5人
④ガイドツアー／講師：土屋信(佐久市立近代美術館学芸員)／日時：8月13日(土)14:00～／場所：佐久市立近代美術館 展示室／参加人数：3人
■担当学芸員　茂原奈保子、木内真由美

7月24日　対話型鑑賞

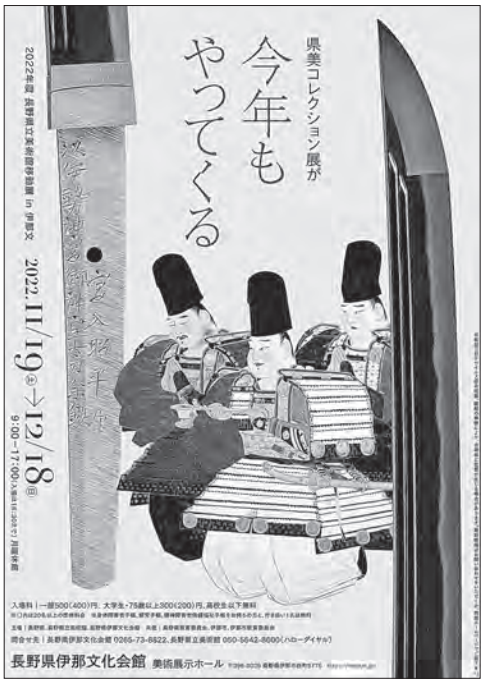
No.	作者	作品名	制作年	材料・技法	寸法(cm)	所蔵先
1階	**第1展示室(東京美術学校／日本美術院)**					
1	赤羽雪邦	米国風景	1914(大正3)年	絹本・彩色	140.8×60.3	長野県立美術館
2	下村観山	美人観桜	1901(明治34)年	絹本・彩色	117.7×48.5	佐久市立近代美術館
3	西郷孤月	白雲紅葉	1897(明治30)年頃	絹本・彩色	146.0×73.0	長野県立美術館
4	菱田春草／横山大観	寿老・布袋図	1903(明治36)年頃	絹本・彩色	各126.2×42.1	長野県立美術館
5	菱田春草	雄快(海岸怒涛)	1902(明治35)年	絹本・彩色	121.6×49.8	長野県立美術館
6	平山郁夫	仏教伝来	1959(昭和34)年	紙本・彩色	169.8×221.6	佐久市立近代美術館
7	川崎小虎	望郷	1954(昭和29)年	紙本・彩色	113.8×137.7	佐久市立近代美術館
8	矢沢弦月	童謡	1916(大正5)年	紙本・彩色	各170.0×374.5	長野県立美術館
2階	**第2展示室(神津港人／川村吾蔵／在米日本人作家／一水会)**					
9	丸山晩霞	山上の潤地	不詳	水彩・紙	101.0×67.0	長野県立美術館
10	神津港人	渓流三女人像	1930(昭和5)年	油彩・カンヴァス	130.0×97.0	長野県立美術館
11	神津港人	夏(いんこ鳥)	1929(昭和4)年	油彩・カンヴァス	77.8×81.0	長野県立美術館
12	神津港人	夏(百合花)	1929(昭和4)年	油彩・カンヴァス	77.0×85.0	佐久市立近代美術館
13	神津港人	初夏新緑	1939(昭和14)年	油彩・カンヴァス	212.6×121.2	長野県立美術館
14	神津港人	窓辺	1914(大正3)年	油彩・カンヴァス	72.8×53.0	長野県立美術館
15	神津港人	アメリカ風景	1932(昭和7)年	油彩・カンヴァス	38.0×45.0	長野県立美術館
16	臼井文平	屋上のパーテイ	1926(大正15)年	油彩・カンヴァス	117.3×147.5	長野県立美術館
17	臼井文平	ウッドストックの国吉家	1934(昭和9)年	油彩・カンヴァス	56.0×76.8	長野県立美術館
18	国吉康雄	冬	1934(昭和9)年	リトグラフ・紙	25.5×35.5	長野県立美術館(信濃デッサン館コレクション)
19	国吉康雄	夜の巡回	1928(昭和3)年	リトグラフ・紙	21.8×27.3	長野県立美術館(信濃デッサン館コレクション)
20	川村吾蔵	太陽の賛歌	1917(大正6)年	ブロンズ	55.5×12.0×18.0	佐久市川村吾蔵記念館
21	川村吾蔵	フレデリック・マクモニス氏	1924(大正13)年頃	ブロンズ	63.0×50.0×31.5	佐久市川村吾蔵記念館
22	川村吾蔵	ホルスタイン種乳牛　牝	1923(大正12)年	ブロンズ	45.5×64.0×22.5	佐久市川村吾蔵記念館
23	-	日本帝国外国旅券 川村吾蔵	1914(大正3)年	紙	26.0×39.0	佐久市川村吾蔵記念館
24	有島生馬	某氏像	1936(昭和11)年	油彩・カンヴァス	60.6×45.5	長野県立美術館
25	有島生馬	梅雨霽	1947(昭和22)年	油彩・板	24.0×32.5	佐久市立近代美術館
26	有島生馬	柿若葉の頃	1945(昭和20)年	油彩・板	27.0×21.0	佐久市立近代美術館
27	石井柏亭	画室小集	1949(昭和24)年	油彩・カンヴァス	110.7×160.8	長野県立美術館
28	不破 章	開拓地の女	1963(昭和38)年	水彩・紙	69.5×104.5	長野県立美術館
29	不破 章	湯治場	1976(昭和51)年	水彩・紙	97.0×144.0	佐久市立近代美術館
30	矢崎重信	まりつき	1937(昭和12)年	油彩・カンヴァス	130.3×162.1	長野県立美術館
2階	**第3展示室(浅間山／現代日本画／ヴェネツィア・ビエンナーレ '66)**					
31	高畠達四郎	浅間遠望	1975(昭和50)年	油彩・カンヴァス	45.5×60.6	長野県立美術館
32	小山敬三	暮れゆく浅間	1968(昭和43)年	油彩・カンヴァス	145.5×97.0	長野県立美術館
33	伊東深水	避暑地の昼	1941(昭和16)年	木版・紙	30.5×43.3	長野県立美術館
34	伊東深水	信州浅間六里原風景	1959-61(昭和34-36)年頃	紙本・彩色	78.6×93.6	長野県立美術館
35	伊東深水	信濃十景 初夏の千曲川	1948(昭和23)年	木版・紙	25.2×35.9	長野県立美術館
36	中島千波	眠 '90-8	1990(平成2)年	紙本・彩色	220.0×165.0	長野県立美術館
37	中島千波	虹	1974(昭和49)年	紙本・彩色	117.3×80.0	佐久市立近代美術館
38	倉島重友	秋の風	1979(昭和54)年	紙本・彩色	198.0×169.7	長野県立美術館
39	倉島重友	揺花	1984(昭和59)年	紙本・彩色	170.0×197.0	佐久市立近代美術館
40	滝沢具幸	谿Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ	1996(平成8)年	紙本・彩色	各215.0×142.0	長野県立美術館
41	滝沢具幸	野の人Ⅱ	2009(平成21)年	紙本・彩色	109.5×109.5	佐久市立近代美術館
42	木村光宏	樹	1995(平成7)年	紙本・彩色	170.0×227.0	佐久市立近代美術館
43	池田満寿夫	真昼の人々	1955(昭和30)年	油彩・カンヴァス	88.4×117.0	長野県立美術館
44	池田満寿夫	靴の裏側	1968(昭和43)年	リトグラフ・紙	57.5×46.0	長野県立美術館
45	池田満寿夫	SAYOKO (1/5-16)	1977(昭和52)年	水彩・紙	32.8×41.0	長野県立美術館

No.	作者	作品名	制作年	材料・技法	寸法(cm)	所蔵先
46	オノサト・トシノブ	58-A	1958(昭和33)年	リトグラフ・紙	13.5×20.8	長野県立美術館
47	オノサト・トシノブ	シルク-1	1966(昭和41)年	シルクスクリーン・紙	29.7×39.5	長野県立美術館
48	靉嘔	コーヒーカップ	1974(昭和49)年	シルクスクリーン・紙	21.5×27.5	長野県立美術館
49	靉嘔	Mr.&Mrs.Rainbow debu R-V	1973(平成48)年	シルクスクリーン・紙	48.7×130.2	佐久市立近代美術館
3階	**第4展示室(岡村政子／明治期洋画／信州の近代日本画)**					
50	川上冬崖	草花図	不詳	水彩・紙	50.0×34.6	長野県立美術館
51	小山正太郎	川中島第二次犀川之役	1892(明治25)年	石版・紙	50.0×64.3	長野県立美術館
52	岡村政子	笛吹く女	1890(明治23)年	石版・紙	48.3×27.3	長野県立美術館
53	岡村政子	山吹之里賤女	1889(明治22)年	石版・手彩色・紙	35.5×24.0	佐久市立近代美術館
54	岡村政子	美人新聞を読む図	1897(明治30)年	多色石版・紙	48.5×33.5	佐久市立近代美術館
55	岡村政子(推定)	神津牧場バター箱蓋	不詳	印刷・紙	20.3×27.8	佐久市立近代美術館
56	川上冬崖	鍾馗挙鬼	1870(明治3)年	紙本・彩色	95.5×37.2	長野県立美術館
57	池上秀畝	秋雨	1932(昭和7)年	絹本・彩色	161.0×177.5	長野県立美術館
58	池上秀畝	黄柳白鷺	1918(大正7)年	絹本・彩色	各169.0×366.0	長野県立美術館
59	池上秀畝	雨中竹	1919(大正8)年	紙本・彩色	208.0×305.0	佐久市立近代美術館
60	山川秀峰	銀鳩／逝く春	1929-1931(昭和4-6)年	麻布・彩色	各168.0×133.2	佐久市立近代美術館
61	児玉果亭	深山大沢	1902(明治35)年	絹本・墨画	169.7×83.8	長野県立美術館
62	菊地契月	寂光院	1902(明治35)年	絹本・彩色	219.5×145.0	長野県立美術館
63	菊地契月	露の朝	1922(大正11)年以前	絹本・彩色	128.5×51.0	佐久市立近代美術館
3階	**第5展示室(信州の彫刻と構造社／池田満寿夫／松井康成／信州の現代作家)**					
64	斎藤素巖	木の実	1970(昭和45)年	ブロンズ	13.0×8.0×5.0	佐久市立近代美術館
65	瀬戸團治	静立	1961(昭和36)年	ブロンズ	177.0×39.5×37.5	長野県立美術館
66	中村七十	若き女	1936(昭和11)年	ブロンズ	160.5×48.0×32.0	長野県立美術館
67	荻原碌山	坑夫	1907(明治40)年	ブロンズ	46.3×45.2×35.4	長野県立美術館
68	戸張孤雁	男の胴	1910(明治43)年頃	ブロンズ	35.5×17.0×15.0	長野県立美術館(信濃デッサン館コレクション)
69	戸張孤雁	海女	1924(大正13)年	ブロンズ	35.5×11.5×15.0	長野県立美術館(信濃デッサン館コレクション)
70	山本豊市	あじさい	1973(昭和48)年	乾漆	85.0×73.0	佐久市立近代美術館
71	平櫛田中	良寛とざくろ	1972(昭和47)年	木彫・彩色	51.0×30.0×30.0	佐久市立近代美術館
72	寺瀬黙山	律僧像	1920(大正9)年	木	165.5×50.0×50.0	長野県立美術館
73	城田孝一郎	ひさごと花をもつ杜の人	2001(平成13)年	木	102.0×31.0×39.0	長野県立美術館
74	松井康成	練上玻瑠光大壺「輪廻転生」	2000(平成12)年	陶器	高37.6/ 径40.6	長野県立美術館
75	松井康成	練上銅羅鉢「輪響」	1975(昭和50)年	陶器	高12.5/ 径45.0	長野県立美術館
76	松井康成	練上玻璃光壺「白露」	1997(平成9)年	陶器	高28.8/ 径31.2	長野県立美術館
77	池田満寿夫	夏の娘	1984(昭和59)年	ソフトグランドエッチング、紙	34.8×25.0	佐久市立近代美術館
78	池田満寿夫	オレンジの髪	1984(昭和59)年	ソフトグランドエッチング、紙	34.7×24.9	佐久市立近代美術館
79	池田満寿夫	渚	1984(昭和59)年	ソフトグランドエッチング、紙	34.8×25.0	佐久市立近代美術館
80	池田満寿夫	赤い髪	1984(昭和59)年	ソフトグランドエッチング、紙	34.5×24.9	佐久市立近代美術館
81	池田満寿夫	三角の影	1984(昭和59)年	ソフトグランドエッチング、紙	34.6×25.0	佐久市立近代美術館
82	池田満寿夫	カフェにて	1984(昭和59)年	ソフトグランドエッチング、紙	31.2×23.1	佐久市立近代美術館
83	池田満寿夫	陶芸「磐俤」	1990(平成2)年	陶器	15.0×33.0×28.0	長野県立美術館
84	池田満寿夫	陶芸「柳塔」	1990(平成2)年	陶器	38.5×20.5×20.5	長野県立美術館
85	池田満寿夫	陶芸「伊勢」	1989(平成元)年	陶器	4.5×42.5×29.0	長野県立美術館
86	小松崎広子	だ円をさそう風景08-9	2008(平成20)年	油彩・カンヴァス	182.0×227.3	佐久市立近代美術館
87	佐久間あすか	流	2011(平成23)年	新聞紙	75.0×38.0×32.0	佐久市立近代美術館
88	山上晃葉	Troop　群れ	2008(平成20)年	リトグラフ・布	238.0×143.0×15.0	佐久市立近代美術館

2022年度長野県立美術館移動展 in 伊那文

～県美コレクション展が今年もやってくる～

長野県立美術館では、1966(昭和41)年の開館以来、郷土にゆかりのある美術家たちの作品と、美しい信州の自然を描いた風景画を中心に収集・公開してきた。これらコレクションをより多くの方にご鑑賞いただくため、1979(昭和54)年から県内各地で「移動展」を開催している。長野県立美術館として新たに出発した昨年からは、公募会場に加えて長野県伊那文化会館にて毎年開催することとなった。本年も県立美術館 NAM コレクション展第Ⅲ期の内容をそのまま展示するラインナップで、県立美術館の「顔」となる43点が並ぶ盛りだくさんの内容。菱田春草や池上秀畝、中村不折、滝沢具幸など南信ゆかりの作家は勿論のこと、紅葉に彩られた信州の美しい自然を捉えた風景画、そして、刀剣を携える人物を描いた歴史画や鋼の芸術日本刀など、多彩で精神性豊かな日本美術の逸品を展示した。



■会期　令和4年11月19日(土)から12月18日(日)(26日間)※月曜休館
■会場　長野県伊那文化会館 美術展示ホール
■主催等　[主催]長野県、長野県立美術館、長野県伊那文化会館
[共催]伊那市、伊那市教育委員会、長野県教育委員会
■観覧料　一般500(400)円、大学生及び75歳以上300(200)円、高校生以下又は18歳未満無料
※(　)内は20名以上の団体料金
■入館者数　857人(有料：623人　無料：234人)
■イベント　ギャラリートーク／講師：上沢修(当館学芸員)／場所：長野県伊那文化会館 美術展示ホール
日時：11月19日(土)14:00～15:00／参加人数：22人
日時：12月3日(土)14:00～15:10／参加人数：28人
日時：12月17日(土)14:00～15:15／参加人数：18人
■担当学芸員　上沢修

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	寸法(cm)
1	川上冬崖	ナポレオン	不詳	水彩・紙	60.4×58.2
2	中村不折	裸婦立像	1903-04(明治36-37)年	油彩・カンヴァス	80.4×59.6
3	須山計一	労働者	1930(昭和5)年	油彩・カンヴァス	116.7×91.0
4	河野通勢	三人の乞食	1916(大正5)年	油彩・カンヴァス	65.0×91.0
5	林倭衛	刈り入れ(未完)	1935(昭和10)年頃	油彩・カンヴァス	24.3×33.4
6	浦野吉人	案山子	1963(昭和38)年	油彩・カンヴァス	146.5×98.0
7	矢崎重信	『信濃の子供』原画 18 炭焼き	1942(昭和17)年	水彩・紙	28.5×38.5
8	矢崎重信	『信濃の子供』原画 19 川中島の麦蒔き	1942(昭和17)年	水彩・紙	28.5×38.5
9	矢崎重信	『信濃の子供』原画 20 柿もぎ	1943(昭和18)年	水彩・紙	38.5×28.5
10	矢崎重信	『信濃の子供』原画 21 白馬岳の稲扱き	1942(昭和17)年	水彩・紙	28.5×38.5
11	高田誠	湖畔秋色(信州松原湖畔にて)	1938(昭和13)年	油彩・カンヴァス	112.1×145.5
12	安井曾太郎	秋の霞沢岳	1938(昭和13)年	油彩・カンヴァス	53.7×69.0
13	小絲源太郎	山粧ふ	1956(昭和31)年	油彩・カンヴァス	85.0×99.5
14	梅原龍三郎	浅間山	1957(昭和32)年	油彩／グワッシュ・紙	72.2×90.9
15	小林和作	秋山(北アルプス山中)	1964(昭和39)年	油彩・カンヴァス	65.1×100.0
16	田村一男	初秋(霧ヶ峰高原七島八島)	1967(昭和42)年	油彩・カンヴァス	89.5×145.5
17	吉田博	穂高山	1926(大正15)年	木版・紙	25.0×37.5
18	伊藤孝之	明け行く岳川	1932(昭和7)年	木版・紙	36.2×23.8
19	川瀬巴水	信州松原湖	1941(昭和16)年	木版・紙	24.3×36.5
20	伊東深水	信濃十景 野尻湖畔の秋	1948(昭和23)年	木版・紙	25.5×36.2
21	笠松紫浪	たそがれ(信州穂波温泉)	1948(昭和23)年	木版・紙	36.4×24.2
22	池田満寿夫	私の詩人・私の猫	1965(昭和40)年	ドライポイント／ルーレット・紙	36.5×33.9
23	池田満寿夫	秋・夜・女	1990(平成2)年	リトグラフ・紙	66.2×50.7
24	菱田春草	秋夜図	1903(明治36)年頃	絹本・彩色	118.0×49.0
25	池上秀畝	深山鳴鹿図	不詳	絹本・彩色	249.5×116.3
26	西郷孤月	柿双禽	1910(明治43)年頃	絹本・彩色	121.0×49.3
27	諏訪部直亭	四季山水図	1921(大正10)年	絹本・彩色	各140.3×307.8
28	町田曲江	紅色叭哥鳥図	1934(昭和9)年	絹本・彩色	85.3×71.0
29	登内微笑	霜	1946(昭和21)年	絹本・彩色	208.8×118.5
30	松井康成	練上嘯裂文大壺「枯野」	1979(昭和54)年	陶器	高32.0/ 径43.5
31	武田成功	秋燃え	不詳	ガラス	28.0×14.0×24.3
32	木村其樵	高良玉垂命図	不詳	絹本・彩色	119.0×85.3
33	中村玲方	須佐之男命	1917(大正6)年	絹本・彩色	184.5×85.0
34	山浦真雄	短刀　銘：正雄／嘉永三年八月	1850(嘉永3)年	刀	25.0(刃長)、0.3(反り)
35	宮入行平	太刀　銘：宮入昭平作　以伊勢神宮御神宝太刀余鉄／昭和四十五年八月吉日	1970(昭和45)年	刀	75.8(刃長)、2.3(反り)
36	宮入法廣	太刀　銘：法廣／平成廿四年鮎季	2012(平成24)年	刀	72.0(刃長)、3.0(反り)
37	江崎孝坪	無題(源頼朝)	不詳	絹本・著色	43.6×53.8
38	江崎孝坪	手向け	1946(昭和21)年	紙本・彩色	225.0×160.5
39	川舩水棹	日蓮	1942(昭和17)年	紙本・彩色	174.2×167.1
40	中島千波	白虹	1972(昭和47)年	紙本・彩色	175.0×220.0
41	毛利武彦	馬と人	1976(昭和51)年	岩絵具・膠彩・麻紙	145.5×111.6
42	倉島重友	讃	1992(平成4)年	紙本・彩色	170.0×214.5
43	滝沢具幸	原	2013(平成25)年	紙本彩色	140.2×90.3

2022年度長野県立美術館移動展

松川村でたどる信州のアート

長野県立美術館のコレクションをより多くの県民に鑑賞していただくため、県内市町村で開催する移動展覧会。今年度は、北安曇郡松川村で展覧会を開催した。松川村は、雄大な北アルプス連峰を源流とする一級河川が複数流れ込む自然豊かな地であり、北安曇地方特有の歴史と文化に彩られている。本展では、そのような松川村の特徴に沿い、長野県立美術館のコレクションを紹介した。第1章では、りんごをはじめとした、松川村の歴史と関係する農産物などのイメージ、第2章では、松川村の民話に語り継がれてきた有明山と浅間山を描いた近代以降のイメージと北アルプスの多様な描かれ方、第3章では、松川村と戸隠・善光寺との意外なつながりを追った。

■会期　令和5年2月18日(土)から3月5日(日)(16日間)※無休
■会場　松川村多目的交流センター すずの音ホール
■主催等　[主催]長野県、長野県立美術館、松川村、松川村教育委員会
[後援]信濃毎日新聞社、大糸タイムス、市民タイムス、MG プレス
■観覧料　無料
■入館者数　780人
■イベント　ギャラリートーク／講師：鈴木幸野(当館学芸員)／日時：2月18日(土)14:00～15:00／場所：松川村多目的交流センター すずの音ホール／参加人数：20人
■担当学芸員　鈴木幸野

No.	分類	作者名	作品名	制作年	技法材質	法量(cm)
Ⅰ．りんご・稲作・養蚕・かぼちゃ・牛(馬)						
1	油彩画	河野通勢	林檎	1918(大正7)年	油彩・ボード	34.5×42.5
2	油彩画	河野通勢	りんご林	制作年不詳	油彩・カンヴァス	50.5×60.6
3	油彩画	刑部人	りんご園(長野安茂里)	1974(昭和49)年	油彩・カンヴァス	80.5×100.0
4	水彩画	川上冬崖	草花図	制作年不詳	水彩・紙	50.0×34.6
5	水彩画	矢崎重信	『信濃の子供』原画10 繭掻き	1943(昭和20)年	水彩・紙	28.5×38.5
6	水彩画	矢崎重信	『信濃の子供』原画12　糸とり	1943(昭和20)年	水彩・紙	28.5×38.5
7	水彩画	矢崎重信	『信濃の子供』原画6 安曇野の田植	1943(昭和20)年	水彩・紙	28.5×38.5
8	日本画	菊池契月	早苗	1934(昭和9)年	紙本彩色	172.0×77.0
9	日本画	菱田春草	牧牛	1893(明治26)年	紙本彩色	51.6×83.4
10	水彩画	小山周次	南瓜と甘藷	1946（昭和21)年	水彩・紙	33.0×52.5
11	水彩画	伊東深水	とうもろこしと南瓜	1945(昭和20)年	紙本彩色	55.0×37.5
12	版画	草間彌生	南瓜	1986(昭和61)年	セリグラフ、紙	90.5×72.2
Ⅱ．有明山と浅間山						
13	日本画	杉浦非水	激爆を想ふ	1936(昭和11)年	紙本彩色	51.5×36.0
14	油彩画	藤本東一良	上昇気流	1965(昭和40)年	油彩・カンヴァス	146.5×113.0
15	油彩画	梅原龍三郎	浅間山	1957(昭和32)年	油彩・グアッシュ・カンヴァス	72.2×90.9
16	油彩画	吉田博	有明山	1920(大正9)年	油彩・カンヴァス	各149.5×67.0
17	油彩画	山下大五郎	安曇野田植え	1979(昭和54)年	油彩・カンヴァス	116.7×91.0
18	油彩画	小山敬三	浅間山・風	1967(昭和42)年	油彩・カンヴァス	53.0×64.8
19	油彩画	中村善策	丘の春	1952(昭和27)年	油彩・カンヴァス	97.0×162.1
20	油彩画	関四郎五郎	春寒	1965(昭和40)年	油彩・カンヴァス	91.0×116.7
21	版画	川瀬巴水	信州木崎湖	1941(昭和16)年	木版・紙	24.3×36.5
22	彫刻	石井鶴三	風試作	1956(昭和31)年	ブロンズ	78.2×46.2×41.3
23	彫刻	荻原碌山	坑夫	1907(明治40)年	ブロンズ	46.3×45.2×35.4
特集展示．池田満寿夫						
24	版画	池田満寿夫	女・動物たち	1960(昭和35)年	ドライポイント・アクアチント・紙	23.7×18.0
25	版画	池田満寿夫	化粧する女	1964(昭和39)年	ドライポイント・エッチング・ルーレット、紙	36.2×33.5
26	版画	池田満寿夫	水	1965(昭和40)年	ドライポイント・エッチング・ルーレット、紙	36.5×34.0
27	版画	池田満寿夫	空の広告	1967(昭和42)年	コラージュ	24.8×17.8
Ⅲ．戸隠と善光寺						
28	油彩画	神津港人	夏景戸隠宝光社風景	1971(昭和46)年	油彩・カンヴァス	61.0×73.0
29	油彩画	向井潤吉	叢の中の家(戸隠中社にて)	1961(昭和51)年	油彩・カンヴァス	91.0×116.7
30	油彩画	足立源一郎	雪の善光寺	1954(昭和29)年	油彩・カンヴァス	26.0×32.5

交流事業

1　善光寺平アートライン推進協議会

善光寺平アートライン推進協議会は、善光寺平の美術館及び芸術文化施設により2009年1月に発足し、相互交流・情報交換・研究などを通して、施設の活性化・充実化や質の向上を図り、このゾーンへの誘客を引き出し、善光寺平全体の芸術文化の長期的な発展を目的としている。2016年度より長野県立美術館に事務局が置かれている。

加盟館(順不同)

【長野市】　北野美術館／水野美術館／長野県立美術館

【須坂市】　豪商の館　田中本家博物館／笠鉾会館ドリームホール／須坂版画美術館／世界の民俗人形博物館／須坂クラシック美術館／旧小田切家住宅

【小布施町】　おぶせミュージアム・中島千波館／高井鴻山記念館／北斎館／日本のあかり博物館

【高山村】　一茶ゆかりの里一茶館

2　MLA 連携事業

長野県内の MLA(美術館・博物館、図書館、アーカイブ)機関施設や職員の連携を図る取り組みとして、「信州・知のフォーラム」を開催。

1.　第6回 信州・知のフォーラム　　参加者：59

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	2/21	資料のデジタルアーカイブ化と公開について ―松澤宥アーカイブの信州デジタルコモンズでの公開を事例に― 会場：長野県立美術館(レセプションルーム)、オンライン 担当：木内真由美、茂原奈保子	県内MLA機関職員	59

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場と合わせてオンラインでのライブ配信も実施した。

城山小学校アートクラブ

3　地域との連携事業

長野市立城山小学校クラブ活動のうち、美術館を会場として実施する「アートクラブ」への講師協力を行った。展示室内での鑑賞やワークショップを通して、美術館をより身近に感じながら、館内で楽しく過ごす機会を創出した。また、県内美術館との連携事業として、茅野市美術館でのサポーター講座に協力した。

1.　長野市立城山小学校 アートクラブ　　参加者：104

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	6/20	アートクラブ①　オリエンテーション 長野県立美術館について、「長野版アートゲーム」 講師：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音 会場：長野県立美術館(レセプションルーム) 担当：青山由貴枝	城山小学校アートクラブ参加児童、教員	22
2	7/4	アートクラブ②　ワークショップ「練上手にチャレンジ」 コレクション展覧会の鑑賞、紙粘土を使った練上手技法の体験 講師：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音 会場：長野県立美術館(レセプションルーム、コレクション展示室) 担当：青山由貴枝	城山小学校アートクラブ参加児童、教員	22
3	8/29	アートクラブ③　展覧会を見に行こう！ ワークシートを使った企画展覧会の鑑賞 講師：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音 会場：長野県立美術館(レセプションルーム、コレクション展示室) 担当：青山由貴枝	城山小学校アートクラブ参加児童、教員	20

城山小学校アートクラブ

城山小学校アートクラブ

4	9/12	アートクラブ④　石磨きワークショップ Love Stone Project-Nagano 石磨きワークショップを体験 講師：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音 会場：長野県立美術館（レセプションルーム、交流スペース外） 担当：青山由貴枝	城山小学校アートクラブ参加児童、教員	20
5	10/3	アートクラブ⑤　ワークショップ「コラージュ缶バッジをつくろう！」 チラシや雑誌を切り抜き、コラージュ缶バッジを制作 講師：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：青山由貴枝	城山小学校アートクラブ参加児童、教員	20

2.　茅野市美術館 出張講座　　参加者：34

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	2/4	アートで地域をサポートしませんか #2 美術館編　第4回「他の美術館を知ろう」 長野県立美術館、アート・コミュニケータ事業についての紹介 講師：青山由貴枝 会場：茅野市民館アトリエ 担当：青山由貴枝、柄澤初音	一般参加者、茅野市美術館サポーター、職員	34

清泉女学院大学との連携事業

4　県内大学等との連携事業

信州大学（教育学部）、清泉女学院大学（学芸員課程）との連携事業として、「鑑賞」をテーマとした出張授業および館内プログラムを実施。美術館を身近なものとし、展示室での鑑賞体験をより豊かなものとする機会とした。

1.　清泉女学院大学との連携事業　　参加者：59

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	10/12	第1回　ガイダンス 長野県立美術館について、「長野版アートゲーム」 講師：青山由貴枝、柄澤初音 会場：清泉女学院大学 上野キャンパス 担当：青山由貴枝	清泉女学院大学3年生、教員	20
2	11/16	第2回　対話型鑑賞とは スライドを使用した対話型鑑賞の説明と実践 講師：青山由貴枝、柄澤初音、山下樹里 会場：清泉女学院大学 上野キャンパス 担当：青山由貴枝	清泉女学院大学3年生、教員	19
3	12/26	第3回　展示室内での対話型鑑賞 コレクション展示室にて、作品を前にしたグループワーク及び、ワークシートを使った鑑賞 講師：青山由貴枝、柄澤初音、山下樹里 会場：長野県立美術館（レセプションルーム、コレクション展示室） 担当：青山由貴枝	清泉女学院大学3年生、教員	20

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和5年1月の授業（第4回）は中止とした。

清泉女学院大学との連携事業

2.　信州大学との連携事業　　参加者：44

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	11/15 11/28	「対話型鑑賞とは」 長野県立美術館について、スライドを使用した対話型鑑賞の説明と実践 講師：青山由貴枝 会場：信州大学教育学部 担当：青山由貴枝	信州大学3・4年生、教員	22
2	12/6 12/8	「信州大学教育学部附属中学校2学年を対象とした館内見学及び対話型鑑賞」 学校団体見学として来館する中学生を対象に、信州大学学生がファシリテートを行う対話型鑑賞を実施 会場：長野県立美術館（展示室1・2・3） 担当：青山由貴枝	信州大学3・4年生、教員	22

信州大学との連携事業

信州大学との連携事業

5　インクルーシブ・プロジェクト

美術館がだれでも安心してアートと出会える場所になることを目指すプロジェクト。障がいのある方がより安心して美術館に訪れることができるよう、休館日に開館し、展覧会を鑑賞することができる「障がいのある方のための特別鑑賞日」や、館内スタッフのインクルーシブスキル向上を図るための事前研修等を実施した。また、視覚障がいをテーマとしたインクルーシブイベントを3回実施し、障がいの有無を超えて、アートを体験できる機会を提供した。

1.　館職員を対象としたインクルーシブ研修会の実施　　参加者：40

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	8/23 8/30	あいサポーター研修、聴覚障がい者の生活と手話 障がいの種別や障がい者の生活について、簡単な手話を体験 講師：水澤幸子（長野県健康福祉部障がい者支援課） 清水直樹（NPO 法人 Happy Spot Club） 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：青山由貴枝	職員、アート・コミュニケータ	40

2.　障がいのある方のための特別鑑賞日　　参加者：229

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	9/7	障がいのある方のための特別鑑賞日 ひらくツール体験コーナーや、企画展モチーフに触れるスペースを設置 会場：長野県立美術館（展示室1・2・3、館内無料スペース）、東山魁夷館 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	障がいのある方と付添	229

3.　インクルーシブイベントの開催　　参加者：63

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	11/5	「みる」を考える 見えない人と見える人が一緒にみるために 県内視覚障がい者とともに、展示室にて対話型鑑賞を実践 講師：日野陽子（京都教育大学准教授） 会場：長野県立美術館（レセプションルーム、コレクション展示室） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	障がいのある方と付添、一般参加者	26
2	3/5	映画「白い鳥」上映会＆トーク 全盲の美術鑑賞者、白鳥建二氏のドキュメンタリー映画を上映し、その後、白鳥氏と美術家の光島貴之氏を交え、アフタートークを開催 講師：白鳥建二（全盲の美術鑑賞者） 光島貴之（美術家、鍼灸師） 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：木内真由美、青山由貴枝	一般参加者	28
3	3/5	「全盲の美術鑑賞者」とアートなトーク 全盲の美術鑑賞者、白鳥建二氏と光島貴之氏をナビゲーターに迎え、対話型鑑賞を開催 講師：白鳥建二（全盲の美術鑑賞者） 光島貴之（美術家、鍼灸師） 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：木内真由美、青山由貴枝	一般参加者	9

4.　トークフリーデー

声の大きさを気にせずに、展覧会を楽しみ、作品をみて感じたことを話しながら作品鑑賞を楽しむ「トークフリーデー」を年2回設定し、来館者のより深い作品鑑賞を促す機会とした。

日程：令和4年5月5日（木・祝）「こどもの日」
令和4年11月3日（木・祝）「文化の日」
※開催時間は開館時間に準ずる
※参加者は展覧会来場者数に準ずる

インクルーシブ研修会の様子

障がいのある方のための特別鑑賞日

「みる」を考える

映画「白い鳥」上映会＆トーク

「全盲の美術鑑賞者」とアートなトーク

学習事業

1　スクールプログラム

学校団体鑑賞の受入では、県内外の小・中・高等学校を対象とした「自由鑑賞」、特別支援学校・特別支援学級を対象とした「オリジナルプログラム」をおこない、計123校（児童・生徒6,290名）が来館した。また、長野ろう学校や県内特別支援学校への出張講座を2回、信州大学附属病院院内学級へのオンラインによる出張講座を3回、県内の教員の研究会等からの依頼で教員研修会を2回実施した。貸出教材「長野版アートゲーム」は昨年度から引き続き、10件の学校教育施設へ貸出した。

1.　学校団体鑑賞の受入

自由鑑賞　　**受け入れ人数：6,077**

No.	来館日	学校名／学年	児童生徒	引率教員	合計
1	4/14	安曇野市立豊科南中学校 3年	95	4	99
2	4/15	長野工業高等専門学校 1、2年	400	12	412
3	4/22	松川村立松川中学校 3年	28	3	31
4	4/25	長野清泉女学院高等学校 1年	113	10	123
5	4/25	長野清泉女学院中学校 1年	18	3	21
6	4/26	長野市立加茂小学校 1、2年	74	8	82
7	4/28	文化学園長野高等学校 2年	34	1	35
8	5/2	須坂市立豊丘小学校 3、4年	17	4	21
9	5/12	女子美術大学付属中学校 3年①	72	5	77
10	5/13	女子美術大学付属中学校 3年②	72	5	77
11	5/19	長野市立三輪小学校　6年	66	2	68
12	5/26	長野商業高等学校定時制　1年	21	2	23
13	5/31	長野県飯田 OIDE 長姫高校建築学科　1年	35	2	37
14	5/31	土浦日本大学高等学校 1年①	76	4	80
15	6/2	土浦日本大学高等学校 1年②	67	4	71
16	6/4	長野女子高等学校美術部	8	1	9
17	6/7	土浦日本大学高等学校 1年③	114	5	119
18	6/9	土浦日本大学高等学校 1年④	114	5	119
19	6/9	長野県更級農業高等学校 3年	18	1	19
20	6/9	大桑村立大桑小学校 4年	14	4	18
21	6/11	益子町立益子中学校 3年	95	8	103
22	6/14	私立第一学院高等学校 1～3年	30	2	32
23	6/14	長野市立豊野東小学校 4年	23	2	25
24	6/21	佐久市立青沼小学校 4年	9	2	11
25	6/24	学校法人豊野学園豊野高等専修学校 1年	49	5	54
26	6/28	松本市立並柳小学校 6年	55	4	59
27	6/30	長野市立青木島小学校 5年	95	4	99
28	7/1	長野市立城山小学校 4年	35	2	37
29	7/4	長野市立城山小学校 4年	35	2	37
30	7/7	上田市立武石小学校 4年	22	2	24
31	7/8	長野西高等学校（中条校） 2年	20	2	22
32	7/8	富士見町立富士見高等学校 2年	40	2	42
33	7/15	土浦日本大学高等学校 1年⑤	111	7	118
34	7/22	安曇野市立穂高西中学校 1年	115	8	123
35	7/28	富山県富山いずみ高等学校 2年	120	6	126
36	8/22	インターナショナルスクールオブ長野 年長・小学部 1年	17	2	19
37	8/26	松本市立本郷小学校 4年	67	3	70
38	8/29	鹿島学園高等学校 1～3年	30	2	32
39	9/1	上田市立塩川小学校 4年	31	2	33
40	9/2	池田町立池田小学校 4年	19	2	21
41	9/8	栄村立栄小学校 4年	6	3	9
42	9/8	長野清泉女学院中学校 2年	33	2	35
43	9/9	須坂市立豊洲小学校 6年	24	2	26
44	9/9	飯山市立戸狩小学校 6年	24	2	26
45	9/9	長野市立古里小学校 5年	84	4	88
46	9/11	長野県長野西高等学校（通信制） 1～4年	60	20	80
47	9/13	松本市立旭町小学校 4年	56	5	61
48	9/15	松本市立丸の内中学校 1～3年、松本市立清水中学校特別支援学級	31	9	40
49	9/15	長野市立篠ノ井東小学校 5年①	32	2	34
50	9/20	飯綱町立牟礼小学校 4年	47	4	51
51	9/20	長野市立篠ノ井東小学校 5年②	32	2	34
52	9/22	長野市立篠ノ井東小学校 5年③	33	2	35
53	9/22	長野市立古牧小学校 2年	123	6	129
54	9/22	長野市立信州新町小学校 4年	11	2	13
55	9/26	長野市立川中島小学校 5年	100	5	105
56	9/27	長野市立柳原小学校 5年	64	3	67
57	9/29	長野市立安茂里小学校 2年	41	6	47
58	9/30	長野市立長野中学校 1年	70	6	76
59	9/30	長野市立三本柳小学校 2年	119	7	126
60	10/3	佐久市立望月小学校 4年	62	4	66
61	10/4	長野市立塩崎小学校 2年	26	3	29
62	10/4	須坂市立森上小学校 2年	47	4	51
63	10/4	石川工業高等専門学校建築科 3年	33	1	34
64	10/6	長野市立長沼小学校 2年	10	3	13
65	10/6	長野市立共和小学校 2年	58	5	63
66	10/6	軽井沢町立軽井沢西部小学校 4年	64	4	68
67	10/7	中野市立中野小学校 4年①	72	4	76
68	10/11	須坂市立仁礼小学校 2年	23	3	26
69	10/13	長野市立昭和小学校 2年	99	5	104
70	10/13	中野市立中野小学校 4年②	73	4	77
71	10/13	大町市立大町東小学校 4年	19	3	22
72	10/14	長野市立城東小学校・長野ろう学校 1年	58	5	63
73	10/14	飯山市立木島小学校 4年	23	2	25
74	10/17	上田市立清明小学校 4年	53	4	57
75	10/18	大町市立八坂小学校 4年	10	3	13
76	10/20	長野市立大岡小学校 1、2年	2	1	3
77	10/21	佐久市立中込小学校 4年	53	4	57
78	10/25	中野市立平野小学校 4年	72	4	76
79	10/25	小布施町立栗が丘小学校 5年	99	6	105
80	10/27	千曲市立五加小学校 4年	76	4	80
81	10/31	安曇野市立三郷小学校 5年①	92	5	97
82	11/1	安曇野市立三郷小学校 5年②	62	4	66
83	11/4	飯田市立座光寺小学校 5年	39	4	43
84	11/4	文化学園長野中学校 1年	24	3	27
85	11/7	東御市立和小学校 4年	54	3	57
86	11/7	伊那市立東春近小学校 4年	54	5	59
87	11/10	上田西高等学校 1年	33	2	35
88	11/10	松本市立岡田小学校あさひ分校 6年	4	4	8
89	11/11	飯山市立戸狩小学校 4年	19	2	21
90	11/11	長野市立城山小学校 4年①	33	2	35
91	11/14	上田市立長小学校 4年	18	2	20
92	11/14	長野市立城山小学校 4年②	33	2	35
93	11/15	千曲市立埴生小学校 5年①	60	2	62
94	11/15	長野市立信里小学校 3年	7	2	9
95	11/17	高山村立高山小学校 4年	45	5	50
96	11/18	長野女子高等学校美術部	4	1	5
97	11/18	千曲市立埴生小学校 5年②	60	2	62
98	11/22	岡谷市立小井川小学校 4年	50	5	55
99	11/25	長野市立昭和小学校 6年	98	4	102
100	11/28	須坂市立日野小学校 5年①	27	2	29
101	12/5	須坂市立日野小学校 5年②	27	2	29
102	12/6	信州大学教育学部附属長野中学校 2年①	81	3	84
103	12/8	信州大学教育学部附属長野中学校 2年②	123	5	128
104	12/8	箕輪町立箕輪南小学校 4年	14	3	17
105	12/17	エクセラン高等学校美術部	6	1	7
106	1/17	長野市立城山小学校 5年①	26	2	28
107	1/19	長野市立城山小学校 5年②	26	2	28
108	2/16	長野市立豊栄小学校 2年	8	1	9
109	3/2	飯田市立山本小学校 4年	48	4	52

特別支援学校・特別支援学級オリジナルプログラム

受け入れ人数：213

No.	来館日	学校名／学年	児童生徒	引率教員	合計
1	6/24	長野県長野養護学校小学部 2年	8	8	16
2	6/30	千曲市立屋代小学校特別支援学級	22	6	28
3	7/8	長野県松本養護学校高等部 2年	8	3	11
4	7/21	長野県長野養護学校すざか分教室 高等部 1年	11	6	17
5	7/22	長野県長野盲学校 中学部・高等部 1〜3年	15	12	27
6	10/20	長野県寿台養護学校中学部 3年	2	5	7
7	10/27	長野県長野盲学校幼稚部、小学部	8	8	16
8	11/4	長野県長野養護学校小学部 1年	6	4	10
9	11/11	長野県長野ろう学校小学部 3〜5年、中学部 1〜3年、高等部 3年	6	6	12
10	11/15	長野県稲荷山養護学校高等部 2年	20	12	32
11	11/15	飯綱町立飯綱中学校特別支援学級	5	3	8
12	2/6	須坂市立須坂小学校特別支援学級	6	3	9
13	2/27	長野県長野ろう学校高等部 3年	6	5	11
14	3/3	長野県長野養護学校朝陽教室 3年	7	2	9

2. 盲・ろう・特別支援学校等への出張講座　参加者：36

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	7/8	信州大学附属病院 院内学級（オンラインにて開催） 「ちぎって魁夷！カラフルホースをつくろう」（造形体験） 担当：青山由貴枝、柄澤初音	小中学生 教員	10
2	9/15	信州大学附属病院 院内学級（オンラインにて開催） 「練上手に挑戦！しましまのつぼ」（造形体験） 担当：柄澤初音	小中学生 教員	8
3	10/5	須坂市立須坂小学校 須坂市特別支援学級常盤中学校ブロック交流会 「県立美術館　練上手で鑑賞体験」（造形体験） 担当：青山由貴枝、柄澤初音	特別支援学級 児童・生徒	6
4	12/5	信州大学附属病院 院内学級（オンラインにて開催） 「貼り絵でアート」（造形体験） 担当：柄澤初音	中学生 教員	6
5	2/16	長野県長野ろう学校 「アートを見るってどういうこと？」（長野版アートゲーム／筆談トーク） 担当：青山由貴枝、柄澤初音	高等部生徒 教員	6

3. 学校教職員の研修会等の開催および協力　参加者：277

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	7/19	長野市私立保育協会 令和4年度第1回主任保育士・青年部合同研修会 長野版アートゲーム、ブラインドトークによる鑑賞／館内見学 会場：長野県立美術館（ホール） 担当：青山由貴枝、柄澤初音	保育士	51
2	8/26 8/27	第74回全国造形教育研究大会長野大会 第76回長野県美術教育研究大会北信ブロック大会 会場：長野県立美術館（ホール） 担当：青山由貴枝、柄澤初音	教員	200
3	8/30	日本保育協会長野県支部 女性部・青年部共催 令和4年度保育士等研修会 長野版アートゲーム、ブラインドトークによる鑑賞／館内見学 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：青山由貴枝、柄澤初音	保育士	26

4. 鑑賞教材「長野版アートゲーム」の貸出　貸出数：10件

No.	貸出先	教師用	生徒用
1	長野県伊那養護学校中の原分教室	1	2
2	つくば開成学園高等学校 長野学習センター	1	1
3	中川村立中川中学校	1	6
4	風間保育園	2	2
5	箕輪町立箕輪中学校	1	6
6	幼保連携型認定こども園よしおか	1	8
7	中野市立中野小学校	1	9
8	長野市立櫻ヶ岡中学校	1	6
9	飯綱町立飯綱中学校	1	6
10	長野美術専門学校 ながのこども美術学校	1	4

出張講座

教員研修会

教員研修会

教員研修会

2 鑑賞プログラムの開催

子どもから大人までを対象に、コレクションや展覧会をテーマにした毎月1回の鑑賞プログラム「こどもアートラボ」や、展示室で対話による鑑賞をおこなう「おやこでトーク」を開催。また、3つの巨石を来館者とともに磨く「Love Stone Project-Nagano 石磨きワークショップ」を開催し、美術館に訪れる方が、アートに親しむための機会を提供した。

1. こどもアートラボ　　参加者：549

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	7/9	こどもアートラボ①「オリジナル傘をつくろう！」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	69
2	8/13	こどもアートラボ②「マーブリングで不思議なアート」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	63
3	9/10	こどもアートラボ③「カラフルとんとんバッグ」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	57
4	10/8	こどもアートラボ④「貼り絵でアート」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	69
5	11/12	こどもアートラボ⑤「木っ端でつくろう美術館」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	56
6	12/10	こどもアートラボ⑥「くるくるモビールをつくろう！」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	60
7	1/14	こどもアートラボ⑦「コラージュ缶バッジをつくろう」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	40
8	2/11	こどもアートラボ⑧「スチレン版画でくるくるプリント」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	57
9	3/11	こどもアートラボ⑨「いろいろくろいろ」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	78

※「こどもアートラボ」4/9(土)、5/14(土)、6/11(土)は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

2. おやこでトーク　　参加者：24

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	7/23	おやこでトーク①「東山魁夷館 第Ⅱ期」 会場：東山魁夷館 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	小学生以下の子どもとその保護者	8
2	9/24	おやこでトーク②「NAM コレクション展 第Ⅲ期」 会場：コレクション展示室 担当：青山由貴枝、山下樹里	小学生以下の子どもとその保護者	4
3	11/26	おやこでトーク③「NAM コレクション展 第Ⅳ期」 会場：コレクション展示室 担当：青山由貴枝、山下樹里	小学生以下の子どもとその保護者	6
4	3/25	おやこでトーク④「NAM コレクション2023 第Ⅰ期」 会場：コレクション展示室 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	小学生以下の子どもとその保護者	6

※「おやこでトーク」5/28(土)、1/28(土)は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

3. Love Stone Project-Nagano 石磨きワークショップ　　参加者：561

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/3 5/4 5/5	石磨きワークショップ（ヤスリ /3,000番） 講師：冨長敦也(彫刻家) 会場：交流スペース外 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	一般参加者	332
2	6/4 6/5	石磨きワークショップ（ヤスリ /6,000番） 講師：冨長敦也(彫刻家) 会場：交流スペース外 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	一般参加者	229

こどもアートラボ

こどもアートラボ

おやこでトーク

おやこでトーク

石磨きワークショップ

3　アート・コミュニケータ

アートを介してさまざまなコミュニケーション活動を行う人々「アート・コミュニケータ(AC)」とともに、美術館を「出会いと学びの場」とする事業。

今年度は、アート・コミュニケータ1期生28名が美術館に通いながら、館主催プログラムへの参加や、日々の活動の中から生まれたAC自主企画(ACラボ)、ACを対象とした勉強会(ACゼミ・AC会)などを積極的に行った。

館内活動の拠点として、本館2階のアート・コミュニケータルームを使用するほか、美術館とAC、AC同士をつなぐツールとして、専用掲示板の機能向上を図った。また、2期生の募集を行い、全6回の基礎講座を修了した28名が2期生として正式に加わった。

1.　館主催プログラムへの参加

No.	開催日	事業内容	回数	AC
1	4/3	令和3年度 公開制作記録集仕上げ作業 昨年度オープンギャラリーで実施した公開制作・源馬菜穂「絵とつながり」記録集の仕上げ作業に参加。	1回	4
2	4/23	オリエンテーション 年度始めとして、活動方法の再確認や更新された「活動の約束」の読み合わせ、レクリエーションなどを行った。	1回	22
3	5月 6月	Love Stone Project-Nagano 石磨きワークショップ 彫刻家・冨長敦也による、3つの巨石を来館者とともに磨く「石磨きワークショップ」に参加	5回	33
4	6月 ～1月	鑑賞プログラム「こどもアートラボ」事前準備 子どもから大人までを対象とした造形体験の事前準備(見本作り等)に参加。	7回	41
5	7月 ～3月	鑑賞プログラム「こどもアートラボ」 子どもから大人までを対象とし、コレクションや展覧会をテーマに造形体験を実施。当日スタッフとして活動。	9回	54
6	7/2	公開制作 vol.2佐藤朋子　オープントーク(テスト開催) 作家・佐藤朋子と来館者との対話をひらく場として「オープントーク」を開催。一般向けへの試行として、ACを対象としたテスト開催を実施。	1回	8
7	8/23 8/30	障がいのある方のための特別鑑賞日スキルアップ研修 講義や簡単な手話体験等を通して、障がいの種別や、障がいのある方の生活を学んだ。	2回	14
8	9/7	障がいのある方のための特別鑑賞日 駐車場の整理や、館外から館内への案内、館内での各種ガイド、見回りなど美術館スタッフとして参加。	1回	11
9	9/24 11/26 3/26	鑑賞プログラム「おやこでトーク」 小学生以下の子どもとその保護者を対象とした、展示室で対話による鑑賞を行うイベントへ参加。	3回	4
10	11/5	「みる」を考える　見えない人と見える人が一緒にみるためにバスで来館される視覚に障がいのある方を、バス停から会場までガイドするほか、イベントにも参加。	1回	7
11	12/4	「信州大学教育学部附属中学校2学年を対象とした館内見学および対話型鑑賞」事前打合せ(オンライン) 学校団体見学に訪れる中学生へ、対話による鑑賞を実施するための事前打合せおよびレクチャーへ参加。	1回	7
12	12/6 12/8	「信州大学教育学部附属中学校2学年を対象とした館内見学および対話型鑑賞」 学校団体見学に訪れる中学生へ、館内案内および対話による鑑賞を実施。当日スタッフとして参加。	2回	11
13	3/30	アートラボ 記録集仕上げ作業 「アートラボ2022第Ⅲ期 荒木優光　ダンスしないか？」の記録集の仕上げ作業に参加。	1回	3
		合計	35回	219

オリエンテーション

こどもアートラボ事前準備

こどもアートラボ

公開制作オープントーク

記録集仕上げ作業

2. AC 自主企画プログラムの開催（一般に参加者を募る「AC ラボ」）

No.	開催日	事業内容	回数	AC	参加者数
1	7/7 7/8	AC ラボ「長野の景色をきり“トリ”ましょう」事前準備 会場：AC ルーム AC ラボ実施に向けた打合せや、ワークショップで使用する白い鳥を紙粘土等を使用して作成。	2回	11	0
2	7/30	AC ラボ「長野の景色をきり“トリ”ましょう」 会場：交流スペース、美術館内外 一般来館者を対象としたワークショップ。美術館内外の景色を撮影し、白い鳥にその景色を柄として描くイベントを開催。	1回	11	11
3	11/3	AC ラボ「長野の景色をきり“トリ”ましょう～秋編～」 会場：交流スペース、美術館内外 一般来館者を対象としたワークショップ。美術館内外の景色を撮影し、白い鳥にその景色を柄として描くイベントを開催。	1回	10	48
4	1/21	AC ラボ「ダンボール額縁工場へようこそ！」事前準備 会場：AC ルーム AC ラボ実施に向けた打合せや、ワークショップで使用するダンボールパーツの作成を行った。	1回	15	0
5	2/18	AC ラボ「ダンボール額縁工場へようこそ！」 会場：交流スペース 一般来館者を対象としたワークショップ。ダンボールのパーツなどを自由に組み合わせてオリジナルの額縁をつくるイベントを開催。	1回	15	18
		合計	6回	62	77

AC ラボ

AC ラボ

3. AC 自主企画プログラムの開催（「AC ゼミ」・AC を対象とした企画）

No.	開催日	事業内容	回数	AC
1	5/15	春のゆるっと AC 会 会場：レセプションルーム AC 全員に呼びかけ、幹事が企画したレクリエーションを実施。グループごとに館内外を巡り、「お気に入りの場所」を見つける活動などを行った。	1回	19
2	9/4	夏の AC 会 会場：レセプションルーム AC 全員に呼びかけ、幹事が企画したレクリエーションを実施。グループごとにコレクションの作品画像を使った対話型の鑑賞などを行った。	1回	18
3	10/30	展望テラスで［秋を楽しむ］ 会場：城山公園、AC ルーム 城山公園（美術館前）の活用を目的として、AC が城山公園を中心に写生や撮影、工作などの活動や交流会などを行った。	1回	12
4	11/18	第1回 AC ゼミ「～地域とつながる美術館～十和田市現代美術館の事例を元に」 会場：レセプションルーム 講師：山貝征典 （清泉女学院大学准教授／元十和田市現代美術館学芸員） AC が企画する勉強会「AC ゼミ」を開催。第1回は、十和田市現代美術館の設立に関わった山貝氏をゲスト講師に招き、開館当時の様子や街との関係について聞いた。	1回	10
5	12/11	冬の AC 会「冬の贈り物～MY GIFT TO YOU」 会場：レセプションルーム AC 全員に呼びかけ、幹事が企画したレクリエーションを実施。グループごとにアート作品を使ったジェスチャーゲームなどを行った。	1回	18
6	12/17	第2回 AC ゼミ「鈴木学芸員に聞いて、現代アートをより深く楽しもう！」 会場：レセプションルーム、展示室1・2・3 講師：鈴木幸野（当館学芸員） AC が企画する勉強会。第2回は開催中の戸谷成雄展について、担当学芸員に展示が出来るまでや、作家・作品についての解説などを聞いた。	1回	11
		合計	6回	88

夏の AC 会

AC ゼミ

AC ゼミ

4. AC2期生 基礎講座（全6回）

No.	開催日	事業内容	AC
1	11/20	第1回基礎講座　オリエンテーション 講師：木内真由美(当館学芸員)、青山由貴枝、山下樹里(当館学芸専門員) 会場：ホール 担当：山下樹里、青山由貴枝、柄澤初音	29
2	12/4	第2回基礎講座　「みる」を楽しむ 講師：青山由貴枝、山下樹里（当館学芸専門員） 会場：ホール 担当：山下樹里、青山由貴枝、柄澤初音	39
3	12/18	第3回基礎講座　コミュニケーションって何だろう？ 講師：伊藤達矢(東京藝術大学社会連携センター特任教授) 会場：ホール 担当：山下樹里、青山由貴枝、柄澤初音	35
4	1/15	第4回基礎講座　プログラムづくり 講師：青山由貴枝、山下樹里（当館学芸専門員） 会場：ホール 担当：山下樹里、青山由貴枝、柄澤初音	26
5	2/19	第5回基礎講座　身体を通じた対話 講師：田上 豊(劇作家、演出家、劇団「田上パル」主宰) 会場：ホール 担当：山下樹里、青山由貴枝、柄澤初音	25
6	3/19	第6回基礎講座　グッド・ミーティング 講師：青木将幸(ミーティングファシリテーター) 会場：ホール 担当：山下樹里、青山由貴枝、柄澤初音	45
		合計	199

※第2回、第3回、第6回には希望するAC1期生も参加した。

5. AC 年間活動回数

	1期生	2期生	合計
4月	40	—	40
5月	65	—	65
6月	67	—	67
7月	64	—	64
8月	37	—	37
9月	48	—	48
10月	43	—	43
11月	48	29	77
12月	75	50	125
1月	47	26	73
2月	38	25	63
3月	62	28	90
合計	634	158	792

第1回基礎講座

第3回基礎講座

第4回基礎講座

第5回基礎講座

第6回基礎講座

アートライブラリー

1 統計

1)図書資料の受入統計

	展覧会カタログ	図書	雑誌(年報・紀要等含む)
購入	34	242	168
寄贈	444	141	322
計	478	383	490

※総受入数は1,351冊

2)アートライブラリー利用統計

	入室者数	図書出納利用者数	出納図書数	レファレンス数	複写
4月	—	—	—	—	—
5月	—	—	—	—	—
6月	1,671	1	1	5	0
7月	2,149	1	1	3	1
8月	2,337	0	0	0	0
9月	2,172	3	7	4	0
10月	1,393	5	13	4	2
11月	725	5	14	7	1
12月	324	5	16	1	0
1月	596	4	6	10	1
2月	547	8	16	2	2
3月	683	7	25	5	1
	12,597人	39人	99冊	41件	8件

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、4月1日から6月2日まで休室
※12月15日から27日まで蔵書点検・整理のため休室

2 外部連携等関連

まちなか本さんぽ

アートライブラリー実施期間：10月28日(金)から11月27日(日)

主催者：まちなか本さんぽ実行委員会

(他店舗実施期間：10月27日(木)から11月27日(日))

善光寺界隈から長野駅周辺の各店舗が、テーマに応じて選んだ本を並べ紹介する「まちなか本さんぽ」に令和4年度も参加した。当館職員が選書し、キャプションに本のタイトル、本を選んだ理由、本の解説などを記載し紹介した。

収蔵品貸出

主催者等		展覧会名称	展覧会会期	
うらわ美術館		「雰囲気のかたち―見えないもの、形のないもの、そしてここにあるもの」	令和4年11月15日～12月11日、12月13日～令和5年1月15日	
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	菱田春草・横山大観	春曙・秋夜	1907頃	絹本彩色
2	菱田春草	羅浮仙	1901	絹本彩色
3	菱田春草	伏姫(常磐津)	1900	絹本彩色

MIDORI 長野展示

令和4年度上半期（4月18日から9月28日）

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989	ブロンズ
2	松井康成	練上嘯裂文壺「昼下がりの湖畔」	1981	陶器
3	松井康成	破調練上壺	1985	陶器
4	松井康成	晴白練上大壺	1989	陶器

令和4年度下半期（9月29日から令和5年4月13日）

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989	ブロンズ
2	松井康成	練上風白地大壺	1987	陶器
3	松井康成	萃瓷練上壺	1995	陶器
4	松井康成	練上玻瑠光壺	2002	陶器

MIDORI 長野展示（上半期）

MIDORI 長野展示（下半期）

新収蔵作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	大きさ(㎝)	備考
1	清水多嘉示	躍進	1961	ブロンズ	h46.0	寄贈
2	杉浦非水・翠子	合作《モミジイチゴ》	昭和時代	絹本彩色	50.1×57.3	寄贈
3	北村四海	あやめ	1920	大理石	h 59.0× w51.5× d32.5	寄贈
4	東山魁夷	不詳	不詳	水彩、紙		寄贈
5	菊池契月	童女	不詳	絹本彩色	48.2×70.0	寄贈
6	ホンマタカシ	his room 2018	2022(撮影2018)	ラムダ・プリント	各67.0×42.5	寄贈
7	戸谷成雄	射影体	2004	アクリル、墨、紙、板	243.0×243.0	寄贈
8	小松美羽	灯し続け、歩き続け	2016	墨、箔、アクリル、和紙	100.5×190.0	購入
9	戸谷成雄	射影体	2004	木、灰、アクリル	190.0×310.0×67.0	購入
10	辰野登恵子	WORK 82-P-35	1982	油彩、カンヴァス	182.0×227.0	購入
11	辰野登恵子	UNTITLED 91-20	1991	油彩、カンヴァス	227.0×182.0	購入

広報・マーケティング室事業

ウェブサイト英語版

令和4年度は、ウェブサイトやSNSでの情報発信を積極的に実施し、ウェブサイトでは、館情報の英語ページを新たに作成した。

またプレスリリース配信等で取材誘致を行うほか、首都圏を中心とした県外へのPRやウェブ広告にも多く取り組んだ。

1. ウェブサイト英語ページ新規作成

2. ホームページとSNSの運用

ホームページの年間ページアクセス数は2,401,311件あり、「戸谷成雄 彫刻」展では、SNSフォロー割（当館SNSのフォロー画面を受付で提示すると観覧料100円引き）を実施し、期間中33件の利用があった。

- 長野県立美術館ホームページ　https://nagano.art.museum/
- 長野県立美術館 Facebook　https://www.facebook.com/npsam.kaii/
- 長野県立美術館 Instagram　https://www.instagram.com/naganoartmuseum/
- 長野県立美術館 Twitter　https://twitter.com/naganoartmuseum
- 長野県立美術館 YouTube　https://www.youtube.com/@naganoartmuseum

ホームページアクセス数、SNSフォロワー数

	ホームページ アクセス数	Facebook フォロワー数	Instagram フォロワー数	Twitter フォロワー数	YouTubeチャンネル 登録者数
令和3年度	1,996,298	1,927	2,974	1,751	528
令和4年度	2,401,311	2,035	3,754	2,553	654

3. 各種サインボード、広告掲出

長野市内にアクセス案内を掲出。また展覧会の周知を図るため、善光寺大門周辺へフラッグ広告を掲出、地域の関係機関と連携しラッピングバスを運行した。

善光寺大門フラッグ広告

ラッピングバス

4. 周辺イベントに合わせて開催した事業

美術館周辺で開催されるイベントに合わせて、美術館交流スペース・オープンギャラリーを夜間開放し、アニメーション作品や信州の生活と版画展を公開した。

- 善光寺表参道イルミネーション／令和4年12月10日、12月11日、12月17日、12月18日／入館者数504人
- 灯明まつり／令和5年2月11日、2月12日／入館者数1,306人

灯明まつり

榊原澄人《飯縄縁日》(2021)部分

5. 取材対応・プレスリリース作成及び取材誘致

新聞、美術誌のほか、情報誌に向けてプレスリリースを配信し、電話・メール等での記事掲載の取材対応や、撮影・収録立ち合いなどを行った。

新聞／98件、テレビ・ラジオ／52件、雑誌・会報誌等／99件、WEB・SNS等／88件

6. 館報発行

2021（令和3）年度「長野県立美術館　館報№24」を発行し、全国の関係各所に配布した。

風テラスライブ

長野県立美術館の屋上広場「風テラス」で、長野市主催、当館共催の音楽コンサート「2022街角アート＆ミュージック」を開催。善光寺を眺めながらの演奏会を楽しんでもらい美術館の魅力を PR した。

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	出演者数
1	4/10	出演：公募によるプロ、アマチュア演奏家 10組 司会：長野市 会場：長野県立美術館（屋上広場「風テラス」） 担当：米山秀明	一般	80人
2	5/22	出演：公募によるプロ、アマチュア演奏家　11組 司会：長野市 会場：長野県立美術館（屋上広場「風テラス」） 担当：米山秀明	一般	56人
3	10/16	出演：公募によるプロ、アマチュア演奏家　10組 司会：長野市 会場：長野県立美術館（屋上広場「風テラス」） 担当：米山秀明	一般	159人

4月10日　2022街角アート＆ミュージック

10月16日　2022街角アート＆ミュージック

利用案内

施設名称　長野県立美術館
所 在 地　〒380-0801 長野県長野市箱清水 1-4-4（善光寺東隣 城山公園内）
お問合せ　TEL.050-5542-8600（ハローダイヤル）　FAX.026-232-0050
開館時間　9:00－17:00（展示室入場は16:30まで）
休 館 日　毎週水曜日（祝日の場合は、原則翌平日）、年末年始（12/28～1/3）
※展示替え、メンテナンスなどにより臨時休館する場合があります。

観 覧 料

	一　般	大学生及び75歳以上	高校生以下又は18歳未満
企　画　展	展覧会により異なります。		
コレクション展 （本館・東山魁夷館共通）	700（600）円	500（400）円	無　料

＊割引の併用はできません。
＊（　）内は、20名以上の団体割引及び各種割引料金です。
＊身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料です。
＊大学生及び75歳以上の方は、身分が確認できるものをご提示ください。

長野県立美術館

◉ 2022年度（令和4年度）

館報 No.25

編集・発行　令和5（2023）年6月30日
長野県立美術館
〒380-0801　長野市箱清水1-4-4
電話 026-232-0052
PRINT ISSN 2436-8547
ONLINE ISSN 2436-8563

©2023　Nagano Prefectural Art Museum